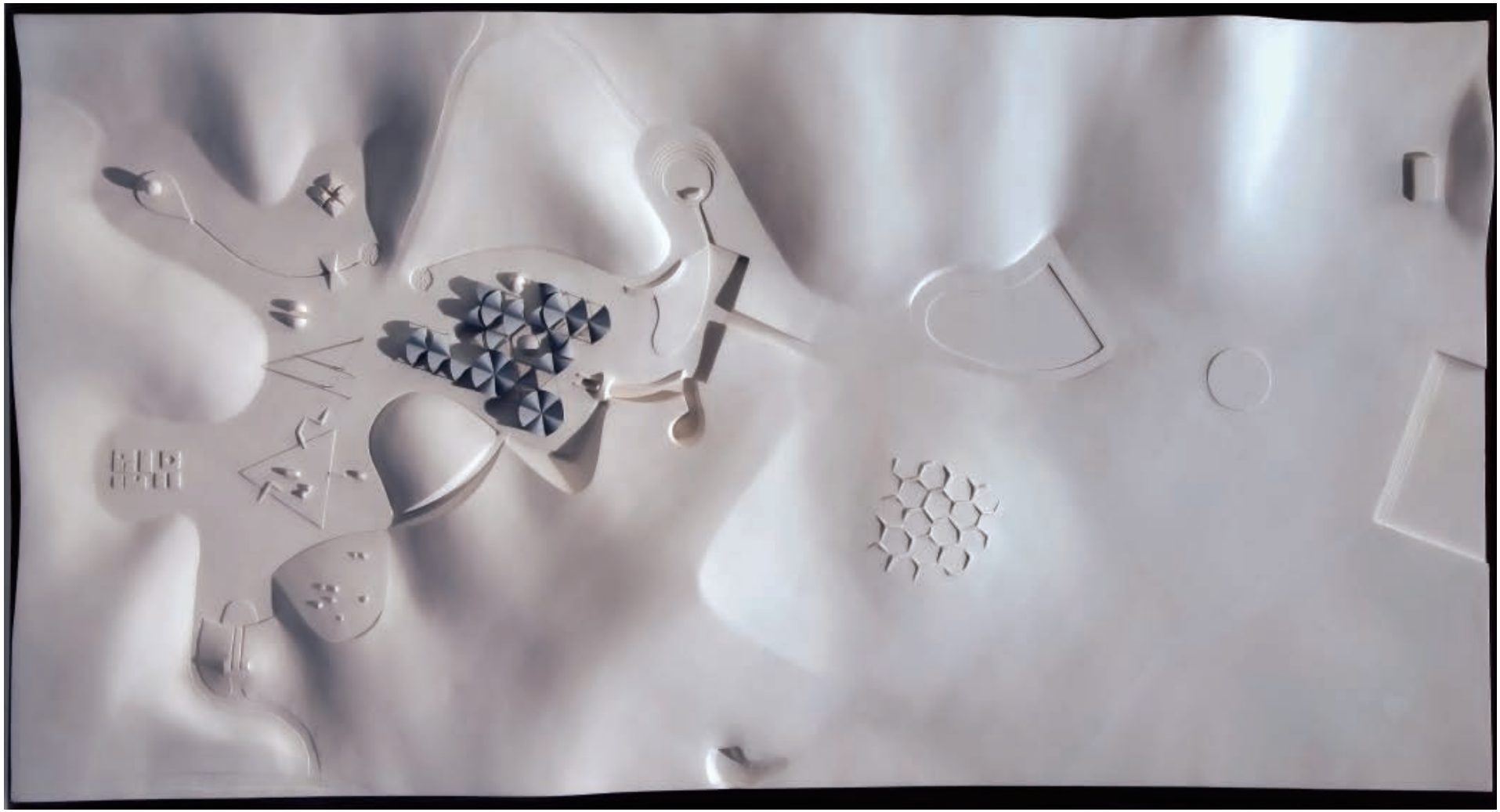


イサム・ノグチ、大谷幸夫《こどもの国児童館・A地区児童遊園石膏模型　1：300》原型：イサム・ノグチ、大谷幸夫、製作：植野石膏模型製作所、1965年、石膏、プラスチック、塗装された真鍮、木製台枠、アクリルカヴァー、75.0×143.0×12.0㎝、大谷研究室旧蔵「こどもの国児童館・A地区児童遊園」資料群　横浜美術館蔵

Isamu Noguchi, Sachio Otani <Plaster Model for Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni 1:300> Master Model：Isamu Noguchi and Sachio Otani, Casting and Manufacturing: Ueno Sekko Mokei Seisakusho, 1965, plaster, plastic, painted brass, wooden base frame, acrylic cover, 75.0×143.0×12.0㎝, Otani Associates Kodomo No Kuni Collection. Yokohama Museum of Art

大谷研究室旧蔵「こどもの国児童館・A地区児童遊園」資料群に見るイサム・ノグチと大谷幸夫による設計過程 –下– 資料目録

中村尚明

はじめに

小論前２編（「上」「中」）においては、大谷研究室から2023/2024年度に横浜美術館に寄贈された「こどもの国児童館・A地区児童遊園」資料群の石膏模型１点、図面・スケッチ類157点の内、石膏模型と主だった図面を取り上げ、イサム・ノグチと大谷幸夫の共同によるランドスケープ・デザイン作品の成立過程を跡付け、その全体像を把握すると共に、建設事業としての進捗と実施状況を、発注者である財団法人こどもの国建設協力会の文書を中心とする史資料と照合しながら明らかにした[1]。本編ではこれらの知見に基づき、資料全158点を分類・整理し、図版を付した目録を掲載する。図版は2025年に横浜美術館で撮影された高精細スキャニング画像を適宜ダウンサイズしたものを使用し[2]、紙面の都合から目録（文字データ）頁とは別に、図版頁に纏めて各資料番号を付して掲載する。図版の大きさはスペースの都合で適宜決定せざるを得ず、すべてを一定の尺度で縮小しているものではない。

大谷研究室資料群を年代的にみると、児童館・児童遊園施設整備事業が立ち上がる以前の、1962年のこどもの国マスタープランにはじまり、1966年10月の日付をもつ、イサム・ノグチと大谷幸夫の共同による事実上の最終図面までが含まれる。これらを施設整備事業としてみると、ノグチ参画以前の大谷による児童館第１案及び第２案、ノグチと大谷の共同による、児童遊園、児童館（第３案）及びスケートリンクの三施設をこどもの国A地区内に一体化するプロジェクトの三つの段階に大別される。目録化に当たってはこれらの段階を踏まえ、さらに各建設対象のデザインの生成・変遷過程を可能な限り辿ることができる配列を目標とした。

1　凡例

1）資料番号とグループ記号（分類方針）

資料番号は①通し番号、②グループ記号、③グループ内番号からなる。石膏模型１点は図面・スケッチ類とは区別して通し番号を０とし、0-M1とする（MはModelの略）。図面・スケッチ類には１から157までの通し番号を付し、小論「上」「中」で確認したプロジェクトの推移（時系列）に応じてaからlまでのグループに分類すると共に、グループ内での番号を付した。グループ内付番も時系列（作図順）を目標としたが、工事発注のための実施設計図（グループf）はオリジナルの図面リストに記載された図番に従った。グループhとiの設計補助図（R番号付き図面を含む）、グループjの竣工図にも図番もしくはページ番号が付されたものがあるが、図面一覧表がなく、R番号については連番も不完全なため、これら３グループ内の番号は必ずしも図番・ページ番号順ではない。また、内容的に関連し合う図を纏めているため、グループ内番号と作図順が前後する場合がある。図面に作図年月日が複数記されている場合は、その最終の日付を基に付番した。作図年月日のない図面については図面内容を関連図面と比較しながら制作順を比定し、付番した。なお、横浜美術館の所蔵品番号は別途編纂される所蔵品目録にて

1　拙稿「大谷研究室旧蔵『こどもの国児童館・A地区児童遊園』資料群に見るイサム・ノグチと大谷幸生による設計過程－上 原案完成まで」横浜美術館研究紀要第25号、2024年、25-105頁／同「－中 原案の変更と未完に終わった三位一体のランドスケープ・デザイン」横浜美術館研究紀要第26号、2025年、31-78頁

2　2025年10月20日-22日、撮影（スキャニング）：株式会社サビア

本目録番号に副って新たに付番される予定である。グループの概念と作図時期は以下の通り。

a : 環境開発センター作成の「こどもの国マスタープラン」(1962-1964年)

b : 大谷幸夫による児童館第１案（こどもの国Ｃ地区に予定）関連図面・スケッチ（1964年）

c : 大谷幸夫による児童館第２案（こどもの国Ａ地区に予定）関連図面（1965年８月）

d : イサム・ノグチによるＡ地区児童遊園（児童館用施設・スケートリンク含む）のランドスケープ・デザイン原案関連図面（1965年９月-11月）

e : 大谷幸夫による児童館第３案関連図面（1965年11月-12月）

f : 児童館・Ａ地区児童遊園実施設計図（1965年11月-1966年１月）

ノグチの署名入り図面は彫刻家の離日（1965年11月末）までに完成したと判断される。一方、児童館・児童遊園の工事見積もり・発注は1965年12月末に行われたため、他の実施設計図はこれに向けて1965年12月末までに作成されたと考えられる[3]。但し児童館構造計算書は1966年１月の日付である。

g : 児童館設計修正過程（1966年１月）

h : 児童館設計補助図（Ｒ図面）前期（1966年１月-３月）

i : 児童館設計補助図後期・児童遊園設計補助図（1966年４月-６月）

イサム・ノグチの1966年４月の再来日と、ノグチの同４月29日付浅田孝・田中正雄宛書簡を受けた設計変更を反映したもの[4]。

j : 児童館・Ａ地区児童遊園竣工図（1966年８月）

児童館の竣工は1966年８月９日、児童遊園の竣工（部分）は同７月31日であった。本グループの図面９点には大谷幸夫の朱印と右下隅に手描きの頁番号２－10があり（但し４は損傷のため頁番号がない)、内６点には1966年８月15日の日付がある。頁番号１が欠けているが、これは８月15日の日付に加え、９月12日と同27日の日付で修正された配置図であるため、グループｋに分類した。これらは竣工時の図面として作成されたものと判断される。

k : Ａ地区児童遊園補遺・第２児童遊園関連図面（1966年９月-10月）

l : 内容未特定の図面（大谷研究室でこどもの国関連図面と同じ容器で保存されていた図面類。これまでの調査で内容特定に至っていない）

2）デザイナー及び作図

イサム・ノグチ参画以降の図面について、文書上ノグチは児童遊園と児童館の基本設計者、大谷幸夫は児童館の設計者、児童遊園の実施設計者とされた。ノグチは児童遊園敷地造成を含むランドスケープと各種遊具施設、スケートリンクの他、児童館施設である門、公衆便所の他、館内の丸山や池などもデザインしている。これらの図面はデザイナーをイサム・ノグチとし、児童館建築に関する図面類を大谷幸夫のデザインとした。両者の担当対象が混在または重複している図面はノグチと大谷の併記とした。これらの作図は設計連合の大谷チーム（藤田皓一他）であるが、表記は大谷研究室（旧設計連合）とした。

3）標題

図面に標題が記されている場合はそれに従い、太字で表記した。ない場合は他の類例に倣った。また、図面中の記載に加え、当該施設の属する施設整備事業（児童館またはＡ児童遊園）の推移、設計過程で名称が変更された場合等は、適宜補足した。図面中の対象・部材の名称は可能な限り図面に記された用語を採用した。また縮尺については、図面標題欄に記載されている場合と、標題欄がなく同一図面で統一されている場合は本欄に記入した。それ以外で同一図面に複数の縮尺図が含まれる場合は「内容」に記入した。

4）作図年月日

作図完了の日とし、図中に記載のある場合はそれに従い、ない場合は年のみ記した。複数の日付がある場合は最終日を記載した。

3　小論「中」32-37 頁、68-69 頁。

4　小論「中」38-47 頁。

5）資料・図面中の記載

資料または図面中に記載された標題、縮尺、設計者印、署名、設計年月日等。記載方法は「種別、メディウム、位置：記載内容」とし、記載内容は種別ごとの間を／で区切る。図面内容としての指示・注記等は原則として含まない。

6）内容

図面内に複数の図または表を含む場合に記載した。

7）備考

必要に応じ、作図時期、図面内容に関係する事項を記載した。

8）掲載文献

作図・制作時期特定に有益なものに限って掲載した。

9）小論における関連頁・図版

小論「上」、「中」における言及箇所、掲載図版（関連写真も含む）。但し図面の一部は、本目録で名称（標題）を変更したものがある。なお、上記項目中5）-8）については、記載事項のある場合のみ掲載している。

2　児童館（第3案）のデザイン変遷について

実施設計図（グループf）における児童館は、正三角形の床を三本の円柱と「非閉鎖型斜円錐殻」の屋根で覆い、壁のない開放的なユニットとして、それらを複数組み合わせたものである。但し図書室と休憩室はユニット6個を集中させて正六角形プランをつくり、斜円錐殻開放部の立面をガラス引き戸サッシで仕切って室内を設けている。引き戸上の明かり取り窓は屋根開放部上端に向かって斜めに取り付ける構造であった。サッシを支える方立は正面から見ると無目から床に向かって幅が収縮する矢じり形で、周囲の円柱の直径が上に向かって絞られていたことと併せて、ある種の装飾性を感じさせる。屋根を支える３本の柱は鉄筋コンクリート製で、中心に雨樋となる塩化ビニルパイプを通し、基礎部には会所桝を仕込んで地下排水管に繋いでいた。屋根側辺は雨樋を兼ねるH型梁に固定され、これを特別に設計された柱頭に連結していた。柱頭下部にはさらに「テンションリング」が設けられ、H型梁の下に並行する丸棒の「テンションバー」と連結されていた。これら二重のジョイント構造を実現した柱頭部のデザインは児童館第3案の見せ場のひとつといえよう。

グループｇの段階では柱が鉄筋コンクリートから鋼管に変更され、サッシ廻りの方立と引戸庇の形状、明り取り窓の取付方法が見直されていく。これらはグループｈにおいてさらなる改良を経て詳細図に起こされ、実施された。児童館建物の設計はノグチのランドスケープ・デザインが具体化した1965年11月頃に着手され、1966年3月にほぼ完成形に至ったと言える。

正三角形を基本とする児童館ユニットについて、大谷幸夫は結果的にフラー・ドームとよく似たものになったと回想しているが[5]、複数の図面に刻まれた柱頭・柱脚部と鉄骨構造が洗練されていくプロセスを見ると、「正三角形を平面に落とし込むこと」から出発した建築家大谷幸夫のデザイン手法と、空間的構造の根本原理から正四面体構造を導き出し、それを金属ロッドと球状ジョイントによって具体化し、現実に応用させていった発明家バックミンスター・フラーの手法との対照に気づかされる。イサム・ノグチがフラーに語った「大地のフォルムとジオデシックスの統合」[6]は、《亀ノ子砂場》、《三角砂場》、《ジャングルジムA》をはじめ、彼のこどもの国のランドスケープ・デザインの隅々まで通奏低音のように響き渡っている。風に舞う木の葉から、斜面を駆け降りる子供たちのイメージを着想した大谷幸夫は、その響きをしっかりと受け止め、彼のイメージを正三角形ユニットの集合体として具体化することで、彫刻家ノグチの未完に終わったランドスケープ・デザインとの完全な統合を実現しようとしたのである。

大谷研究室で「こどもの国児童館・A地区児童遊園」資料群を永年保存してくださった故大谷幸夫氏と、横浜美術館にご寄贈くださった大谷研究室代表山本敬則氏に、改めて心からの感謝を捧げる。

5　小論「上」58-59頁
6　小論「上」36頁

グループM：石膏模型（1965年）

資料番号：0-M1（1）～（2）
標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園石膏模型　1：300
Title：Plaster Model for Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：植野石膏模型製作所（製作）
Drawing/Manufacture：Ueno Sekko Mokei Seisakusho. Co., Ltd.
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：75.0×143.0×12.0
材質・技法/Material, Technic：石膏、プラスチック、塗装された真鍮、木製台枠、アクリルカヴァー
資料・図面中の記載：銘板1：台座正面左：こどもの国／A地区児童遊園 イサム・ノグチ／児童館 大谷幸夫
銘板2：銘板1の右：S 1：300
備　　考：『SD』誌1966年1月号に平山忠治の撮影による本作の写真が掲載されているため、1965年に制作・完成されたものと判断される。
掲載文献：『SD』13（1966年1月）p.63
小論における関連頁・図版：「上」38-39, fig.1, fig.13, fig.22

グループa：環境開発センター作成のこどもの国マスタープラン（1962-1964年）

資料番号：1-a01
標　　題：中央児童厚生施設・子供の国計画マスタープラン　1：1000（青焼　1962年2月14日版：南部分）
Title：Master Plan of the Kodomonokuni (South Part. State 1962, blue print) 1:1000
デザイナー：浅田孝・環境開発センター
Designer：Takashi Asada, Research Center for Environmental Development and Design
作図/制作：環境開発センター
Drawing/Manufacture：Research Center for Environmental Development and Design
作図年月日/Date：1962年2月14日/February 14, 1962
サイズ/Dimensions（cm）：82.4×147.5
材質・技法/Material, Technic：青焼
資料・図面中の記載：標題欄、右下：FEB.14.1962／こどもの国計画マスタープラン／署名、年月日（判読できず）／環境開発センター／RESEARCH CENTER FOR ENVIRONMENTAL DEVELOPMENT AND DESIGN
備　　考：こどもの国マスタープランを示す最初期の図面である。本図の北半分は2-a02。
小論における関連頁・図版：「上」31-32

資料番号：2-a02
標　　題：中央児童厚生施設・子供の国計画マスタープラン　1：1000（青焼　1962年2月14日版：北部分）
Title：Master Plan of the Kodomonokuni（North Part. State 1962, blue print） 1:1000
デザイナー：浅田孝・環境開発センター
Designer：Takashi Asada, Research Center for Environmental Development and Design
作図/制作：環境開発センター
Drawing/Manufacture：Research Center for Environmental Development and Design
作図年月日/Date：1962年2月14日/February 14, 1962
サイズ/Dimensions（cm）：81.1×147.7
材質・技法/Material, Technic：青焼
資料・図面中の記載：標題（プロジェクト名）、図面上：中央児童厚生施設・子供の国計画
備　　考：こどもの国計画マスタープラン（1962年）の北半分の図面。植栽や建築の細部表現がなく、1964年版とは異なる。
小論における関連頁・図版：「上」31-32, fig.2

資料番号： 3-a03
標　　題：こどもの国計画マスタープラン　1：1000　（青焼　1964年5月25日版：南部分）
Title： Master Plan of the Kodomonokuni（South Part, State 1964, blue print）1:1000
デザイナー： 浅田孝・環境開発センター
Designer： Takashi Asada, Research Center for Environmental Development and Design
作図/制作： 環境開発センター
Drawing/Manufacture： Research Center for Environmental Development and Design
作図年月日/Date： 1964年5月25日/May 25, 1964
サイズ/Dimensions（cm）： 81.0×146.9
材質・技法/Material, Technic： 青焼
資料・図面中の記載： 縮尺、右下：SCALE 1/1000
標題、右下：こどもの国計画マスタープラン／株式会社環境開発センター／640525／
RESEARCH CENTER FOR ENVIRONMENTAL DEVELOPMENT AND DESIGN
標題右角印：株式会社環境開発センター印
備　　考： 62年版マスタープランと比べ、具体的な建築プランと植栽が詳しく落とし込まれ、道路計画も詳細である。上端中央右寄りに大谷幸夫の児童館第1案（部分）。

グループb：大谷幸夫による児童館第1案関連図面・スケッチ（1964年）

資料番号： 4-b01
標　　題： こどもの国児童館第1案　敷地等高線図
Title： Contour Plan of the Site for Children's House in Zone C of the Kodomonokuni
作図/制作： 大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture： Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date： 1964年
サイズ/Dimensions（cm）： 56.2×89.6
材質・技法/Material, Technic： 鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載： なし
内　　容： 断面図位置表示5箇所（A-A, B-B, C-C, D-D, 1-1）

資料番号： 5-b02
標　　題： こどもの国児童館第1案　敷地等高線図（青焼　1/2）
Title： Contour Plan of the Site for Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print, 1/2）
作図/制作： 大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture： Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date： 1964年
サイズ/Dimensions（cm）： 16.4×60.4
材質・技法/Material, Technic： 青焼
資料・図面中の記載： なし
備　　考： 4-b01のコピー2点中の1点。

資料番号：6-b03

標　　題：こどもの国児童館第1案　敷地等高線図（青焼　2/2）

Title：Contour Plan of the Site for Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print, 2/2）

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：16.4×60.4

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

備　　考：4-b01のコピー2点中の1点。

資料番号：7-b04

標　　題：こどもの国児童館第1案　敷地断面図

Title：Sections of the Site for Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：88.0×56.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：断面図5図（A-A, B-B, C-C, D-D, 1-1）、ラフスケッチ4図

備　　考：4-b01の断面線による断面図。

資料番号：8-b05

標　　題：こどもの国児童館第1案　敷地断面図

Title：Sections of the Site for Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print）

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：51.5×60.5

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

備　　考：7-b04のコピー。

資料番号：9-b06

標　　題：こどもの国児童館第１案　平面図スタディ

Title：Study for Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.2×22.9

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：10-b07

標　　題：こどもの国児童館第１案　平面図・配置図　スタディ（等高線入り）

Title：Study for Plan and Contoured Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.3×58.8

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：ノグチ参画以前の大谷による児童館第１案平面図・配置図スタディ。

資料番号：11-b08

標　　題：こどもの国児童館第１案　平面図・立面図スタディ

Title：Study for Site Plan and Elevation. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.3×60.0

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：平面図、立面図

備　　考：立面図は完成案25-b22に近い。

資料番号：12-b09

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.0×53.1

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：13-b10

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.2×58.6

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：14-b11

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：41.8×56.3

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：配置図、細部スケッチ

備　　考：右下部欠損。

資料番号：15-b12

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：28.4×120.0

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（茶）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：配置図３図、ラフスケッチ

資料番号：16-b13

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：28.2×122.6

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：配置図３図

資料番号：17-b14

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図／制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：30.3×51.4

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：18-b15

標　　題：こどもの国児童館第1案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：28.3×67.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤、青）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：19-b16

標　　題：こどもの国児童館第1案　配置図スタディ

Title：Study for Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：42.1×71.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（青）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：20-b17

標　　題：こどもの国児童館第1案　配置図（等高線入り）

Title：Contoured Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：40.7×55.7

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：児童館第1案配置図のほぼ完成型。

小論における関連頁・図版：「上」27-28, 32,「中」58-63, fig.22

資料番号：21-b18

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図（等高線入り）

Title：Contoured Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：47.9×56.1

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：大谷による児童館第１案配置図完成型。本図は文化庁国立近現代建築資料館蔵17-2-5-4《K30014　01児童館配置図・平面図》とほぼ一致している。

資料番号：22-b19

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図（青焼　1/3）

Title：Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print, 1/3）

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：49.2×60.3

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

備　　考：21-b18のコピー３点中の１点。

資料番号：23-b20

標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図（青焼　2/3）

Title：Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print, 2/3）

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：48.9×60.5

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

備　　考：21-b18のコピー３点中の１点。

資料番号：24-b21
標　　題：こどもの国児童館第１案　配置図（青焼　3/3）
Title：Site Plan. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni.（blue print, 3/3）
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1964年
サイズ/Dimensions（cm）：48.9×60.5
材質・技法/Material, Technic：青焼
資料・図面中の記載：なし
備　　考：21-b18のコピー３点中の１点。

資料番号：25-b22
標　　題：こどもの国児童館第１案　**02　立面図断面図１：500**
Title：02 Elevations and Sections. First Design of Children's House in Zone C of the Kodomonokuni. 1:500（blue print）
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1964年
サイズ/Dimensions（cm）：41.8×62.1
材質・技法/Material, Technic：青焼、インク
資料・図面中の記載：右下：児童館／設計連合
標題、図番、年記、縮尺、右下：02／立面図　断面図／昭和39年／１：500
スタンプ、右下：こどもの国建設推進委員会・設計集団
内　　容：立面図・断面図２図（A-A, B-B）
備　　考：文化庁国立近現代建築資料館所蔵の青焼き図面17-2-5-5《K-30014-02　児童館立面図、平面図》と同じ内容。
小論における関連頁・図版：「上」27-28, 32, fig.5、「中」60-63, fig.23

資料番号：26-b23
標　　題：こどもの国児童館第１案　鳥瞰スタディ（A）
Title：Bird's-eye View Study（A）. First Design of Children's House in Zone C of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷幸夫
Drawing/Manufacture：Sachio Otani
作図年月日/Date：1964年
サイズ/Dimensions（cm）：58.8×42.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
備　　考：大谷幸夫によると思われる児童館第１案の手描きの鳥瞰図スタディ２点中の１点。本作は森林部分の陰影が薄い。文化庁国立近現代建築資料館所蔵の青焼17-2-5-3《K30014-03　鳥瞰図》の元になったスタディと考えられる。
小論における関連頁・図版：「上」27-28, 32, fig.5

資料番号：27-b24

標　　題：こどもの国児童館第１案　鳥瞰スタディ（B）

Title：Bird's-eye View Study (B). First Design of Children's House in Zone C of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷幸夫

Drawing/Manufacture：Sachio Otani

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：51.1×36.8

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：26-b23と同じく大谷幸夫によると思われる児童館第１案の鳥瞰図スタディ。本作は森林部分の陰影が濃い。

資料番号：28-b25

標　　題：こどもの国児童館第１案　鳥瞰スタディ（青焼　1/2）

Title：Bird's-eye View Study. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni. (blue print, 1/2)

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：60.3×44.6

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

資料番号：29-b26

標　　題：こどもの国児童館第１案　鳥観スタディ（青焼　2/2）

Title：Bird's-eye View Study. Children's House in Zone C of the Kodomonokuni. (blue print, 2/2)

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：60.4×46.0

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

資料番号：30-b27

標　　題：こどもの国児童館第１案　鳥瞰スタディ（青焼）

Title：Bird's-eye View Study. First Design of Children's House in Zone C of the Kodomonokuni（blue print）

デザイナー：大谷幸夫（設計連合）

Designer：Sachio Otani（Sekkei Rengo）

作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964年

サイズ/Dimensions（cm）：60.3×44.4

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：なし

備　　考：28-b25, 29-b26と同じ原図ながら、異なるステートと思われる。

グループc：大谷幸夫による児童館第２案関連図面（1965年８月）

資料番号：31-c01

標　　題：こどもの国児童館第２案　敷地等高線図　1：200

Title：Contour Plan of the Site for Children's House（Second Design）in Zone A of the Kodomonokuni. 1:200

作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：78.8×108.0

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）

資料・図面中の記載：縮尺、スタンプ、右下：1：200

備　　考：ノグチ参画前の大谷による児童館第２案のための敷地等高線図のひとつ。2-a02こどもの国マスタープランのＡ地区「渡渉池」周辺の等高線に一致し、その拡大図と思われる。第１案がこどもの国南東部（Ｃ地区）に立地したのに対し、第２案はＡ地区の後のノグチ児童遊園敷地を想定していることがわかる。図版は他図との比較のため上下入替えて掲載。

小論における関連頁・図版：「上」32-33

資料番号：32-c02

標　　題：こどもの国児童遊園第２案　敷地等高線図　青焼　1：300

Title：Contour Plan of the Site for Children's House（Second Design） in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300（blue print）

作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：60.3×83.7

材質・技法/Material, Technic：青焼

資料・図面中の記載：右下：300：1

備　　考：31-c01と同じく大谷による児童館第２案の敷地等高線図。こどもの国マスタープランのＡ地区渡渉池周辺の拡大図と思われる。

小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.10

資料番号：33-c03
標　　題：こどもの国児童館（第２案）配置図（B）　1：300
Title：Site Plan（B）. Second Design of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図／制作：大谷幸夫
Drawing/Manufacture：Sachio Otani
作図年月日/Date：1965年８月10日/August 10, 1965
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（茶）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：タイトル、縮尺、スタンプ、左上：児童館　配置図　1：300
年記、署名、鉛筆、右下：40. 8. 10. OS.
備　　考：34-c04と同日付けながら、細部の相違が多数認められる。施設庭の輪郭、トンネルの有無、野外遊技場の形他。
小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.11

資料番号：34-c04
標　　題：こどもの国児童館（第２案）配置図（A）　1：300
Title：Site Plan（A）. Second Design of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図／制作：大谷幸夫
Drawing/Manufacture：Sachio Otani
作図年月日/Date：1965年８月10日/August 10, 1965
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（茶）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：年記、署名、鉛筆、右下：40.8.10.　OS.
標題、縮尺、鉛筆、スタンプ、左上：児童館　配置図　1：300
備　　考：ノグチ案提示前の大谷幸夫によるＡ地区児童館（第２案）の配置図。左手のトンネル入り口、敷地の地形からノグチ参画後の児童館と同一場所に構想されていたと見られるが、敷地北側はノグチ案の造成と異なり、同案以前の作であることがわかる。本案による模型の写真がある。
小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.6, fig.11

資料番号：35-c05
標　　題：こどもの国児童館（第２案）北側立面図、屋根伏図、東側立面図　1：300
Title：Elevations（northern and eastern sides）and Roof Plan. Second Design of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年８月10日/August 10, 1965
サイズ/Dimensions（cm）：55.5×79.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：標題、縮尺、スタンプ、左上：児童館　1：300
年記、署名、鉛筆、右下：40.8.10　OS.
内　　容：北側立面図、屋根伏図、東側立面図　各１：300
備　　考：34-c03, 35-c04の児童館立面・屋根伏図。
小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.7, fig.11

資料番号：36-c06
標　　題：こどもの国児童館第２案　北側断面図、東側立面図
Title：Section (northern side) and Elevation (eastern side). Second Design of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：北側断面図、東側立面図
備　　考：35-c05の立面図の拡大版。
小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.8, fig.11

資料番号：37-c07
標　　題：こどもの国児童館第２案　矩計図、屋根・柱周り詳細図・断面図
Title：Sectional Detail Drawings of Roof and Pillar. Second Design of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：矩計図１：20、C詳細図１：２、A-A断面図１：２、屋根伏接合部周り詳細図１：20、柱詳細図１：20、B-B断面図１：２
小論における関連頁・図版：「上」32-33, fig.9, fig.11

グループd：イサム・ノグチによるA地区児童遊園（児童館用施設・スケートリンク含む）のランドスケープ・デザイン原案関連図面（1965年９月-11月）

資料番号：38-d01
標　　題：**こどもの国遊園地実測図**　１：300
Title：Surveyed Drawing of the Site for Playground in Zone A of the Kodomonokuni
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1965年９月７日 / September 7, 1965
サイズ/Dimensions（cm）：59.6×133.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：標題、縮尺、年記、作図者サイン、鉛筆、右下：こどもの国／遊園地実測図／S＝１：300／40.9.7／今井
備　　考：A地区児童館・児童遊園・スケートリンクの敷地。ノグチ来日（1965年８月13日～11月27日）直後、８月の現地訪問を受けて作成されたものと思われる。その後京都に向かったノグチは９月12日東京に戻った。
小論における関連頁・図版：「上」42, fig.23

資料番号：39-d02

標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　敷地南部等高線図

Title：Contour Plan of the Southern Area of the Site for Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：54.6×88.7

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：図面上端中央：「中央広場平板面　+0.08　中央広場迄ノ巨リ　基線220Mヨリ34, M30IP 108, M75 角度 141°－55'-20」

備　　考：範囲　X3～X-6, Y5～Y-2。児童遊園・児童館敷地南半分の地形図。40-d03とセットで敷地全体を構成。図版は東を天にして掲載。

小論における関連頁・図版：「上」46, fig.24

資料番号：40-d03

標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　敷地北東部等高線図

Title：Contour Plan of the North-eastern Area of the Site for Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：84.5×58.4

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：範囲 X3～X-6, Y-3～Y-9（但しY座標に「-」が抜けている）。児童遊園・児童館敷地の北東部の地形図。39-d02とセット。76-f03《002配置図》の等高線と照合できる。図版は東を天にして掲載。

小論における関連頁・図版：「上」46, fig.25

資料番号：41-d04

標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　敷地北西部等高線図

Title：Contour Plan of the North-western Area of the Site for Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：52.6×54.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：範囲X-6～X-11, Y-4～Y-9。児童遊園予定地南西部の地形図。40-d03と接続。97-f24スベリ台詳細図の敷地周辺と外周道路付近の等高線と一致。図版は東を天にして掲載。

資料番号：42-d05
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園・スケートリンク　等高線入り配置図（第１案配置図）
Title：Contoured Site Plan of Playground and Skating Rink in Zone A of the Kodomonokuni.（1st plan）
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.6×109.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
備　　考：Ｘ軸を数字（０－８）、Ｙ軸をアルファベット（Ａ－Ｌ）で標記。赤で等高線を示す。スケートリンクは旧案、児童館及び亀ノ子砂場は描かれていない。ジャングルジムＢの位置も石膏全体模型と異なる。ノグチが1965年の滞在中に制作したランドスケープデザインの最初の配置図と考えられる。
小論における関連頁・図版：「上」56, fig.62（「N１配置図」）

資料番号：43-d06
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園・スケートリンク　配置図（第２案配置図）
Title：Site Plan of Playground and Skating Rink in Zone A of the Kodomonokuni.（2nd plan）
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.6×108.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
備　　考：スケートリンクは最終案。亀ノ子砂場が描かれ、児童館はない。ノグチによる1965年滞在中のランドスケープデザイン配置図の２案目と思われる。
小論における関連頁・図版：「上」56-57, fig.63（「N２配置図」）

資料番号：44-d07
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園・スケートリンク　断面図（第２案配置図による）
Title：Sections of the Site. Playground and Skating Rink in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.7×107.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
内　　容：断面図15図（X0, X-1, X+1, Y+3, Y+2, Y+1, Y0, Y-1, Y-2, Y-3, Y-4, Y-5, Y-6, Y-7, Y-8）
備　　考：43-d06のメッシュによる断面図。スケートリンクは「池」と表記されている。X1断面図にはフラーのオクテット・トラスを用いたジャングルジムＡが描かれている。

資料番号：45-d08
標　　題：こどもの国A地区児童遊園スケートリンク　平面図　1：100
Title：Plan of Skating Rink. Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：標題、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：設計連合／A地区児童遊園／スケートリング平面図／1：100
備　　考：スケートリンクは児童館・A地区児童遊園に先行して着工、1965年末竣工、翌年1月開場した。
小論における関連頁・図版：「上」42-43, fig.26

資料番号：46-d09
標　　題：こどもの国児童館西側擁壁部分平面図・立面図・断面図
Title：Contoured Plan, Elevation and Sections of the Site for Retaining Wall, west of Children's House. Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965-1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.7×109.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
内　　容：等高線入り平面図、立面図（1）、断面図12図（2,3,4,5,6,A,B,C,D,E,F,G）
備　　考：範囲　X-2, Y-2～Y-3。立面図、断面図は施工前地形輪郭をプロット。
小論における関連頁・図版：「上」49-50, fig.43, fig.46

資料番号：47-d10
標　　題：こどもの国児童館西側敷地切り通し部分地形平面図・断面図
Title：Contoured Plan and Sections of "Pathway" cutting the hill, west of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.8×108.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：等高線入り平面図、断面図13図（B,C,D,E,F,G,H,3,4,5,6,7,8）
備　　考：範囲　X-2～X-3, Y-4～Y-5。 断面図は施工前の地形輪郭を示す。
小論における関連頁・図版：「上」49-50, fig.45, fig.47

資料番号：48-d11
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園　岩山平面図・立面図・断面図
Title：Detail Drawings, Contoured Plan, Elevations and Sections of the Site for "Iwayama," Playground in Zone A of the Kodomonokuni.
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.6×108.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：等高線入り平面図、断面図10図（1, 2, 3, 4, C, D, E, F, G, H）、断面立面図（5）、断面詳細図３図（下端縁、側端縁、上端縁）
備　　考：範囲　X-4～X-5, Y-5～Y-7。断面図には地形断面と施工後の断面が描かれている。「岩山」はのちに「芝山」と名称変更された。1966年４月29日付ノグチ書簡によれば、ノグチは岩山を当初「まんじゅうやま」と呼んでいた。
小論における関連頁・図版：「上」50, fig.48.「中」40, 44-45, 49, fig.11

資料番号：49-d12
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園　野外劇場詳細図
Title：Detail Drawings of "Open-air Theater." Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
内　　容：野外劇場・前庭擁壁（部分）平面図、同立面図、客席断面詳細図、舞台・衝立立面図、階段立面図（各縮尺表記なし）
備　　考：99-f26《303野外劇場》実施設計図に先行する、野外劇場と前庭周辺の最初の図。

資料番号：50-d13
標　　題：こどもの国Ａ地区児童遊園　原始部落床伏図・立面図
Title：Floor Plan and Elevations of "Primitive Village," Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図／制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×80.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー、ミシン掛け
資料・図面中の記載：なし
内　　容：原始部落床伏図、床立面図４図
備　　考：実施設計図103-f30《307原始部落詳細図》に先行する床伏図スタディと思われる。形状・寸法が実施設計図と異なる。

資料番号：51-d14
標　　題：原始部落シェルター・スタディ（1）
Title：Study for Shelter of Primitive Village（1）
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷研究室（旧設計連合）
Designer：Isamu Noguchi, Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：28.8×86.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（青）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：原始部落シェルター立面図2図（正面、側面）
備　　考：プラットフォーム状の床面の通路幅は1500mmで、50-d13の原始部落床伏図と一致する。シェルター（屋根部分）は実施設計図103-f30では「竹製彫刻」とされるが、この段階では具体的な構造を研究していたようである。本図の金属ロッドとジョイントによる構造は、ノグチが当初児童館やジャングルジムAへの採用を提案していたフラーのオクテット・トラスに触発されたものと考えられる。

資料番号：52-d15
標　　題：原始部落シェルター・スタディ（2）
Title：Study for Shelter of Primitive Village（2）
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷研究室（旧設計連合）
Designer：Isamu Noguchi, Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：56.3×86.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（青）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：原始部落シェルター平面図、立面図2図（正面、側面）
備　　考：51-d14と同じく、構想段階の原始部落シェルターの構造研究の別案と思われる。プラットフォーム状の床と1500mmの通路幅が確認できる。ここでも丸棒の骨組み構造をもつが、丸棒相互の結合はジョイントではなくバンド状のものに変更されている。

グループe：大谷幸夫による児童館第3案関連図面（1965年11月-12月）

資料番号：53-e01
標　　題：こどもの国児童館　配置図スタディ
Title：Study for Site Plan of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni.
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷幸夫、大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Sachio Otani, Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：73.7×121.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー（図面は大判トレーシングペーパーに貼り付け）
資料・図面中の記載：書き込み、色鉛筆、台紙左上：建築8月号／No,194／1201／◎とりあつかい注意のこと。
備　　考：右下部欠損。三角砂場、原始部落等が指示されている。ノグチのランドスケープと遊具のデザインがある程度具体化した時点で、大谷が新たに提示した児童館のスタディ。大谷は凩に舞う枯葉からインスピレーションを受けたと述べている。
掲載文献：『建築』72（1966年8月）p.93
小論における関連頁・図版：「上」58-59, fig.65

資料番号：54-e02

標　　題：こどもの国児童館　立面図・詳細図スタディ

Title：Study for Elevations and Detail Drawing of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965-1966年

サイズ/Dimensions（cm）：57.9×84.5

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：右上：柱頭部詳細図1/10　右下：ビーム詳細図1/1

内　　容：立面図2図、柱頭部詳細図1：10、柱頭部スケッチ、ビーム詳細図1：1

備　　考：児童館ユニットの最初の構想図と思われる。柱頭部は漏斗型、その上に5角形断面の雨樋型の梁が載り、柱頭の頸の部分には∅60のビーム（後のテンションバー）がとりつく。柱スパン7200mmは、実施設計図83-f10で6720に変更された。

資料番号：55-e03

標　　題：こどもの国児童館　鉄骨眞関係図スタディ

Title：Geometric Study of Roof. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：59.6×65.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：図中：屋根板裁断面、屋根勾配、H型ビームと取付く角度、切断面

備　　考：83-f10《102鉄骨眞関係図》の基本スタディ。

資料番号：56-e04

標　　題：こどもの国児童館　図書室・休憩室・三角スタッド廻り基礎部平面・断面スタディ

Title：Study for Plan and Section of Pillar Base, Library or Pavillon, Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：55.6×62.6

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（緑）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：右下：A-A断面

内　　容：平面図、A-A断面図

資料番号：57-e05
標　　題：こどもの国児童館　立面図
Title：Elevation of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：42.8×82.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
備　　考：大谷研究室資料群には児童館ユニットの屋根と梁、柱の関係に主眼を置いた立面図が5点残されている。内本図は54-e02の次、2番目に作図されたもので、天井リブの留め金具固定位置がその後のプランと異なる。柱もコンクリートである。
掲載文献：『SD』13（1966年1月）p.63

資料番号：58-e06
標　　題：こどもの国児童館　FRP屋根接合部詳細図
Title：Detail Drawings of FRP Roof Joints. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：H型梁へのパネル取付部断面図、パネルジョイント部リブ断面図
備　　考：H型梁の側面に水平リブがあり、初期の案とわかる。パネルジョイントにも段差があり、後の図では解消される。

資料番号：59-e07
標　　題：こどもの国児童館　鋼板屋根接合部詳細図
Title：Detail Drawings of Steel Roof Joints. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965-1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：H型梁へのパネル取付プレート断面図、パネルジョイント部リブ断面図、リブ断面図
備　　考：屋根パネルジョイント部には段差があり、H型梁とリブの取り付けは、梁側面に取り付けた水平リブに上下方向でボルト止めする方式。

資料番号：60-e08

標　　題：こどもの国児童館　立面図

Title：Elevation of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：56.3×104.8

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（茶）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：立面図、H型梁へのパネル取付プレート部断面図

備　　考：H型梁へのリブ取り付け金具が側面留めに変更され、梁の水平リブは廃止された。斜円錐蓋屋根末端部に遮蔽板（61-e09）が取り付けられた。

資料番号：61-e09

標　　題：こどもの国児童館　屋根末端部遮蔽板立面図

Title：Elevation of Roof Endplate. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：78.3×109.8

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：中下：YAW-TEN.50 / t＝9m/m

資料番号：62-e10

標　　題：こどもの国児童館　屋根パネル固定部及びジョイント部詳細断面図

Title：Detail Sections of Roof Fixture and Joint. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：42.0×80.5

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤、青）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：H型梁への鋼板パネル取付プレート断面図2図、パネルジョイント部リブ断面図

備　　考：児童館鋼板屋根と、H型梁側面へのパネル取付プレート詳細。下段に正面断面図、側面断面図を配し、上段は屋根鋼板接合部のリブ断面図。屋根板の継ぎ目段差がなくなった。屋根プレートのリブをH型梁側板にボルト止めする取付プレートのリブ挿入部が、リブ下端でカットされており、実施設計図86-f13《105鉄骨詳細図-2》より前のスタディと判断される。

資料番号：63-e11

標　　題：こどもの国児童館　FRP屋根パネルジョイント部リブ断面図

Title：Section of FRP Roof Joint. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：42.0×80.5

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤、青）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：FRPパネルジョイント部リブ断面図、未特定のスケッチ2図

備　　考：62-e10と同時期の作と思われる。

資料番号：64-e12

標　　題：こどもの国児童館　屋根接合部詳細断面図

Title：Sections of Roof Fixture and Joint. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：56.3×84.0

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：H型梁へのパネル取付プレート立面図、パネルジョイント部リブ断面図

備　　考：パネル取付プレートの形状変更。パネルジョイント部リブの形状は実施設計図86-f13《105鉄骨詳細図-2》と異なる。

資料番号：65-e13

標　　題：こどもの国児童館　柱頭・H型梁取付部詳細図スタディ

Title：Study for Detail Section of the Capital-Beam Joint. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：56.7×67.8

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：児童館柱頭部とH型梁との接続部分のスタディ。雨樋兼用梁が54-e02の五角形断面からH鋼となった最初の段階の取り付け方法スタディと思われる。

資料番号：66-e14
標　　題：こどもの国児童館柱頭部詳細図スタディ
Title：Study for Capital. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：42.2×47.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：柱頭・H型梁取付部伏図、柱頭部断面図、テンションリング・テンションバー伏図、雨受伏図
備　　考：児童館屋根を支える柱の柱頭部詳細スタディ。H型梁の幅150mmは後に変更された。この図が実施設計図85-f12《104鉄骨詳細図-1》の原案となった。

資料番号：67-e15
標　　題：こどもの国児童館柱頭部H型梁接合部スタディ
Title：Study for Plan of Capital-Beam Fixture. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：56.8×56.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
備　　考：柱頭部へのH型梁取付部スタディ。

資料番号：68-e16
標　　題：こどもの国児童館　柱頭・H型梁・屋根取付部詳細図
Title：Detail of Capital-Beam and Roof-Beam Fixture
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.4×88.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（水色、橙）、
資料・図面中の記載：なし
内　　容：柱頭・H型梁・屋根取付部伏図、同断面図、柱頭・H型梁取付部断面図
備　　考：水色で着色された屋根部分伏図2図（画面上、下）は、上が屋根収斂部（斜円錐殻頂点側）、下が屋根開放部の片端欠き取り部（斜円錐殻円周部の片側端部）である。

資料番号：69-e17

標　　題：こどもの国児童館　柱頭部・屋根接合部詳細図・雨受皿詳細図

Title：Detail Drawing of Capital, Roof Joint and Rain Water Drain. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：58.0×84.5

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（橙、水色）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：柱頭・H型梁取付部伏図、柱頭・H型梁取付部・テンションリング・テンションバー取付部断面図、雨受皿詳細（伏図）1：5、H型梁・パネル取付プレート断面図、屋根パネルジョイント部リブ・H型梁・パネル取付プレート断面図

備　　考：H鋼のサイズ5.8x8x169x125は実施設計図84-f11《103基礎リスト・梁リスト》の指定より細い。

資料番号：70-e18

標　　題：こどもの国児童館　柱屋根ユニット立面図

Title：Elevation of Pillar-Roof Unit. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：62.4×83.9

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤、青）、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

備　　考：斜円錐殻屋根と3本の柱からなる児童館ユニットの実施設計図より前の最終形。柱は鉄筋コンクリートである。

資料番号：71-e19

標　　題：こどもの国児童館　図書室・休憩室屋根・明り取り窓・庇廻り詳細図

Title：Detail Drawings of Roof. Library/Pavillion, Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：大谷幸夫

Designer：Sachio Otani

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965年

サイズ/Dimensions（cm）：56.8×84.1

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（橙）

資料・図面中の記載：なし

内　　容：図書室・休憩室屋根断面図（斜円錐殻末端部遮蔽板、パネルジョイント部、明り取り窓取付部、庇取付部含む）、庇・テンションバー取付部断面図、図書室・休憩所出入口立面図

備　　考：実施設計図80-f07《006矩計図》中の「軒、サッシ、庇廻り詳細図」の元になった図。

資料番号：72-e20
標　　題：こどもの国児童館　水飲場スタディ
Title：Study for Drinking Fountain of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：56.6×81.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：水飲場設備断面図、同立面図、同平面図、児童館屋根柱含む立面図
備　　考：児童館柱が鉄筋コンクリートのため、初期段階のスタディと考えられる。

資料番号：73-e21
標　　題：こどもの国児童館　池３詳細図スタディ
Title：Study for "Pond 3." Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：42.1×81.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：池３平面図、水栓廻り断面図、散水栓廻り平面図、排水トラップ廻り平面図、水栓塔スケッチ、未特定部材スケッチ
備　　考：池３は児童館内にある池で、「六角池」とも表記される。後に「勾玉形」129-i05に変更された。

グループf：児童館・A地区児童遊園実施設計図（1965年11月-1966年1月）

資料番号：74-f01
標　　題：**こどもの国児童館　000　図面リスト**
Title：000 List of Drawings. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国　児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／000／図面リスト
内　　容：児童館（一部A地区児童遊園含む）図面一覧表。「意匠設計図」001-007、「構造設計図」101-107、「設備設計図」201-207，各図面番号、図面名称、縮尺を表記
備　　考：こどもの国児童館（一部A地区児童遊園含む）の実施設計図リストと考えられる。財団法人こどもの国建設協力会の文書によれば、1965年12月28日に工事契約を締結しているため、リスト上の図面は1965年中に作図されたと判断される。

資料番号：75-f02
標　　題：こどもの国児童館　A地区児童遊園　001　特記仕様書
Title：001 Particular Specifications of Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館　A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373
設計連合／001／特記仕様書
内　　容：こどもの国児童館、A地区児童遊園特記仕様書
備　　考：児童館およびA地区児童遊園の両方についての特記仕様書。双方の実施設計図とセットで提出されたと思われる。

資料番号：76-f03
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　児童館　002　配置図　1：300
Title：002 Site Plan of Playground and Children's House. Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965-1966年
サイズ/Dimensions（cm）：78.5×108.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、ボールペン、左下：Isamu Noguchi
設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館／一級建築士事務所登録3373
設計連合／002／配置図／1：300
備　　考：Isamu Noguchi Archive（New York）所蔵の青焼き《002配置図》CR585_21（1965年12月頃）の原図となった図面ながら、本図はその後数次にわたり修正を施されている。半円砂場は66年4月頃、門は5月頃の状態、児童館西側崖の位置は66年1月21日付の119-h07と同じ状態（南壁と西壁の突合せを図書室の対角軸線と合わせる。石膏模型では合っていない）を描いている、その一方で門の通路内側擁壁やトンネルのない丸山など、古い状態も混在している。各所に消しゴムで修正跡が見られる。従って1965年末に作図後、1966年5月までの間に修正されていったと判断される。
小論における関連頁・図版：「上」39, fig.20、「中」32-37, fig.1, PL.3

資料番号：77-f04
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　児童館　003　標準断面図　標準詳細図　1：300、1：100
Title：003 Typical Cross Sections and Standard Detail Drawings of Playground and Children's House. Zone A of the Kodomonokuni. 1:300, 1:100
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.4×108.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館／一級建築士事務所登録3373
設計連合／003／標準断面図：標準詳細図／1：300　1：100
内　　容：断面図11図（X6-7, Y3-4, Y13-14, YA, XA, Y8-9, Y7-8, Y6-7, YC, XB, YD）、A地区児童遊園立面図、標準詳細図3図（A:擁壁、B:崖、C:小川）
備　　考：78-f05《004 断面リスト》に対応。石膏模型0-M1とほぼ同じ原案を示す。Isamu Noguchi Archive（New York）資料番号CR585_23aおよび同b、cの青焼きと同一図面ながら、青焼きには左下の大谷幸夫のスタンプがなく、標準詳細図及び立面図の細部が異なる。本図には消しゴムによる修正跡が見られ、青焼作成後修正の上、スタンプが捺されたものと考えられる。
小論における関連頁・図版：「上」39, fig.18

資料番号：78-f05
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　児童館　004　断面リスト　1：300
Title：004 Member of Sections. Plan of Playground and Children's House. Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.5×108.0
材質・技法/Material, Technic：青焼、インク、鉛筆
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／004／断面リスト／1：300
内　　容：スケートリンクを含む全体配置図に77-f04《003標準断面図・標準詳細図》の断面位置を記入したもの。
備　　考：ノグチ・プレイグラウンドの原案と思われ、石膏模型にほぼ等しい。但し児童館は柱プロットのみ。門は角型。

資料番号：79-f06
標　　題：こどもの国児童館　005　平面詳細図　1：100
Title：005 Detail Plan of Children's House. Zone A of the Kodomonokuni　1:100
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.5×108.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／005／平面詳細図／1：100
備　　考：右上隅やや欠損。丸山は六角形砂場に置かれる。児童館部分は床伏図。児童館東側に「プレイスカルプチャー」あり。これは石膏模型0-M1にも再現されているが、そのほかの図面には見られず、具体化しなかった。
小論における関連頁・図版：「上」48-49

資料番号：80-f07
標　　題：こどもの国児童館　006　矩計図　詳細図　1：20，1：30，1：5
Title：006 Sectional Detail Drawings of Children's House. 1:20, 1:30, 1:5
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／006／矩計図　詳細図／1/20　1/30　1/5
内　　容：矩計図1：20（屋根リブ断面図3図1：5、屋根末端部断面図1：5）、図書室平面詳細図1：30、図書室展開詳細図1：30、会所桝廻り詳細図1：20、三角スタッド廻り詳細図1：5（断面図3図、立面図2図）、軒・サッシ・庇廻り詳細図1：5
備　　考：柱は鉄筋コンクリートで中心に硬質塩化ビニルパイプを仕込み、H型梁から雨水を受ける縦樋としていた。図書室明かり取り窓は天井リブから無目まで斜めに設置される。これらはその後設計変更された。
小論における関連頁・図版：「中」45, fig.13

資料番号：81-f08
標　　題：こどもの国児童館　007　公衆便所　詳細図　1：50
Title：007 Detail Drawings of Public Toilet, Children's House. 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：57.8×82.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／007／公衆便所　詳細図／1：50
内　　容：断面図2図1：50（A-A、B-B）、展開図2図1：50（い、ろ）、トップライト立面図3図1：50、平面図2図1：50（男子公衆便所、女子公衆便所）、擁壁出入り口周り立面図1：50、詳細図3図1：20（小便器廻り、ブース廻り1及び2）

資料番号：82-f09
標　　題：こどもの国児童館　101　屋根伏図　1：100
Title：101 Roof Plan of Children's House. Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×81.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／101／屋根伏図／縮尺　1：100

資料番号：83-f10
標　　題：こどもの国児童館　102　鉄骨眞関係図　1：30
Title：102 Roof Unit with Steel Frame. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:30
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×81.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／102／鉄骨眞関係図／縮尺　1：30　注記、中央下：屋根曲面ハ図示サレタル斜円錐面ノ一部ヲナス。即チ、非閉鎖型斜円錐殻デアル。
備　　考：55-e03参照。

資料番号：84-f11
標　　題：**こどもの国児童館　103 基礎リスト・梁リスト　1：20**
Title：103 Member of Beam, Pillar and Foundation. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:20
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.1×81.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／103／基礎リスト・梁リスト／1：20（30を横線2本で訂正）　注記、G1下：註、伏図記入ノSuffixハパネル取付プレート位置ノ違イヲ示ス　G1,G1A,G1B,G1c
内　　容：梁リスト1：10（G1；H型梁・テンションバー取付部断面図、G2；テンションバー断面図）、柱リスト1：20（立面断面図、柱脚断面図2図）、基礎リスト1：20（立面断面図、基礎配筋平面図）
備　　考：梁リストは82-f09《101　屋根伏図》の梁に記された記号と対応。柱は芯に雨樋を通し周囲を鉄筋コンクリートで被覆。柱脚は80-f07《006　矩計図》では上端直径320、下端360であるが、本図では直径320の円筒としている。

資料番号：85-f12
標　　題：**こどもの国児童館　104 鉄骨詳細図-1　1：5**
Title：104 Detail Drawings of Steel Frame 1/2. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:5
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×81.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／104／鉄骨詳細図　-1／1：5　手書き番号、鉛筆、右下：4
内　　容：柱頭・H型梁取付部平面断面図、柱頭立面図、柱頭・H型梁・テンションバー立面断面図、テンションリング・テンションバー平面断面図、雨受皿平面断面図
掲載文献：『新建築』42（9）（1967年9月）p.119 /『建築』66（1966年2月）p.86

資料番号：86-f13
標　　題：**こどもの国児童館　105 鉄骨詳細図-2　1：2**
Title：105 Detail Drawings of Steel Frame 2/2. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:2
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×80.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／105／鉄骨詳細図　-2／1：2
内　　容：鉄骨詳細図-2-（H型梁・テンションバー・屋根パネル・パネル取付プレート立面断面図、屋根パネルジョイント部伏図）、屋根リブ断面図4図（A-A, B-B, 各パネルジョイント部分、一般部分）
掲載文献：『建築』66（1966年2月）p.86, 87

資料番号：87-f14
標　　題：こどもの国児童館　106　公衆便所配筋詳細図　1：50
Title：106 Detail Drawings for Bar Arrangement of Public Toilet. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.4×81.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／106／公衆便所配筋詳細図／1：50
内　　容：Y-Y配筋詳細図（立面断面図、伏図）、X-X配筋詳細図（立面断面図、伏図）、C部配筋詳細図（平面断面図）、B部配筋詳細図（平面断面図）、A部配筋詳細図（トップライト廻り平面断面図）

資料番号：88-f15
標　　題：こどもの国児童館　107　公衆便所浄化槽配筋詳細図　1：50、1：30
Title：107 Detail Drawings for Bar Arrangement of Septic Tank, Public Toilet of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50, 1:30
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×80.9
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（茶）、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／107／公衆便所浄化槽配筋詳細図／1：50　1：30
内　　容：し尿浄化槽平面詳細図1：50、A～B断面1：30、C～D断面1：30

資料番号：89-f16
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　児童館　201　衛生設備平面図　1：300
Title：201 Site Plan of Hygienic Plumbing. Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.8×108.4
材質・技法/Material, Technic：青焼、鉛筆、インク、紙
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図版、縮尺、スタンプ、右下：一級建築士事務所登録3373　設計連合／201／衛生設備　平面図／1：300
内　　容：《002配置図》（修正前）青焼、給排水設備配置図、排水設備立面断面図、給排水工事特記事項、マンホール詳細断面図（各インク描）
備　　考：下地に用いられた配置図は76-f03《002配置図》の修正前（原案）の青焼で、ノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）所蔵のもの（The Isamu Noguchi Archive, CR585_21a）と同じ。

資料番号：90-f17
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　児童館　202 電気設備　平面図 1：300
Title：202 Site Plan of Electric Installation, Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：78.7×108.4
材質・技法/Material, Technic：青焼、鉛筆、インク、紙
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館　一級建築士事務所登録3373
設計連合／202　電気設備　平面図／1：300
内　　容：《002配置図》（修正前）青焼、送電設備配置図（インク描き）
備　　考：下地に用いられた配置図は76-f03《002配置図》の修正前（原案）の青焼で、ノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）所蔵のもの（The Isamu Noguchi Archive, CR585_21a）と同じ。

資料番号：91-f18
標　　題：こどもの国児童館　203 雨水排水配管・給水平面図　1：100
Title：203 Plan of Storm Water Drain Pipe and Water Supply. 1:100
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.1×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／203／雨水排水配管・給水平面図／1：100
内　　容：児童館床伏図、給排水管・設備配置図

資料番号：92-f19
標　　題：こどもの国児童館　204 公衆便所し尿浄化槽詳細図　1：30. 1：50
Title：204 Detail Drawings of Septic Tank for Public Toilet. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:30, 1:50
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／204／公衆便所し尿浄化槽詳細図／1：30　1：50
内　　容：し尿浄化槽平面図1：50、A-B断面図1：30、C-D断面図1：30

資料番号：93-f20
標　　題：こどもの国児童館　205 公衆便所詳細図　1：20、1：50
Title：205 Detail Drawing of Public Toilet. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:20, 1:50
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／205／公衆便所詳細図／1：20　1：50
内　　容：男女便所詳細図2図（給水管・設備配置図）1：50、小便所廻り詳細図1：20、大便所廻り詳細図2図（断面図2図）、洗浄用シスタンク設備コンクリート箱配管図

資料番号：94-f21
標　　題：こどもの国児童館　206　公衆便所電気設備詳細図-1　1：10、1：50
Title：206 Detail Drawings 1/2 of Electric Facilities（Public Toilet）. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:10, 1:50
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／206／公衆便所電気設備詳細図-1／1：10　1：50
内　　容：凡例一覧表、照明器具姿図、女子公衆便所平面図1：50、男子公衆便所平面図1：50、断面図1：50、マンホール詳細図（フタ伏図、マンホール断面図）1：10、マンホール寸法一覧表

資料番号：95-f22
標　　題：こどもの国児童館　207 電気設備詳細図-2　1：20、1：100
Title：207 Detail Drawings of Electric Facilities 2/2. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni.
デザイナー：大谷幸夫、ロイヤル設計事務所
Designer：Sachio Otani, Royal Sekkei Jimusho
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）、ロイヤル設計事務所
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）, Royal Sekkei Jimusho
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.1×79.9
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫
設備設計者名、スタンプ、鉛筆、右下：設備：ロイヤル設計事務所
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／207／電気設備詳細図-2／1：20　1：100
内　　容：児童館図書室・休憩室廻り平面図（平面図1：100、照明器具姿図、C点マンホール内開閉器＜防水型＞配線図）、系統図、柱廻り詳細図1：50、取付参考図（柱頭部・方立廻り断面図）1：20

資料番号：96-f23
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　300　図面リスト
Title：300 List of Drawings. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：標題、図番、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国　A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合／300／図面リスト
内　　容：A地区児童遊園図面一覧表。図面番号001，002，301-309につき、図面名称、縮尺を記載。
備　　考：ノグチの遊具、プレイグラウンド完成図面と仕様書を纏めた表。一覧表中、下記の番号は鉛筆により横線引きの上「欠番」の書き込みあり：301，304，305，306，307，309。
小論における関連頁・図版：「中」37，69，fig.5

資料番号：97-f24
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　301　スベリ台詳細図
Title：301 Detail Drawings of Slides. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合／301　スベリ台詳細図／1：50　1：300
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：配置図1：300、登り口立面図3図（正面、裏面、側面）、平面図、断面図3図（BB, CC, DD）、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_05）。
小論における関連頁・図版：「上」39, 51, fig.14, fig.49

資料番号：98-f25
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　302　池・橋　砂場　その他　詳細図
Title：302 Detail Drawings of Ponds, Bridge etc. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録第3373　設計連合／302　池・橋　砂場　その他　詳細図／1：100　1：50　1：20
工事仕様表、鉛筆、インク、右下（標題の上）
内　　容：橋5図（平面図、立面図、断面図、A-A断面図、立面図）1：50、池4図（平面図1：100、A-A断面図1：100、PCブロック及びL型側溝伏図、池1, 2詳細図1：20）、砂場（ジャングルジムA敷地）4図（平面図1：100、立面図1：100、A-A断面図1：100、詳細図1：20）、橋・池・ジャングルジム（敷地）工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている。（The Isamu Noguchi Archive. CR585_06）。
小論における関連頁・図版：「上」54, 55, fig.57, fig.59, fig.60

資料番号：99-f26
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　303　野外劇場　詳細図
Title：303 Detail Drawings of Open-air Theater. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.1×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／303　野外劇場　詳細図
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：平面図1：100、A-A断面図1：100、B-B断面図1：100、CC断面詳細図1：50、階段詳細図1：20、観客席詳細図（断面図）1：20、観客席端部詳細図1：20、工事仕様一覧表（空欄）
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_07）。
小論における関連頁・図版：「上」46, 47, fig.32, fig.36

資料番号：100-f27
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　304　亀ノ子砂場　詳細図
Title：304 Detail Drawings of Tortoise Shell Sand Pool. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.1×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／304　亀ノ子砂場　詳細図／1：300　100　20
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：平面図2図（1：300、1：100）、断面図27図（P1-P9, Q1-Q9, R1-R9）1：300、詳細図（標準断面図）1：20、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_08）。
小論における関連頁・図版：「上」43-45, PL.4

資料番号：101-f28
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　305　ジャングルジムB　詳細図　1：50
Title：305　Detail Drawings of Jungle Gym B, Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／305　ジャングルジムB　詳細図／1：50
工事仕様表、鉛筆、スタンプ。右下（標題の上）
内　　容：立面図2図（正面、側面）、平面図、断面図2図（正面、側面）、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_09）。
小論における関連頁・図版：「上」54, fig.15, fig.56

資料番号：102-f29
標　　題：こどもの国 A地区児童遊園　306　ピラミッド詳細図　1：50
Title：306 Detail Drawings of Pyramid. Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.7×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：　Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国　A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合／306／ピラミッド　詳細図／1：50
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：DACB平面図、立面図6図（AB、BC、CD、DA、BA、CB）、MM断面図、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_10）。
小論における関連頁・図版：「上」55, fig.16, fig.61

資料番号：103-f30
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　307　原始部落　詳細図
Title：307 Detail Drawings of "Primitive Village." Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合／307／原始部落　詳細図 ／1：50
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：平面図、立面図2図（い、ろ）、A-A断面図、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_11）。
小論における関連頁・図版：「上」55-56, fig.17, fig.52

資料番号：104-f31
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　308　三角砂場　詳細図
Title：308　Detail Drawings of Triangle Sand Pool. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.7×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／308／三角砂場　詳細図／1：100　1：50　1：20　1：10
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：平面図1：100、縁廻り詳細図1：10、M-5詳細図3図（正面及び側面立面図、断面図）1：50、標準断面図1：100、M-1~3標準詳細図1：20、集水桝配置図1：300、M-3及び4詳細図3図（M-3立面図、M-4立面図2図）1：50、M-6詳細図3図（立面図2図、断面図）1：50、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_12）。
小論における関連頁・図版：「上」51-52, fig.50

資料番号：105-f32
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園　309　ブランコ　詳細図**
Title：309 Detail Drawings of Swings. Playground of Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、インク（ボールペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／309／ブランコ　詳細図
工事仕様表、鉛筆、スタンプ、右下（標題の上）
内　　容：吊元廻り詳細図3図（側面2図、正面）、座板廻り詳細図3図（側面、正面、座板平面図）、フレームアンカー廻り詳細図3図（側面2図及び正面断面図）、アンカーボルトベース伏図2図、フレーム伏図、ロックチェーン及び丸環上詳細図2図（側面、正面）、地上コンクリート結界断面図、工事仕様一覧表
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_13）。
小論における関連頁・図版：「上」53, fig.53

資料番号：106-f33
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園　310　ブランコ**　（ブランコ詳細図）
Title：310 Detail Drawings of Swings. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1965年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：署名、インク（ペン）、左下：Isamu Noguchi
標題、図番、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録第3373　設計連合／310　ブランコ／1：50
内　　容：立面図2図（正面、側面）、平面図
備　　考：本図の青焼きがノグチ・ミュージアム（ニューヨーク）に所蔵されている（The Isamu Noguchi Archive, CR585_14）。
小論における関連頁・図版：「上」53, fig.54

資料番号：107-f34（-1～-7）
標　　題：**こどもの国児童館　構造計算書**（全7葉）
Title：Structural Calculation Sheets for Children's House in Zone A of the Kodomonokuni（7leaves）
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年1月18日/January 18, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：27.0×37.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：表紙、標題、設計事務所名、スタンプ、鉛筆：こどもの国児童館／構造計算書／一級建築士事務所登録3373　設計連合
中扉、標題、年記、鉛筆：こどもの国／児童館構造計画書／41.1.18
備　　考：児童館（第3案）実施設計図（本資料f群）完成後に本資料が作成されたと考えられる。

グループg：児童館設計修正過程（1966年1月）

資料番号：108-g01
標　　題：こどもの国児童館　柱基礎・会所桝断面図スタディ
Title：Study for Pillar Foundation. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：56.0×57.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：柱基礎断面図、会所桝廻り伏図、排水管ベースプレート立面図
備　　考：児童館柱基礎部・会所桝スタディと思われる。柱が鉄筋コンクリートから鋼管に変更されているため、実施設計図より後の作成とした。

資料番号：109-g02
標　　題：こどもの国児童館　図書室・休憩室V型方立受金具スタディ他
Title：Study for Base Plate of Mullion. Library and Pavillon, Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×119.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
内　　容：スケッチ10図
備　　考：図書室・休憩室の方立は実施設計図80-f07《006矩設計》の詳細展開図では無目から床に向けて細くなる矢じり形の輪郭（三角スタッド）であったが、その後シンプルなV型鋼材に変更された。本図面の左上はV型方立の基礎部受金具平面図スタディと思われる。参照：115-h03、V型方立：121-h09。

資料番号：110-g03
標　　題：こどもの国児童館柱頭詳細図
Title：Section of Capital. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×79.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
内　　容：柱頭部立面断面図、柱立面図
備　　考：柱頭部最終図面と思われる。H鋼梁（雨樋）を受けるリブの立ち上がり部輪郭が円弧となり、80-f07《006矩計図》より後の作図と思われる。柱脚は鉄筋コンクリートから鋼管⌀165mmに変更され、これが実施された。

資料番号：111-g04
標　　題：こどもの国児童館　**図書室屋根伏図　1：30**
Title：Roof Plan of "Library." Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:30
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：タイトル、縮尺、スタンプ、右下：図書室　屋根伏図　1：30
備　　考：図書室・休憩室屋根伏図（見上図）。明り取り窓が外周から三番目の屋根リブ曲線に沿って垂直に立ち上がること、入口庇が80-f07《006矩計図》における矩形から変更され、外側長辺が屋根外周に副った曲線になった。庇は123-h11（R-11図面）で台形に変更される。よって本図は実施設計図《006矩計図》より後で、かつR図面より前の作図と思われる。

資料番号：112-g05
標　　題：こどもの国児童館・児童遊園門通路擁壁立面スタディ
Title：Study for Masonry Retaining Wall, Passageway and Gate to Children's House and Playground. Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：28.0×81.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：なし
備　　考：入り口擁壁を東側から見る。便所、門、階段含む。門の形状が片面斜面であること、擁壁内側（東側）が最終形であること、一方、門の地盤高さを7000としていることから、79-f06《005児童館配置図》（門両面斜面、地盤7000、内側擁壁長い）より後、61年6月8日付ジアゾタイプ配置図134-i10（地盤6700）よりは前に描かれたものと判断される。

グループh：児童館設計補助図（R図面）前期（1966年1月-3月）

資料番号：113-h01
標　　題：こどもの国児童館　R-1　屋根・柱詳細図
Title：R-1 Detail Drawings and Section of Roof Unit. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年2月9日/February 9, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：53.4×84.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：縮尺、図番、年記、右下：S：1/10　R-1/ 1966.1.21／ 2.9　訂正
内　　容：屋根伏図1:10、屋根・柱断面詳細図1:10、排水管取付ベースプレート平面図1:10
備　　考：鋼管の柱は雨樋を兼ね、内面に防食処理の指示がある。その周囲には鉄筋コンクリート柱の輪郭線を消した痕が確認できる。
掲載文献：『建築』72（1966年8月）p.94

資料番号：114-h02
標　　題：こどもの国児童館　R-2　図書室・休憩室詳細図
Title：R-2 In- and outside Elevation, Detail Drawing of Roof Edge, Sections of Library/ Pavillion. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：53.8×99.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計所名、図番、スタンプ、鉛筆、右下：設計連合／R-2
図番、年記、鉛筆、右下：R-2／1966.1.21
内　　容：図書室平面詳細図（外観・内観）、図書室展開詳細図（外観・内観）、軒・サッシ・庇廻り詳細図
備　　考：右下コーナー欠損。図書室・休憩室の方立はV字鋼に変更。引き戸上の明り取り取り窓を傾斜配置から屋根ビームの曲線にそった垂直配置に変更。
掲載文献：『建築』72（1966年8月）p.94

資料番号：115-h03
標　　題：こどもの国児童館　R-3　図書室・休憩室V型方立基礎部・受金具スタディ
Title：R-3 Study for Mullion Baseplate of Library /Pavillion. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年1月21日/January 21, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：56.4×70.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、年記、鉛筆、右下：R-3／1966.1.21
内　　容：V型方立基礎部平面図
備　　考：109-g02参照。

資料番号：116-h04
標　　題：こどもの国児童館　R-5　池3　平面図　断面図 1：10, 1：50
Title：R-5 Plan and Sections of "Pond 3." Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:10, 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×79.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-5
内　　容：池平面図1：50、断面図2図（A-A、B-B）1：10、オーバーフロー廻り平面図1：10
備　　考：129-i05参照。池3（「六角池」）はこの六角形からの勾玉型に変更された。
小論における関連頁・図版：「上」48-49, fig.39

資料番号：117-h05
標　　題：こどもの国児童館　R-6　足洗場・水飲場詳細図 1：20
Title：R-6 Plans, Sections and Elevation of Foot Washing and Drinking Fountain. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-6
内　　容：足洗場平面図1：20、足洗場A-A断面図1：20、足洗場立面図2図（側面、正面）1：20、水飲場平面図1：20、水飲場B-B断面図1：20
備　　考：児童館水飲場、足洗場の最終案。水飲み場当初案72-e20。
小論における関連頁・図版：「上」48-49, fig.42

資料番号：118-h06
標　　題：こどもの国児童館　R-7　タイル詳細図
Title：R-7 Detail Drawing of Tile Floor. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：56.6×66.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（青）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-7
内　　容：床面部分平面図、土間（床）・タイル辺長計算式
備　　考：児童館ユニットの床面（正三角形）とタイル（標準サイズおよび縁部用2種）のサイズを決定するためのスタディと思われる。

資料番号：119-h07
標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　R-4　児童館周辺配置図　敷地境界東側水路及び西側崖変更箇所
Title：R-4 Modification of Site Plan. Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年1月21日/January 21, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：55.9×109.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、年記、色鉛筆（赤）、右下：R-4／1966.1.21
内　　容：修正前の旧《002配置図》（原案配置図）の部分トレースによる配置図、変更箇所をフラッグで指示
備　　考：変更箇所は大きく3か所：敷地東側境界水路、スケートリンクからのアプローチ部通路擁壁（東側を短縮）、児童館西側崖のコーナーを図書室対角軸線に揃え、図書室の位置も60cm北に移動。これらは76-f03《002配置図》修正時に反映された（但し水路は本図と異なる）。

資料番号：120-h08
標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　R-8　アプローチ部・通路・東側境界擁壁立面図　1：100
Title：R-8 Elevations of Masonry Retaining Walls around Forecourt, Passageway and East Border. Children's House and playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年2月22日/February 22, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：54.4×79.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：図番、年記、鉛筆、右下：R-8／1966.16.Feb.／22. 修正
内　　容：立面図7図（擁壁ABCD、EFG、H'H、DJ、II'、K、L）、擁壁配置図（略図）
備　　考：略図は前庭周辺から入口門、野外劇場への階段脇、池2から野外劇場に向かう敷地境界擁壁をAからKに分けて図示。便所出入り口で擁壁Jが切れていること、門が前後面共垂直であること、便所前東側擁壁稜線が一定の斜線であることから、実施設計図以降、最終案より前の段階と判断される。

資料番号：121-h09
標　　題：こどもの国児童館　R-9　図書室・休憩室庇廻り、V型方立・無目廻り詳細図
Title：R-9 Detail Drawings of Eaves, V-shaped Mullion and Transom. Library/Pavillion of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年2月22日/February 22, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：54.7×79.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：図番、年記、鉛筆、右下：R-9／1966.2.22
設計所名、スタンプ、右下：設計連合
内　　容：庇廻り詳細図2図（見上図、詳細図）1：5、V型方立廻り詳細図1：5、V型方立・無目見上図1：5、柱立面図、V型方立廻り断面図7図（A-A, B-B, C-C, D-D, E-E, F-F, G-G）1：5、V型方立廻り立面詳細図（1）1：10、V型方立廻り立面詳細図（2）（外からの立面）1：10
備　　考：図書室・休憩室の出入り口周りをV型方立でデザインした最終案と思われる。

資料番号：122-h10
標　　題：こどもの国児童館　R-10　柱・梁・会所桝詳細図
Title：R-10 Detail Drawings of Pillar, Beam and Catch Basin. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年2月22日/February 22, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：56.2×81.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、年記、鉛筆、右下：R-10/ 1966-2-22.
内　　容：柱・梁・会所桝立面断面図、会所桝平面断面図、桝蓋伏図、柱頭・H型梁・テンションバー断面図

資料番号：123-h11
標　　題：こどもの国児童館　R-11　図書室・休憩室出入口庇・踏み石伏図・断面図
Title：R-11 Sections and Detail Drawings of Eaves, Stepping Stone and Sliding Door of Library/Pavillion, Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：56.0×79.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-11
内　　容：庇・踏み石廻り伏図（左半部踏み石、右半部庇）、庇断面図2図（A-A, B-B）1：10
備　　考：庇は111-g04の形状から踏み石と同じ台形に変更され、この形で施工された。

資料番号：124-h12
標　　題：こどもの国児童館　R-11'　図書室・休憩室無目・庇廻り断面図スタディ（？）
Title：R-11'　Study for Section Detail. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：27.9×35.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、右下、R-11'
備　　考：図番から、R-11に関連する部分のスタディと思われる。

グループi：児童館設計補助図後期・児童遊園設計補助図（1966年4月-6月）

資料番号：125-i01
標　　題：こどもの国児童館　R-13　屋根伏図スタディ
Title：R-13 Study for Roof Plan. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年4月11日/April 11, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：57.5×84.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-13
年記、鉛筆、右下：1966　4.11
備　　考：ノグチの1966年4月3日来日後、児童館の屋根配置を具体的に計画し直したものと思われる。
先行する82-f09《101屋根伏図》からユニットが削減され、開口部の方向も変化している。FRP屋根は赤で表記。
小論における関連頁・図版：「上」59-60, fig.67

資料番号：126-i02
標　　題：こどもの国児童館　R-13'　屋根伏図スタディ
Title：R-13' Study for Roof Plan. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年4月12日/April 12, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：57.4×84.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：年記、図番、右下：1966 4.12／R-13'
備　　考：125-i01（R-13）の翌日の作図。ユニットの位置は変化ないが、開口部の向き、FRP屋根の配置が一部変更された。最終段階の配置図150-k02の屋根配置と等しい。

資料番号：127-i03
標　　題：こどもの国　児童館　R-12　平面詳細図
Title：R-12 Floor Plan Detail of Children's House, Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年5月13日/May 13, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：78.1×107.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（青）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：図番、鉛筆、右下：R-12　白-3
年記、鉛筆、右下：41.5.13
内　　容：児童館平面図（床伏図）、タイル割詳細図3図（平面図、立面図、断面図A-A, B-B）1：20
備　　考：丸山にトンネルを付け、周囲の砂場を削除。池3を勾玉形に変更。水飲場を2ヶ所から1ヶ所に削減。ノグチの1966年4月29日付書簡・図面を受けて、ユニット床一部のかさ上げと形状変更、丸山のトンネル設置等、新たな変更が反映された。門は前後両斜面のまま。
小論における関連頁・図版：「中」47-52, fig.16

資料番号：128-i04
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　**R-18　ジャングルジム廻り詳細（追加）**
Title：R-18 Detail Drawings of Jungle Gym Place（additional）. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年5月17日/May 17, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：56.2×74.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、標題、年記、鉛筆、右下：R-18　ジャングルジム廻り詳細（追加）　41.5.10／41.5.17／設計連合
内　　容：ジャングルジムA敷地平面図1：100、断面図2図（A-A, B-B）
備　　考：98-f25参照。砂場は芝生に変更された。

資料番号：129-i05
標　　題：六角池　1：50　（参考図）
Title：Detail Drawings of "Hexagon Pond." Playground in Zone A of the Kodomonokuni (Reference Drawing). 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1966年5月21日/May 21, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：55.7×83.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：標題、縮尺、年記、鉛筆、右下：六角池　1/50　41.5.21　設計連合／参考図
内　　容：池3（勾玉池）平面図、A-A断面図
備　　考：池3は正三角形ユニット6箇所分のスペースに六角形で予定されていたが、ノグチの66年4月29日付書簡を受けて勾玉型に変更された。
小論における関連頁・図版：「上」48-49, fig.40

資料番号：130-i06
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　**R-20（旧三角）砂場詳細図**
Title：R-20 Detail Drawings of (ex-Triangle) Sand Pool. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1966年5月30日/May 30, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、タイトル、年記、鉛筆、右下：R-20　（旧三角）砂場　41.5.18／41.5.30／設計連合
内　　容：平面図1：100、詳細図2図（断面図A-A, B-B）1：10、断面図C-C　1：100、配置図1：300
備　　考：66年4月のノグチ来日を受けて、ノグチ原案の104-f31《308三角砂場》は半円形に変更された。
小論における関連頁・図版：「中」42-44, fig.7

資料番号：131-i07
標　　題：こどもの国児童館　**R-15　門配筋図**　1：30
Title：R-15 Detail Drawings for Bar Arrangement of Gate. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:30
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates (Former Sekkei Rengo)
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.2×80.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合
図番、標題、鉛筆、右下：R-15／門配筋図　頁番号、鉛筆、右下：1
内　　容：矩計図3図（B面立面、A面立面、平面）工事仕様表
備　　考：132-i08《R-16　門配筋図》の断面位置が記されている。B面のみ斜面となり、門の最終案である。なお、標題欄には「A地区児童遊園」のスタンプがあるが、門は公衆便所と共に児童館施設整備事業に含まれていたため、本目録の標題は「児童館」とする。
小論における関連頁・図版：「上」46, fig.28, fig.31

資料番号：132-i08
標　　題：こどもの国児童館 **R-16 門配筋図** 1：30
Title：R-16 Detail Drawings for Bar Arrangement of Gate. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:30
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.5×81.3
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、色鉛筆（赤）、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合
図番、標題、鉛筆、右下：R-16／門配筋図
頁番号、鉛筆、右下：2
内　　容：断面図3図（C-C, D-D, E-E）、基礎伏図
備　　考：131-i07《R-15　門配筋図》とセットで作図された。

資料番号：133-i09
標　　題：こどもの国児童館 **R-21 便所脇　門　詳細図**
Title：R-21 Detail Drawings of Gate. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年5月30日/May 30, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：57.5×79.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：標題、鉛筆、左中：便所脇　門　詳細図
図番、年記、鉛筆、右下：R-21　設計連合　41.5.30
内　　容：平面図1：30、部分平面図1：5、築山側雨桝2図（平面図、A-A断面図）1：20
備　　考：132-i08児童館入り口門（R-16）の地表面断面図、E-E断面図の表面仕上げ（はつり面、打ち放し面等）及び細部、グレーチング（雨水升のカバー）等を示す。

資料番号：134-i10
標　　題：**こどもの国　A地区児童遊園　児童館　配置図　1：300**（ジアゾタイプ配置図、反転図）
Title：Mirrored Site Plan of Playground and Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年6月2日/June 2, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：79.0×108.0
材質・技法/Material, Technic：ジアゾタイプ（セピア）　diazotype（sepia diazo）
資料・図面中の記載：標題、左下：こどもの国　A地区児童遊園　児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／配置図／1：300
年記、手書き、左下：41.6.2
備　　考：76-f03《002配置図》の後、1966年4月29日付ノグチ書簡に基づく一連の変更を反映させた新たな配置図として作図された。本図の原図はさらに数次にわたる変更が加えられ、150-k02（最終配置図）となって残された。
小論における関連頁・図版：「中」32-39, fig.3

資料番号：135-i11

標　　題：**こどもの国児童館　R-　丸山詳細図　1：50　参考図**

Title：R- Detail Drawings of "Maruyama." Children's House in Zone A of the Kodomonokuni

デザイナー：イサム・ノグチ

Designer：Isamu Noguchi

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1966年5月21日/May 21, 1966

サイズ/Dimensions（cm）：55.0×84.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：図番、タイトル、縮尺、年記、鉛筆、右下：R-　丸山詳細図　1/50　41.5.21／設計連合

内　　容：平面図、A-A断面図、立面図

備　　考：児童館中心に位置する丸山は当初穴のないマウンドであったが、1966年4月29日付ノグチ書簡を受けてマウンドに2本のトンネルを設けることになった。本図はその第1案。

資料番号：136-i12

標　　題：こどもの国**児童館　R-19　丸山詳細図　1：50**

Title：R-19 Detail Drawings of "Maruyama." Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50

デザイナー：イサム・ノグチ

Designer：Isamu Noguchi

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1966年6月7日/June 7, 1966

サイズ/Dimensions（cm）：55.4×79.9

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）

資料・図面中の記載：図番、タイトル、縮尺、年記、鉛筆、右下：R-19　児童館　丸山　詳細図　1／50／41.5.13／41.6.7

内　　容：平面図、A-A断面図、立面図、部分スケッチ

備　　考：丸山の最終案。

小論における関連頁・図版：「上」48-49, fig.37, fig.38, fig.41

資料番号：137-i13

標　　題：こどもの国A地区児童遊園　**R-21 小橋詳細図　1：20**

Title：R-21 Detail Drawings of "Ponticulus." Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:20

デザイナー：イサム・ノグチ

Designer：Isamu Noguchi

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1966年6月7日/June 7, 1966

サイズ/Dimensions（cm）：57.5×77.7

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：図番、標題、縮尺、年記、鉛筆、右下：R-21 小橋詳細図　1/20　設計連合／　41.6.7

内　　容：伏図、断面図2図（A-A, B-B）

備　　考：児童館西側の切り通しに繋がる小橋。

小論における関連頁・図版：「上」49-50, fig.44, fig.47, fig.48

資料番号：138-i14
標　　題：こどもの国児童館・A地区児童遊園　**R-17　子供の国　出入口廻り　1：100**
Title：R-17 Detail Drawings of Forecourt and Open-air Theater. Playground and Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：イサム・ノグチ
Designer：Isamu Noguchi
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年6月8日/June 8. 1966
サイズ/Dimensions（cm）：53.8×75.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：図番、標題、縮尺、年記、鉛筆、右下：R-17　子供の国　出入口廻り　1/100　41.5.10／41.6.8　設計連合
内　　容：平面図（野外劇場、前庭、築山）1：100、断面図2図（A-A, B-B）1：100、衝立詳細図1：30
備　　考：野外劇場の最終案。
小論における関連頁・図版：「上」46-47, fig.33, fig.36

資料番号：139-i15
標　　題：こどもの国児童館立面図
Title：Elevations of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×79.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：なし
内　　容：立面図4図
備　　考：門の形状、便所前擁壁東側も最終形である。

グループj：児童館・A地区児童遊園竣工図（1966年8月）

資料番号：140-j01
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園・児童館　標準断面図　1：300**
Title：Typical Sections of Playground and Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年8月15日
サイズ/Dimensions（cm）：78.2×107.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、年記、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館　一級建築士事務所登録3373　設計連合／標準断面図／縮尺 1：300／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：2
内　　容：断面図3図（A-A, B-B, C-C）
備　　考：児童館竣工は1966年8月9日で、本図を含む8月15日付図面はその後作図完了、提出された竣工図と思われる。但し本図には岩山、ブランコ、砂場、原始部落等、施工されていない施設も含まれていることが注目される。
小論における関連頁・図版：「中」67-68

資料番号：141-j02
標　　題：こどもの国　児童館　平面図　1：100
Title：Site Plan of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年8月15日/August 15, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：80.5×118.5
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー、和紙裏打ち（1995年6月）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、年記、スタンプ、右下：こどもの国児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／平面図／1：100／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：3
備　　考：竣工後の写真から、児童館竣工時の最終図面（竣工図）と判断される。
掲載文献：『新建築』42（9）（1967年9月）p.114
小論における関連頁・図版：「中」52, fig.17

資料番号：142-j03
標　　題：こどもの国児童館　標準詳細図　1：20
Title：Typical Detail Drawings of Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:20
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年8月15日/August 15, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.9
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、年記、スタンプ、右下：こどもの国児童館／標準詳細図／縮尺 1：20／一級建築士事務所登録3373　設計連合／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：（欠損により判読できず）
内　　容：立面図（側面及び正面）
備　　考：竣工時の児童館ユニット。床高さ二種。
掲載文献：『新建築』42（9）（1967年9月）p.118

資料番号：143-j04
標　　題：こどもの国児童館　雨水、排水、配管、給水平面図　1：100
Title：Plan of Plumbing. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:100
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：52.5×79.7
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館　一級建築士事務所登録3373 設計連合／雨水、排水、配管、給水、平面図／1：100
頁番号、鉛筆、右下：8
備　　考：設計年月日の記入はないが、設計者印、標題、頁番号の記載から、一連の8月15日付竣工図のひとつと考えられる。排水管は各柱基礎の会所桝、水飲場、足洗場及び池3（勾玉池）の排水を図書室南東角に導き、本管に接続。給水管は敷地南北軸に沿って水飲場1箇所、足洗場2箇所、池3に接続。147-j08《給排水平面図》参照。

資料番号：144-j05
標　　題：こどもの国児童館　電気設備平面図　1：50、1：100
Title：Plan of Electric Facilities. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50, 1:100
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、朱文円印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国児童館　一級建築士事務所登録3373　設計連合／電気設備平面図／縮尺　1：50　1：100
頁番号、鉛筆、右下：9
内　　容：児童館図書室・売店（休憩室）配線図（平面図）1：100、便所配線図2図（伏図）1：50、配電盤系統図
備　　考：休憩室には「売店」と表記されている。年記はないものの、設計者印と標題欄、頁番号があり、1966年8月15日付竣工図の一部と考えられる。

資料番号：145-j06
標　　題：こどもの国児童館　公衆便所詳細図　1：50
Title：Detail Drawings of Public Toilet. Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.1
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、年記、スタンプ、右下：こどもの国児童館　一級建築士事務所登録3373　設計連合／公衆便所詳細図／1：50／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：5
内　　容：平面図2図（男子公衆便所、女子公衆便所）、断面図3図（A-A, B-B, C-C）、立面図（擁壁開口部）、トップライト立面図
備　　考：便所は擁壁と接合されて出入り口は擁壁面に設けられた。

資料番号：146-j07
標　　題：こどもの国児童館　公衆便所詳細図　1：50
Title：Detail Drawings of Public Toilet, Children's House in Zone A of the Kodomonokuni. 1:50
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：51.5×79.6
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー
資料・図面中の記載：設計者名、スタンプ、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、スタンプ、右下：こどもの国児童館　一級建築士事務所登録3373　設計連合／公衆便所詳細図／1：50
頁番号、鉛筆、右下：10
内　　容：器具配置図、器具表
備　　考：衛生器具・給水設備（管、栓）・排水トラップの配置図。建築家印、標題、頁番号から、1966年8月15日付竣工図のひとつと見なされる。

資料番号：147-j08
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園児童館　給排水平面図　1：1000**
Title：Site Plan of Plumbing. Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:1000
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年8月15日/August 15, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：54.9×79.8　図：43.7×32.9
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（図貼り付け）
資料・図面中の記載：設計者名、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、年記、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国A地区児童遊園児童館　一級建築士事務所登録3373　設計連合／給排水平面図／1：1000／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：6
備　　考：スケートリンク南側から児童遊園敷地全体を含む。等高線入り。148-j09「給排水断面図」とセット。

資料番号：148-j09
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園児童館　給排水断面図**
Title：Sections of Plumbing. Children's House and Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：大谷幸夫
Designer：Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年8月15日/August 15, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：54.8×79.5　図：37.3×78.2
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け、図貼り付け）
資料・図面中の記載：設計者名、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、年記、スタンプ、鉛筆、右下：こどもの国A地区児童遊園児童館　一級建築士事務所登録3373
設計連合／給排水断面図／41.8.15
頁番号、鉛筆、右下：7
内　　容：断面図9図（標準断面図、Nos.0~2, 1~2, 2~3, 3~4, 4~5, 5~6, 6~7, 7~11, 分枝標準断面図）、側面断面図2図（本管、分枝）、数値表
備　　考：147-j08「給排水平面図」とセット。

グループk：A地区児童遊園補遺・第2児童遊園関連図面（1966年9月-10月）

資料番号：149-k01
標　　題：**こどもの国A地区児童遊園　砂場詳細図**（花形砂場）
Title：Plan and Detail Drawings of Sand Pool（Flower-shaped）. Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：標題、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園／一級建築士事務所登録3373　設計連合／砂場詳細図
内　　容：平面図1：100、イ-イ断面図1：100、断面図2図（A-A, C-C）1：10、B詳細図1：10、衝立詳細図3図（平面図、立面図、断面図）1：20
備　　考：本図は昭和40年度児童遊園施設整備事業の対象であるが、設計は同事業部分竣工後の1966年9月以降、施工は同年冬にかけて行われた。
小論における関連頁・図版：「上」52, fig.51,「中」52, 71, fig.18

資料番号：150-k02
標　　題：こどもの国　A地区児童遊園　児童館　配置図　1：300
Title：Site Plan of Playground and Children's House. Zone A of the Kodomonokuni 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年9月27日/September 27, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：78.2×107.9
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：署名、サインペン、左下：Isamu Noguchi
設計者名、スタンプ、朱文丸印、左下：一級建築士第32349号　大谷幸夫　印
標題、縮尺、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　児童館／一級建築士事務所登録3373　設計連合／配置図／1：300
年記：鉛筆、スタンプ、右下：41.6.2/ 41.8.15/ 41.9.12/ 41.9.27
頁番号、鉛筆、右下：1
備　　考：134-i10（ジアゾタイプ配置図）の原図であり、その後3次の修正を経た配置図。児童遊園には半円砂場に替えて花形砂場が置かれ、遊園北部は151-k03《第2児童遊園配置図》と同様である。イサム・ノグチのサインをもち、確認できる最後の配置図修正案である。右下の頁番号1は、本図が一連の1966年8月15日付竣工図の一部であったことを示している。
小論における関連頁・図版：「中」32-37, 52-55, fig.2, fig.4

資料番号：151-k03
標　　題：こどもの国A地区第2児童遊園配置図　1：300
Title：Site Plan of the second part of Playground in Zone A of the Kodomonokuni. 1:300
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年10月20日/October 20, 1966
サイズ/Dimensions（cm）：55.0×80.0
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：標題、スタンプ、右下：こどもの国A地区第2児童遊園／配置図／縮尺　1：300
年記、鉛筆、右下：41.10.20
註、鉛筆、右下：註　亀の子砂場、崖、切通しは詳細および全体配置図による。
備　　考：昭和40年度児童遊園施設整備事業（1966年7月31日竣工）で実施対象とならなかった区域を実現するべく、第2児童遊園施設整備事業が実施されることになった。本図はその補助金申請の図面として用いられた。
小論における関連頁・図版：「中」52-58, 72-75, fig.2, fig.21

資料番号：152-k04
標　　題：こどもの国A地区児童遊園　スベリ台詳細図
Title：Deail Drawings of Slide, Playground in Zone A of the Kodomonokuni
デザイナー：イサム・ノグチ、大谷幸夫
Designer：Isamu Noguchi, Sachio Otani
作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）
Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）
作図年月日/Date：1966年
サイズ/Dimensions（cm）：54.7×79.8
材質・技法/Material, Technic：鉛筆、インク、トレーシングペーパー（ミシン掛け）
資料・図面中の記載：標題、スタンプ、右下：こどもの国A地区児童遊園　一級建築士事務所登録3373　設計連合／スベリ台詳細図
内　　容：平面図1：100、断面図1：100、A-A断面図1：20、B詳細図1：20、C-C断面図
備　　考：ノグチ原案縮小後の「第2児童遊園」案のシングルタイプのスベリ台図面。
小論における関連頁・図版：「中」55, fig.19

グループI：内容未特定の図面

資料番号：153-101

標　　題：可動式書架立面図（未特定）

Title：Elevations of Unidentfied Movable Bookshelf

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965-1966年

サイズ/Dimensions（cm）：56.4×78.2

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：立面図2図（正面、側面）

資料番号：154-102

標　　題：備品立面図（未特定）

Title：Elevations of Unidentified Equipment

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965-1966年

サイズ/Dimensions（cm）：42.1×67.9

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：立面図2図（側面、正面）

資料番号：155-103

標　　題：室内立面図（未特定）

Title：Elevation of Unidentified Interior

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1965-1966年

サイズ/Dimensions（cm）：48.0×42.0

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

資料番号：156-104

標　　題：擁壁立面図スタディ（未特定）

Title：Study for Elevations of Unidentified Masonry Retaining Walls

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964-1965年

サイズ/Dimensions（cm）：42.0×78.9

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

資料・図面中の記載：なし

内　　容：立面図2図、スケッチ

備　　考：157-105は本図と同じ対象の平面図と思われる。詳細不明。

資料番号：157-105

標　　題：擁壁平面図スタディ（未特定）

Title：Study for Plan of Unidentified Masonry Retaining Walls

作図/制作：大谷研究室（旧設計連合）

Drawing/Manufacture：Otani Associates（Former Sekkei Rengo）

作図年月日/Date：1964-1965年

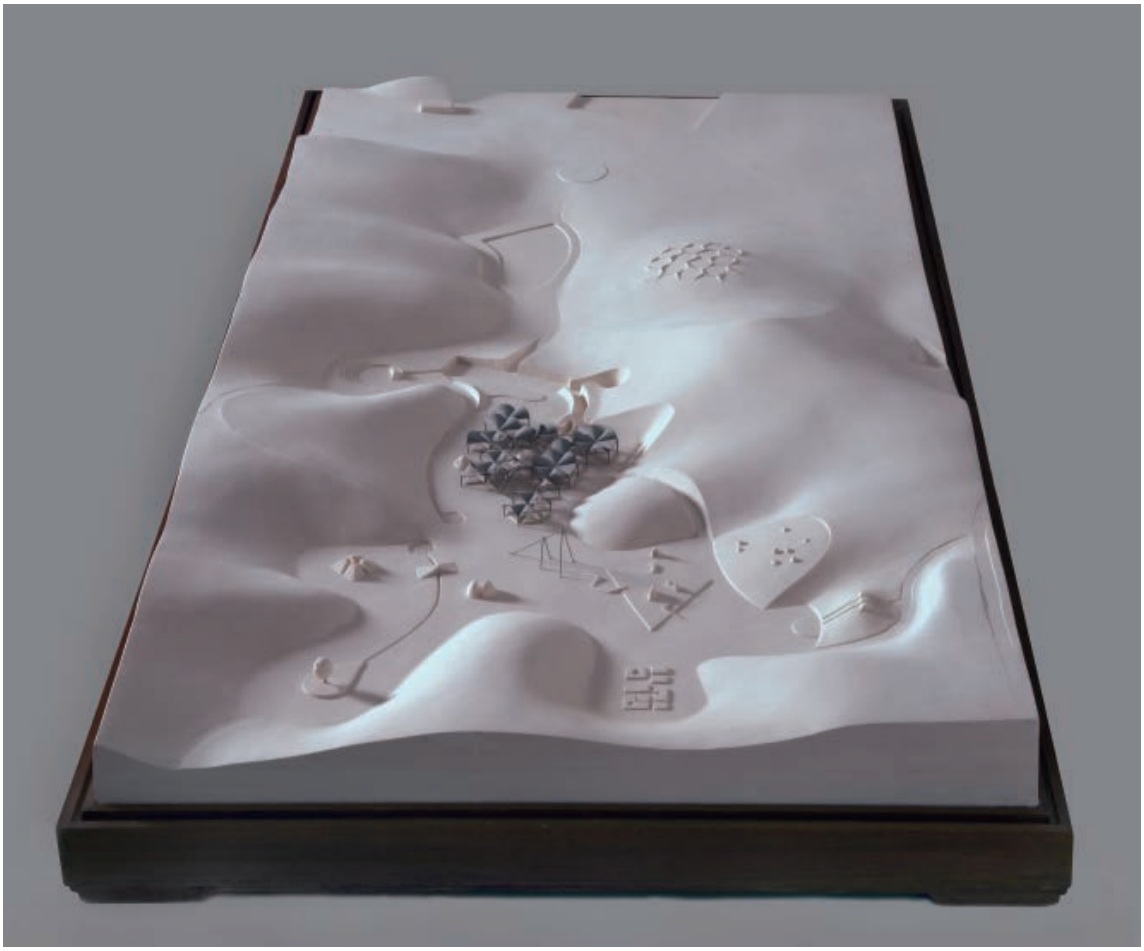
サイズ/Dimensions（cm）：42.0×94.7

材質・技法/Material, Technic：鉛筆、トレーシングペーパー

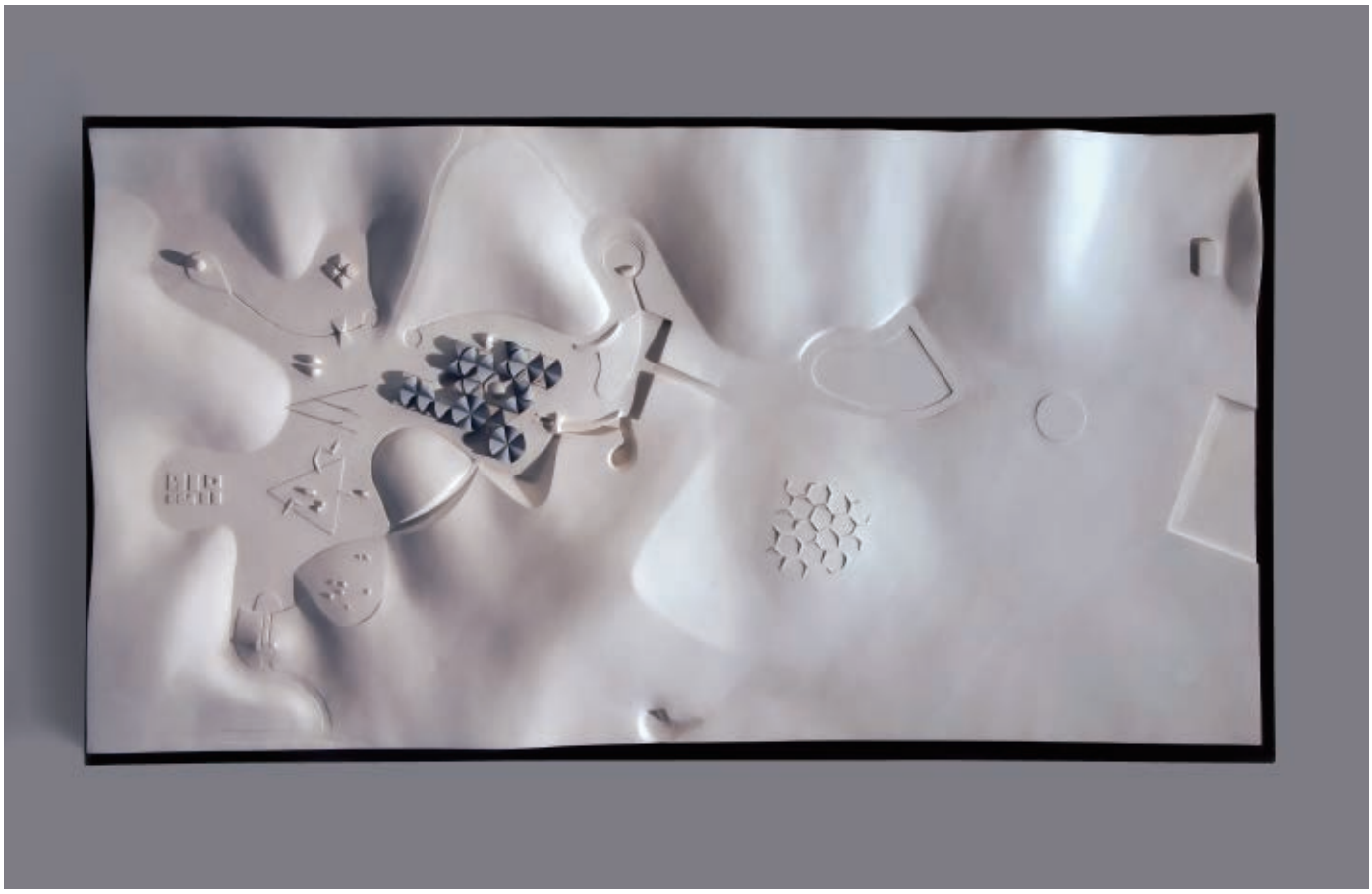
資料・図面中の記載：なし

備　　考：156-104は本図と同じ対象の立面図と思われる。詳細不明。

図版：グループＭ：石膏模型

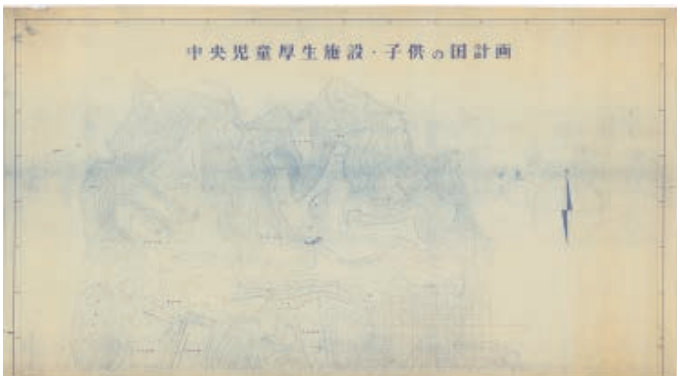


0-M1（1）



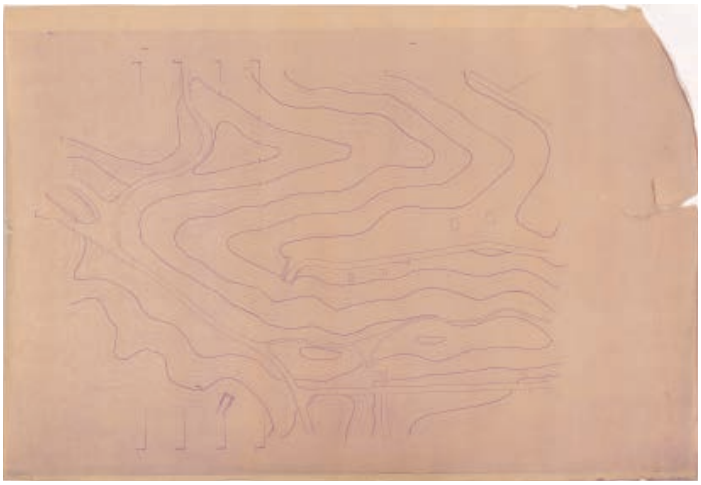
0-M1（2）

グループa：環境開発センター作成のこどもの国計画マスタープラン（1962-1964年）

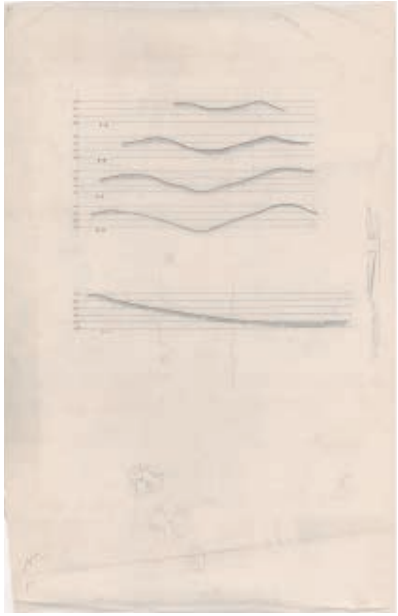


2-a02	3-a03
1-a01	

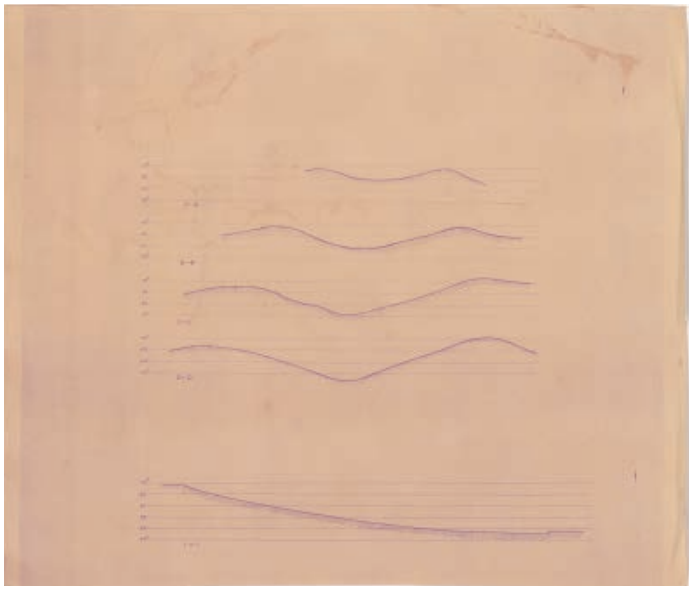
グループb：大谷幸夫による児童館第１案関連図面・スケッチ（1964年）



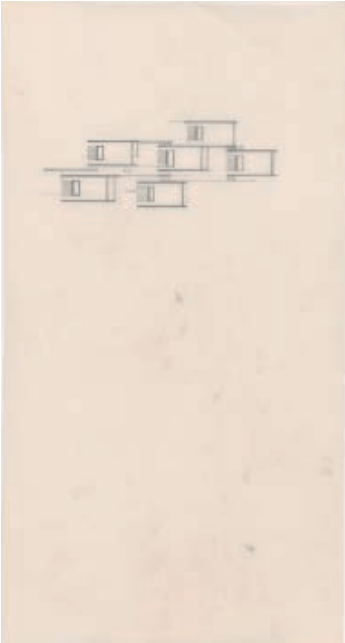
4-b01	5-b02
6-b03	



7-b04

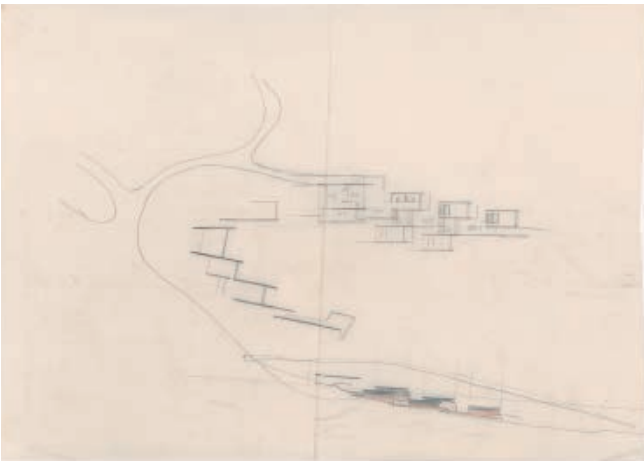


8-b05

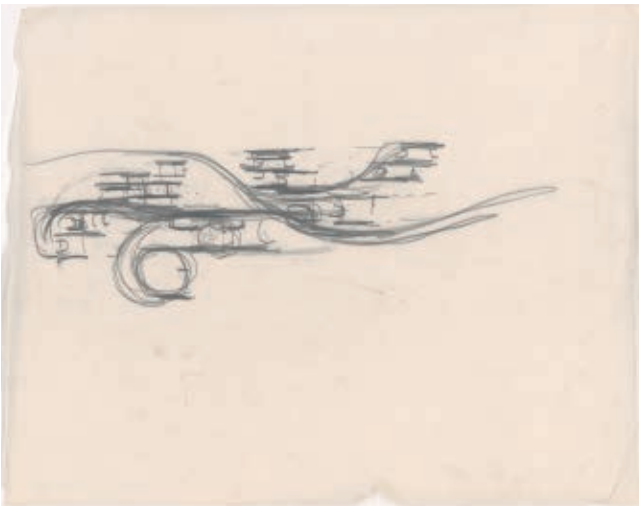


9-b06

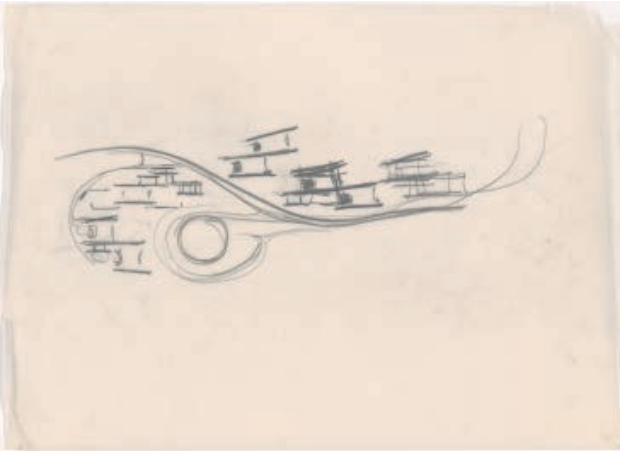
10-b07



11-b08

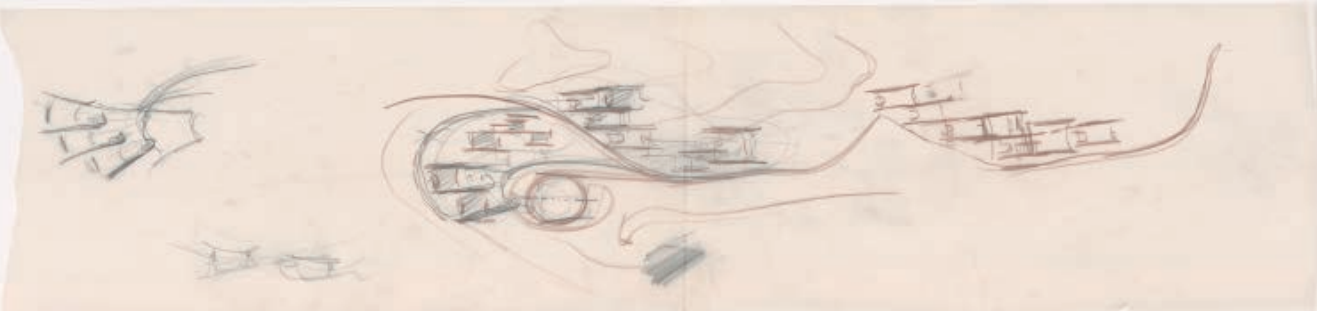


12-b09



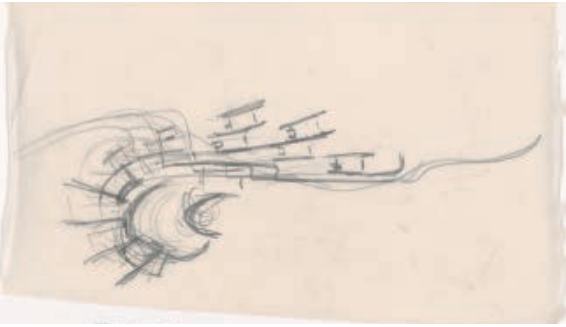
13-b10

14-b11

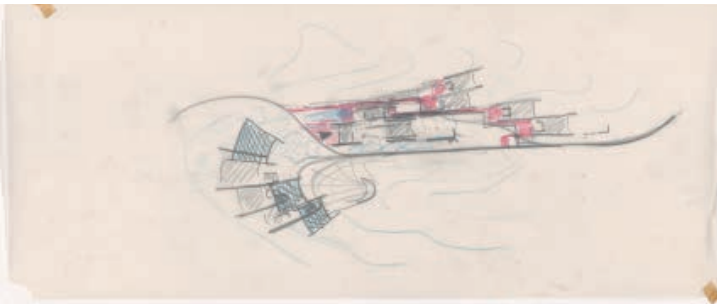


15-b12

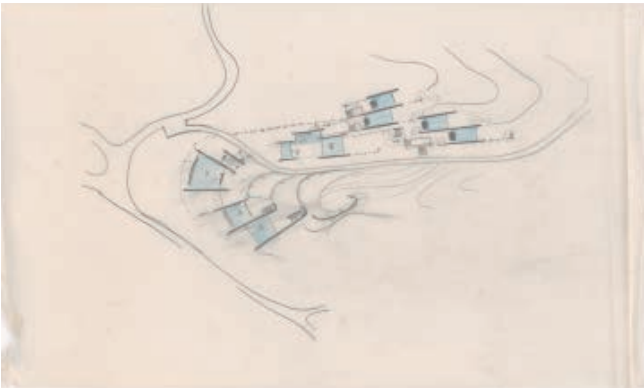
16-b13



17-b14



18-b15

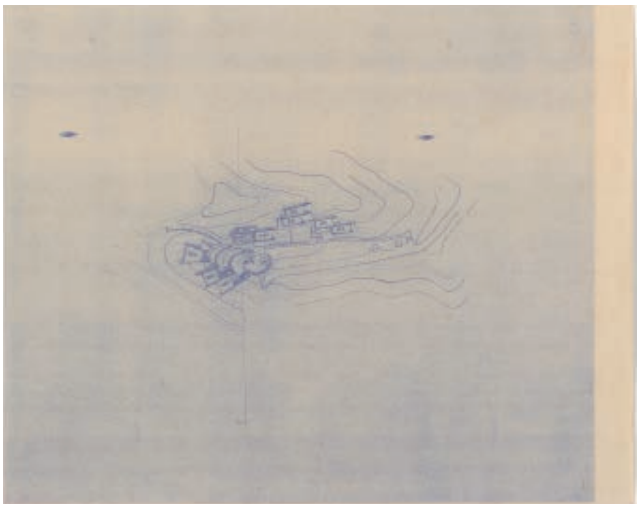


19-b16

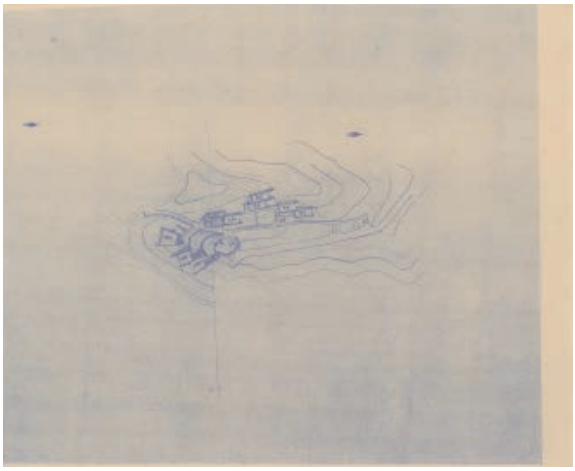
20-b17

21-b18

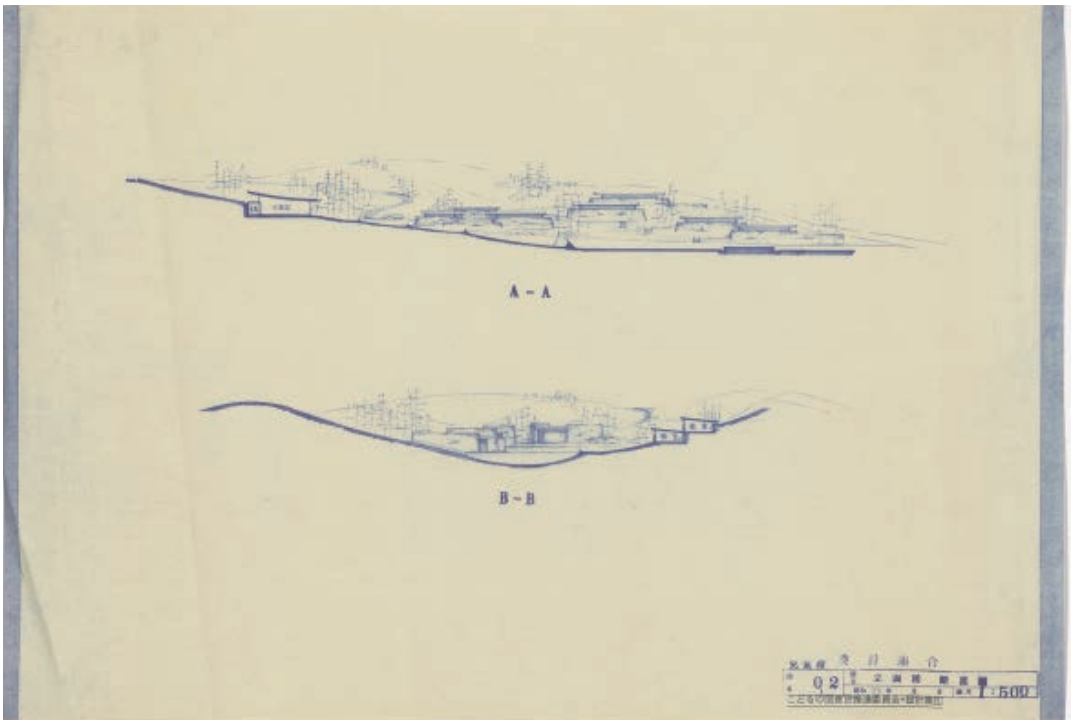
22-b19



23-b20



24-b21



25-b22

26-b23

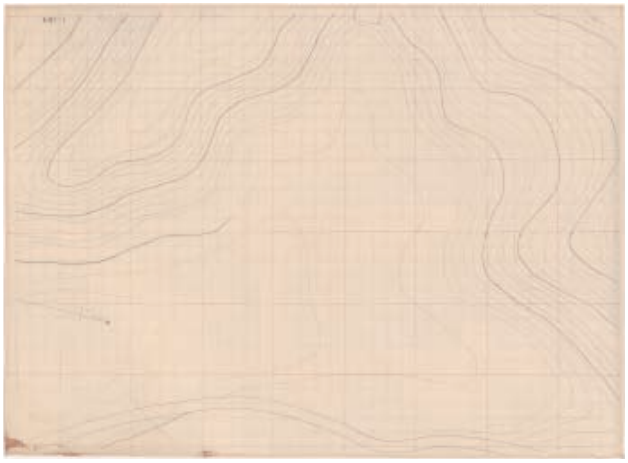
28-b25

29-b26

30-b27

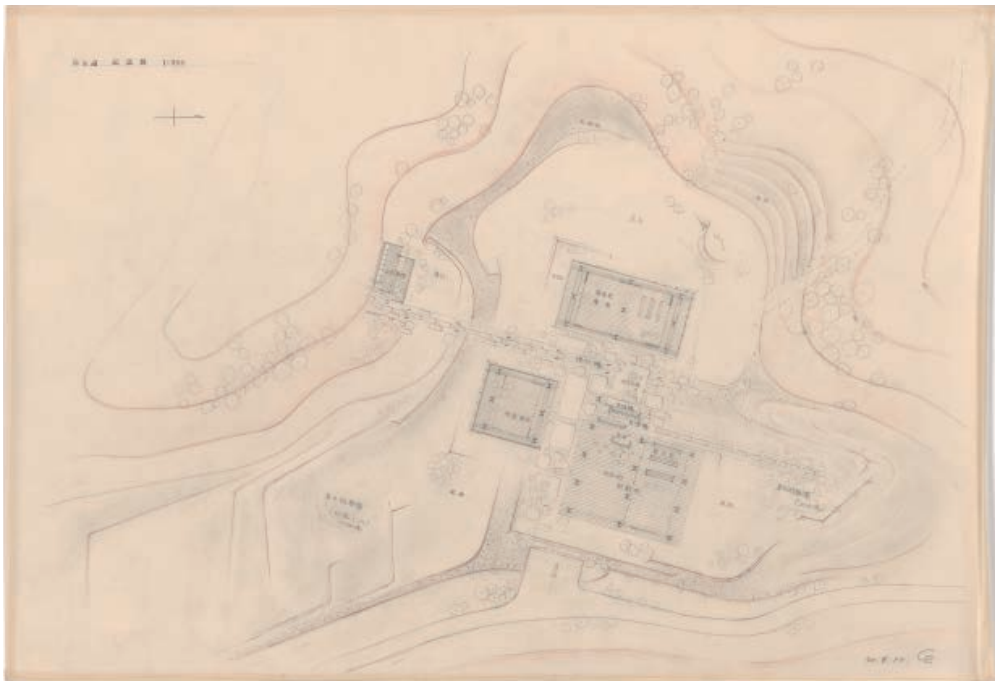
27-b24

グループc：大谷幸夫による児童館第２案関連図面（1965年８月）

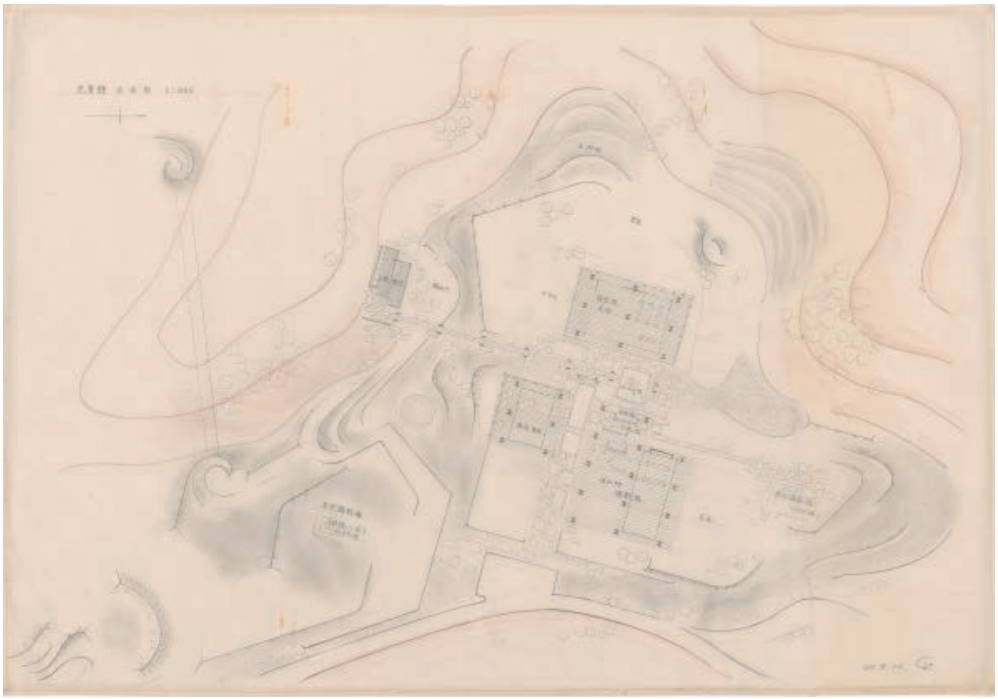


31-c01

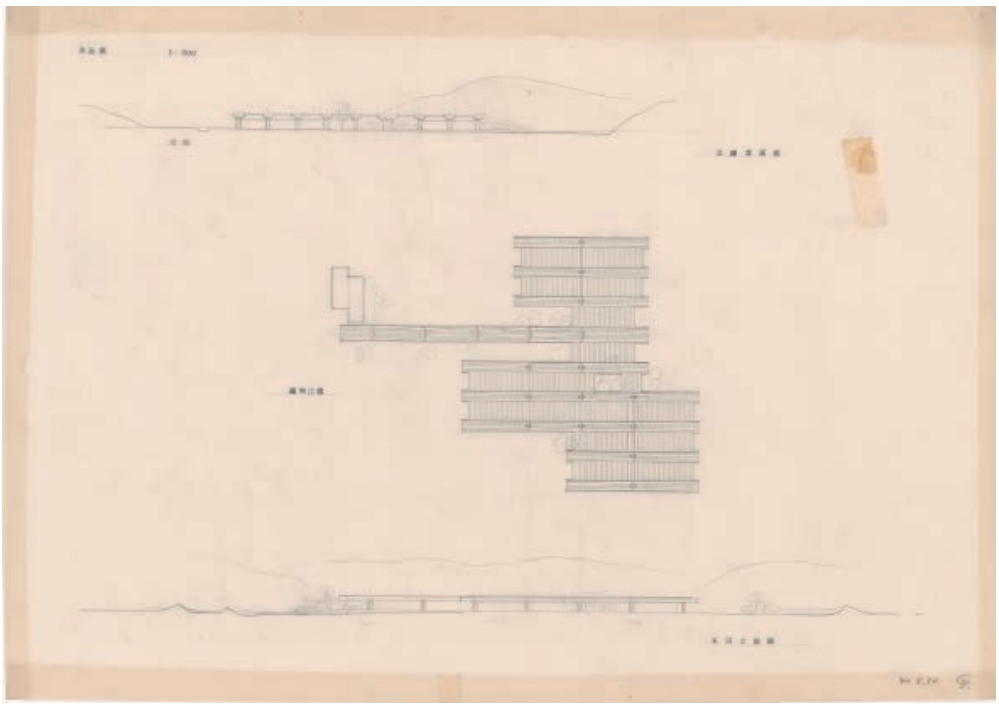
32-c02



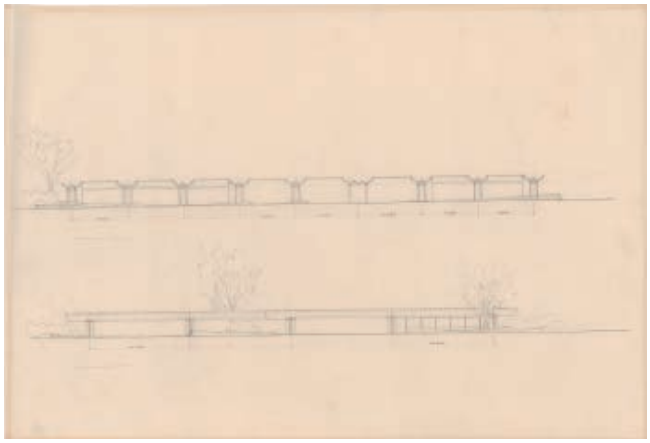
33-c03



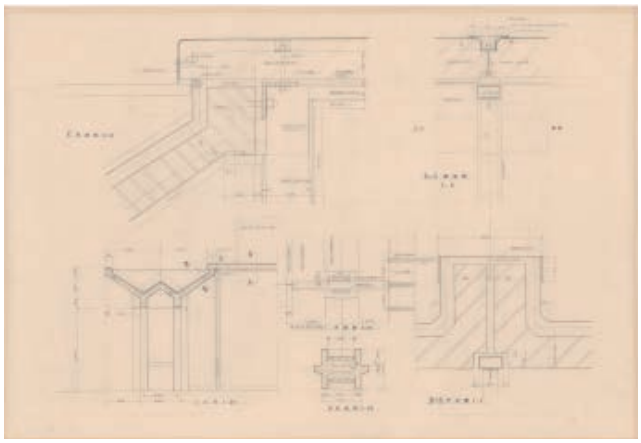
34-c04



35-c05



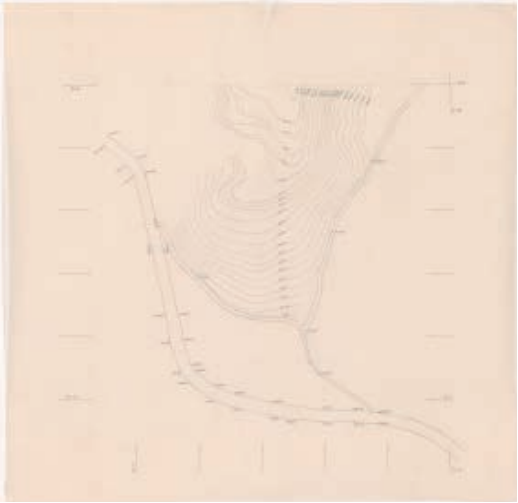
36-c06



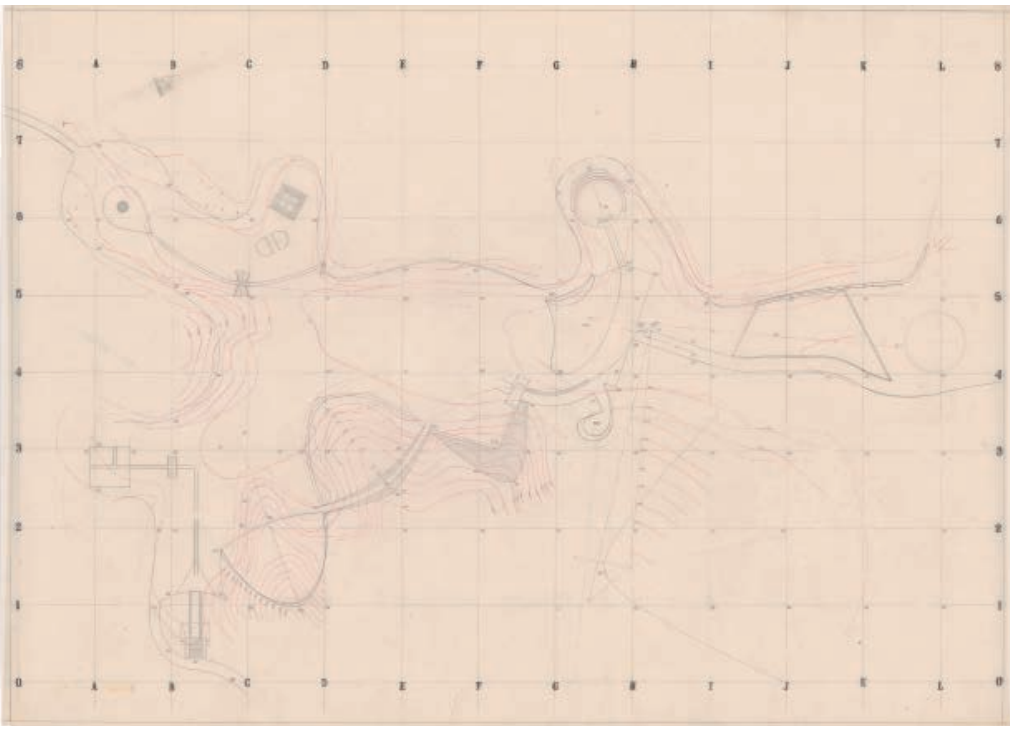
37-c07

グループｄ：イサム・ノグチによるＡ地区児童遊園（児童館用施設・スケートリンク含む）のランドスケープ・デザイン原案関連図面（1965年９月－11月）

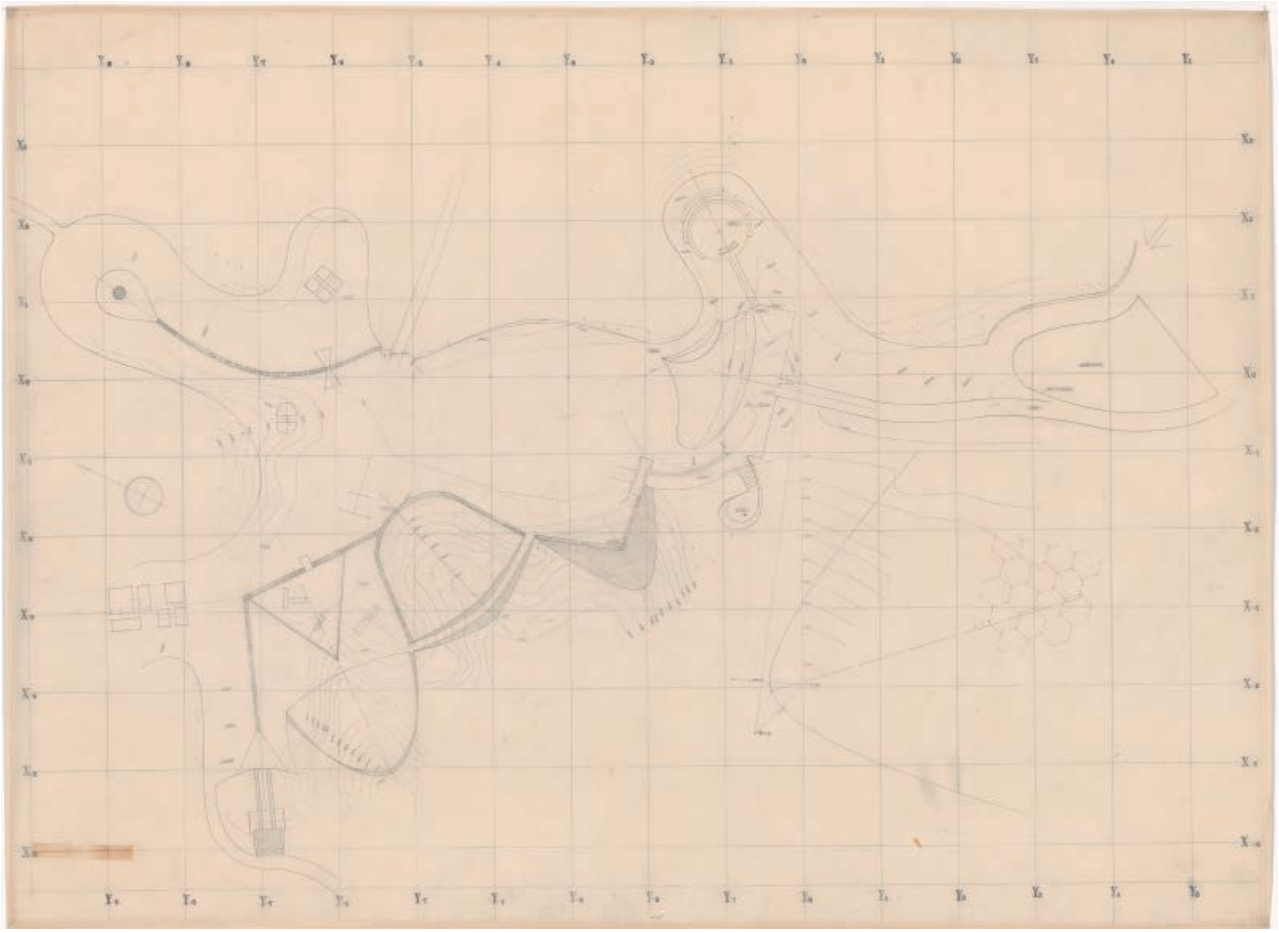
38-d01



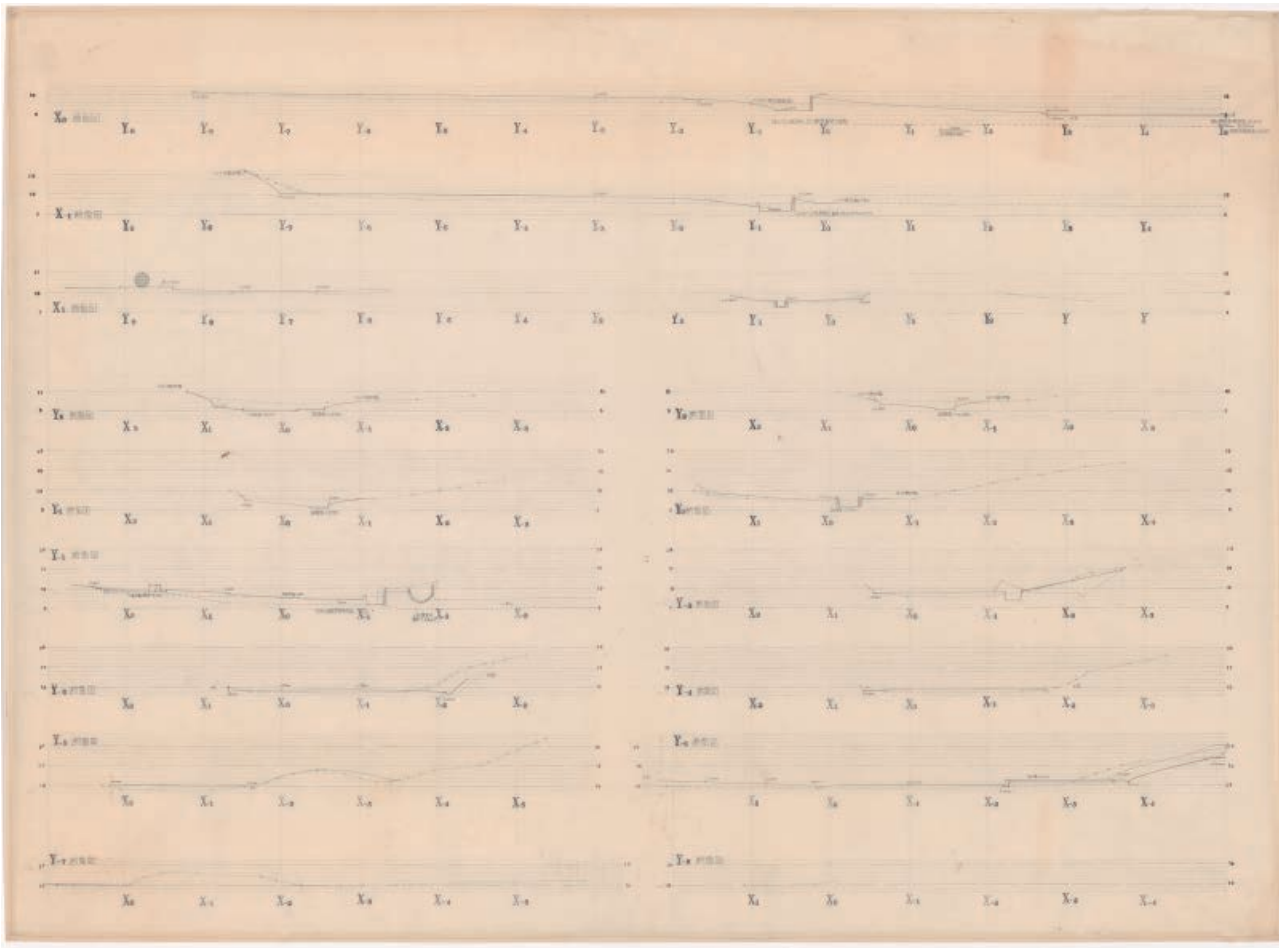
40-d03	39-d02
41-d04	



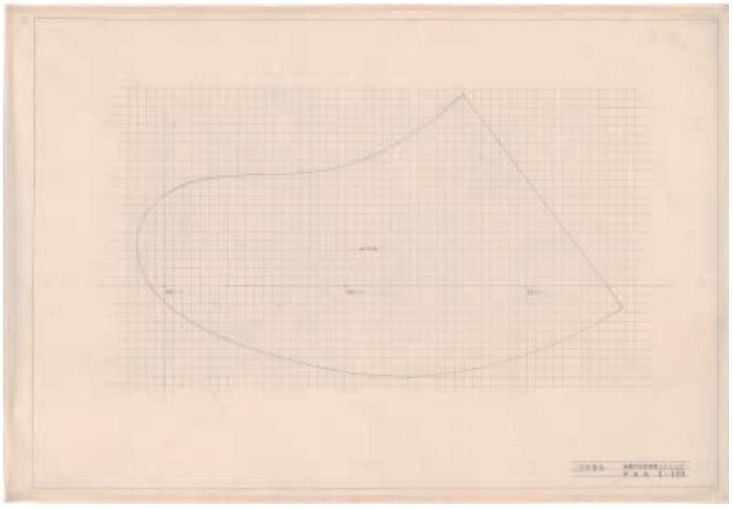
42-d05



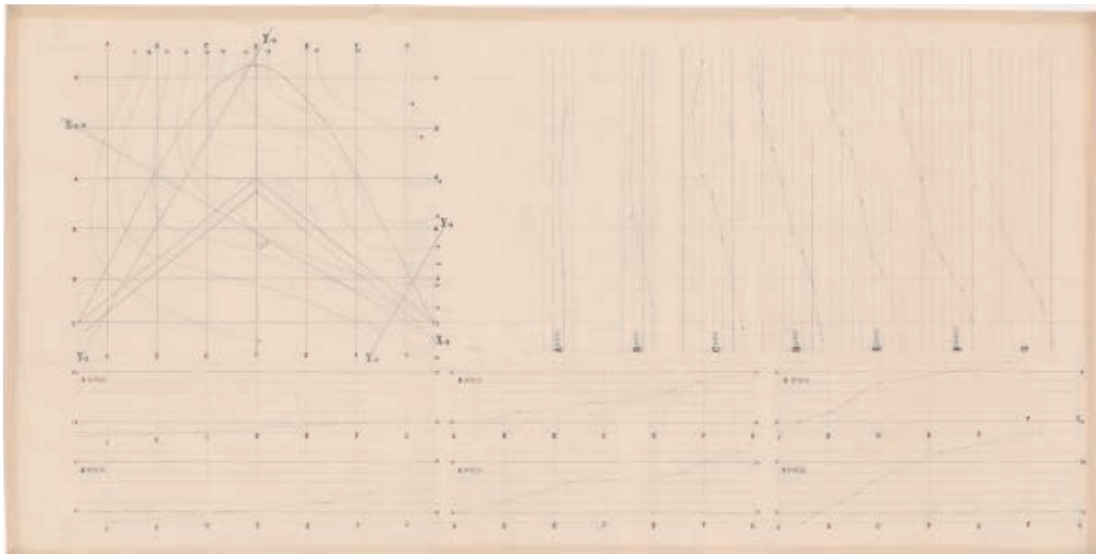
43-d06



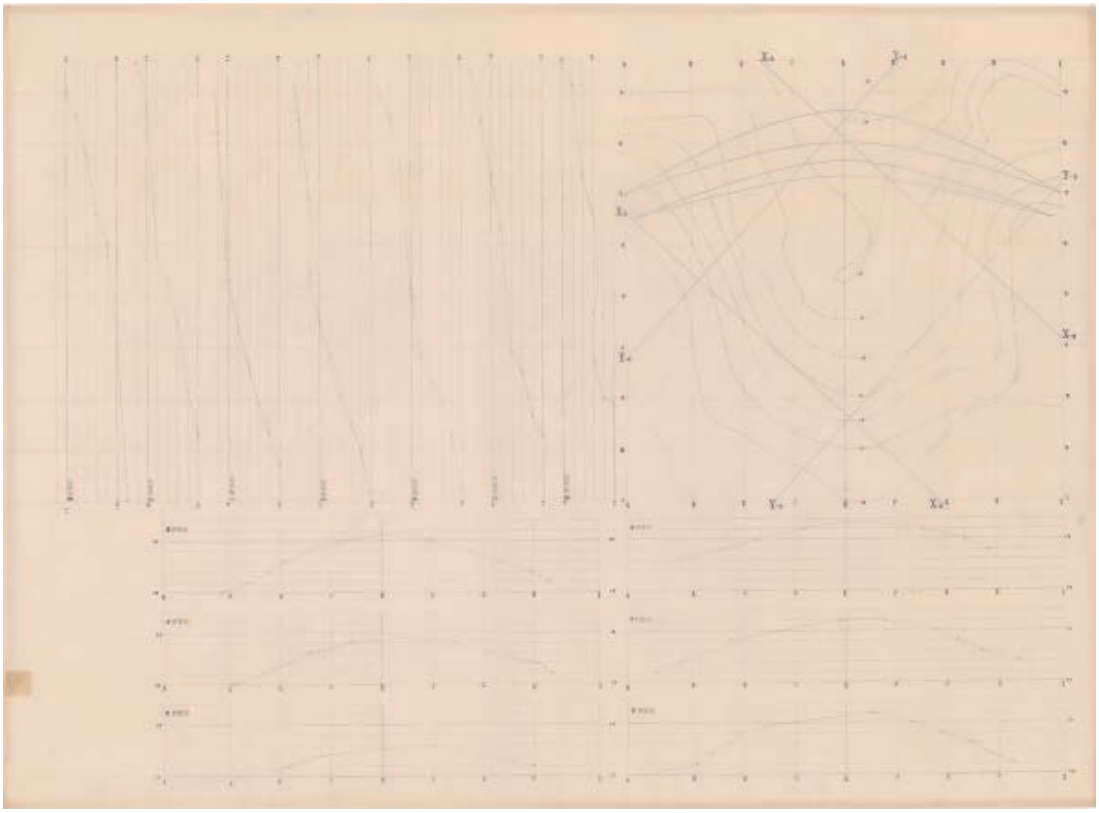
44-d07



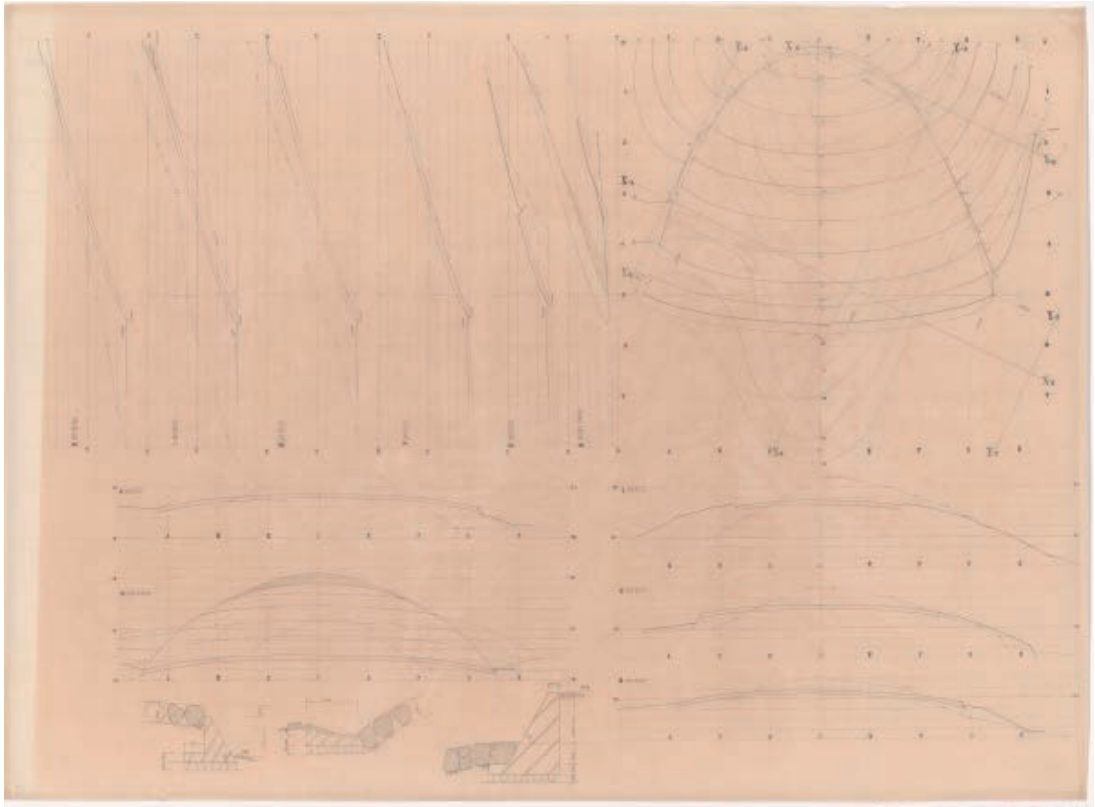
45-d08



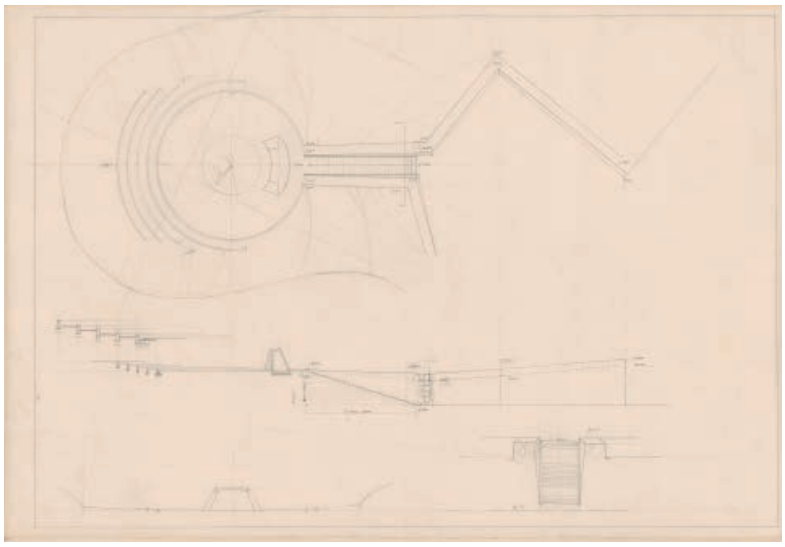
46-d09



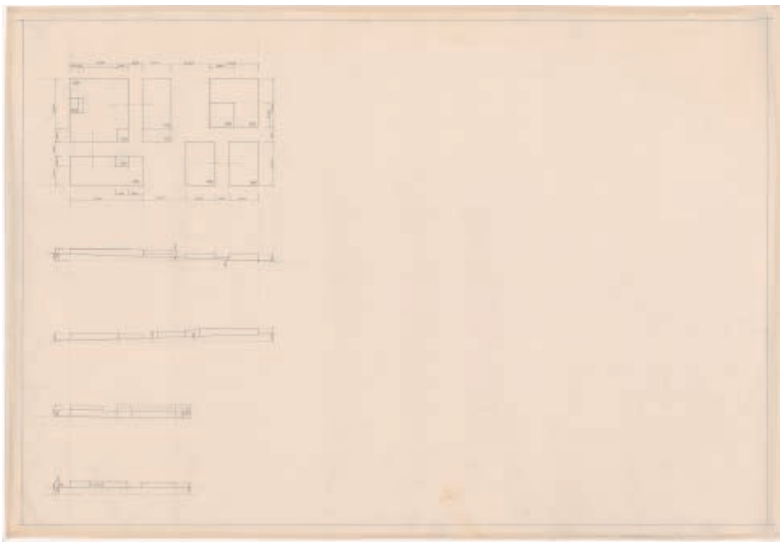
47-d10



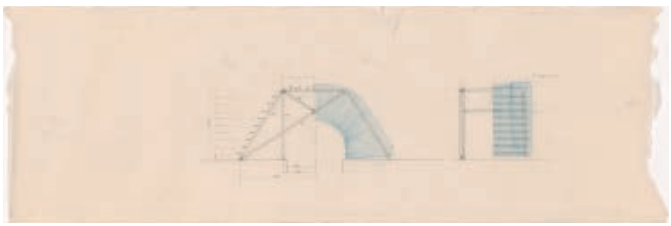
48-d11



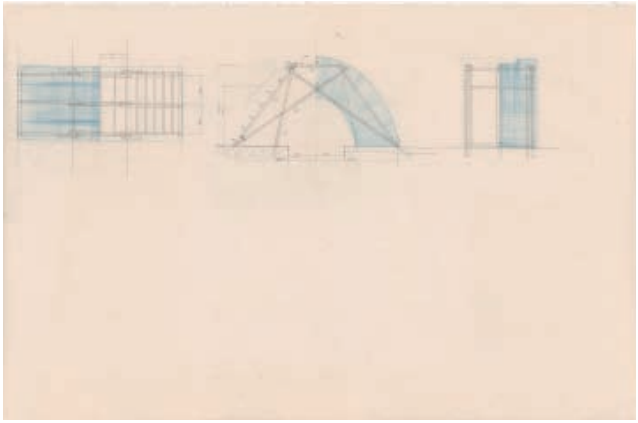
49-d12



50-d13

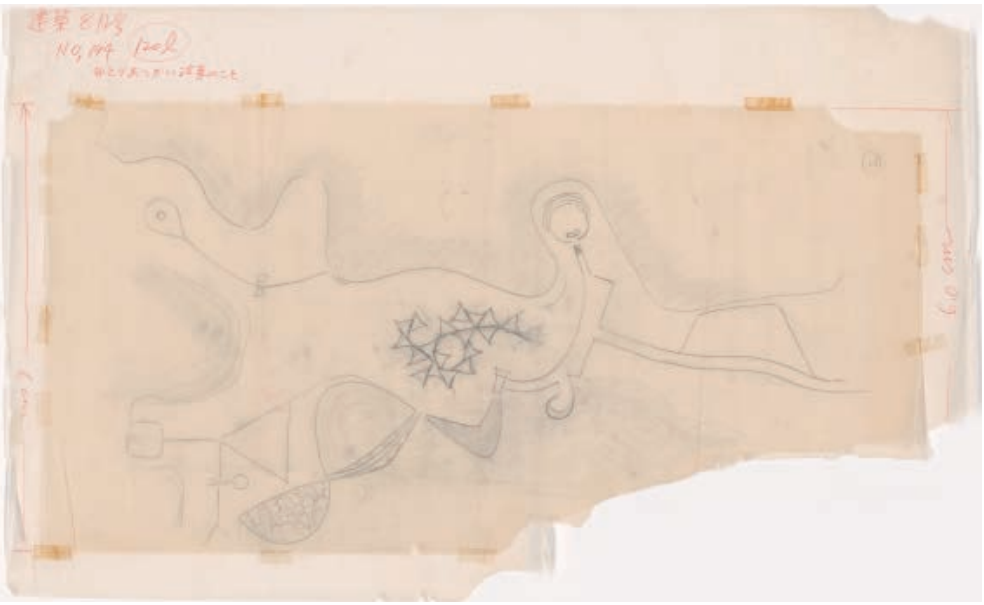


51-d14

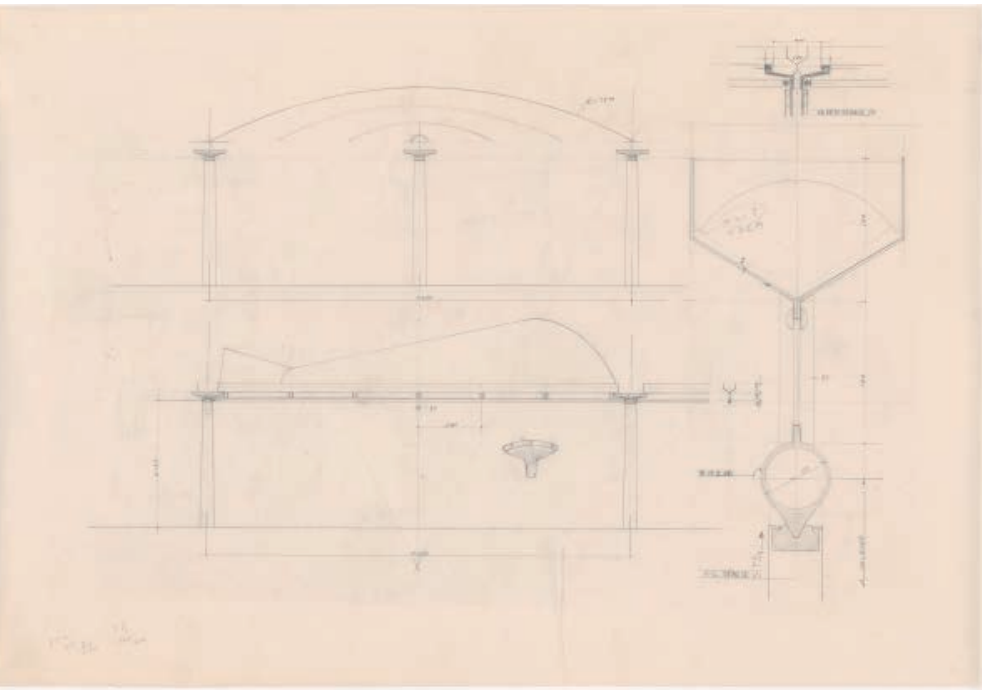


52-d15

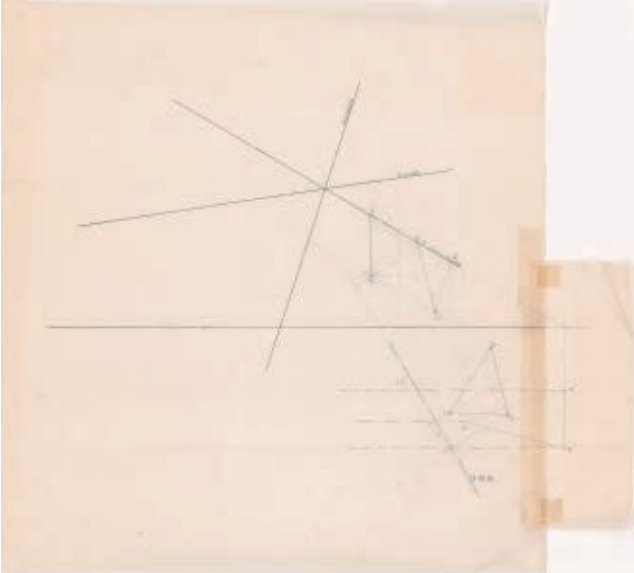
グループe：大谷幸夫による児童館第３案関連図面（1965年11月－12月）



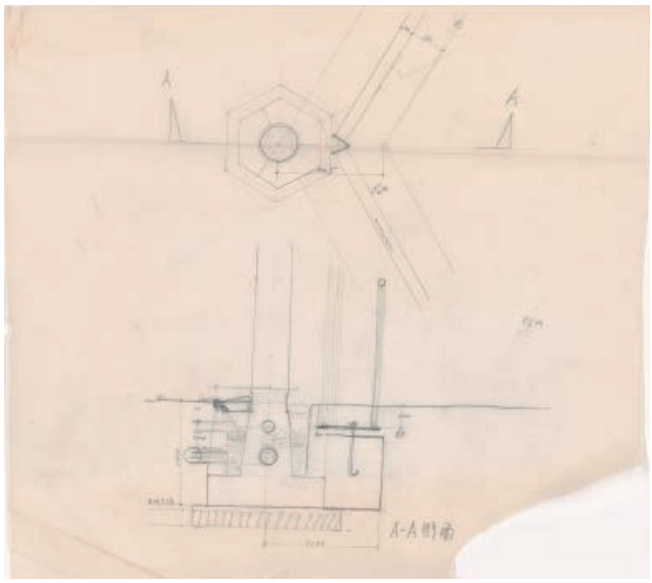
53-e01



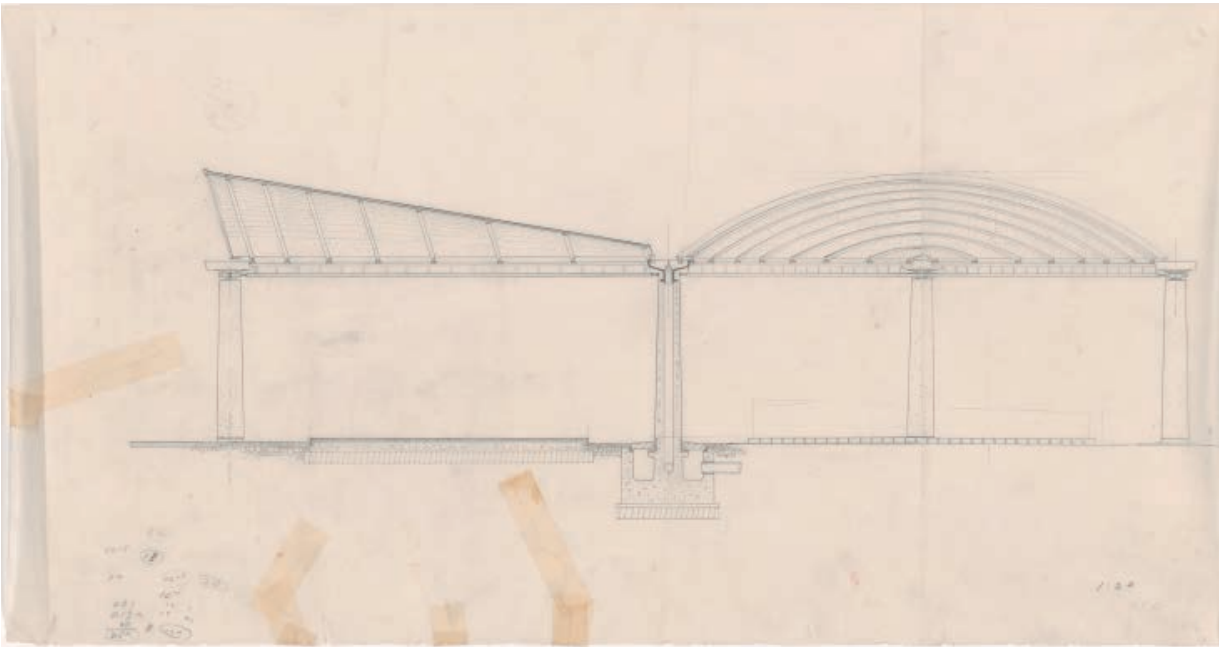
54-e02



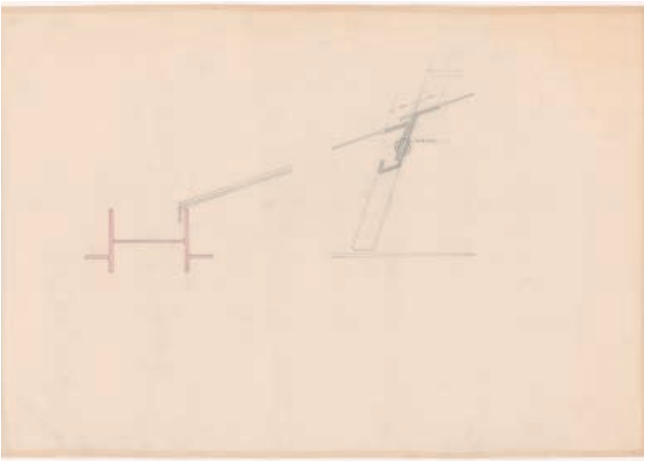
55-e03



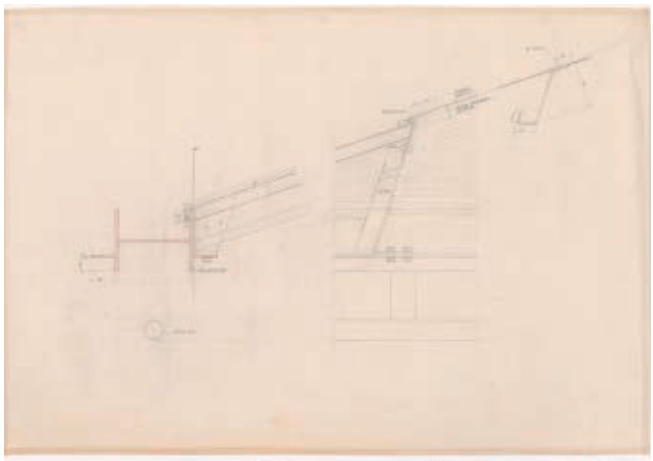
56-e04



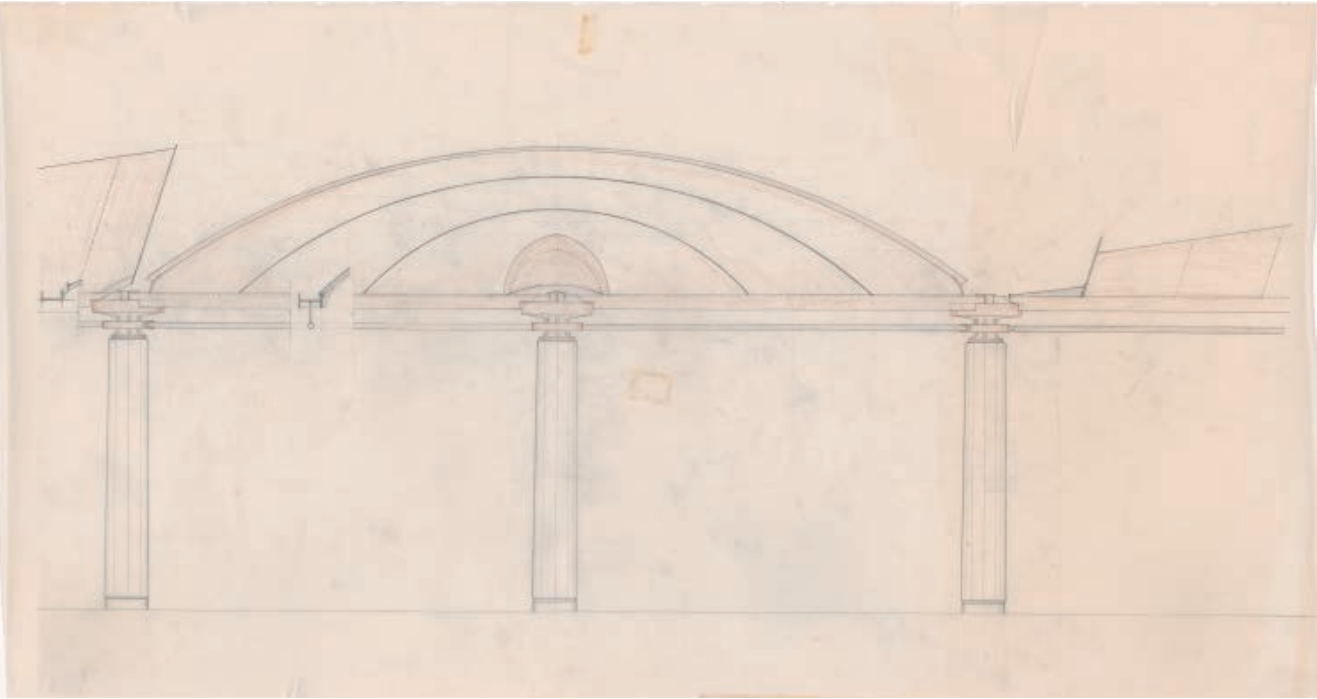
57-e05



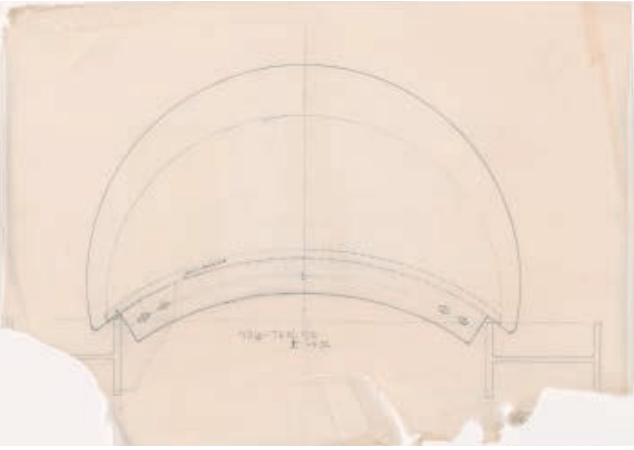
58-e06



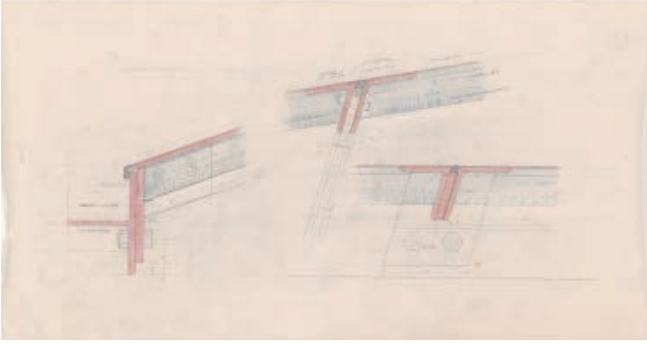
59-e07



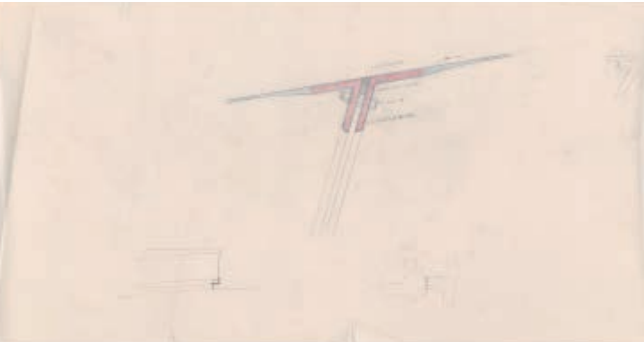
60-e08



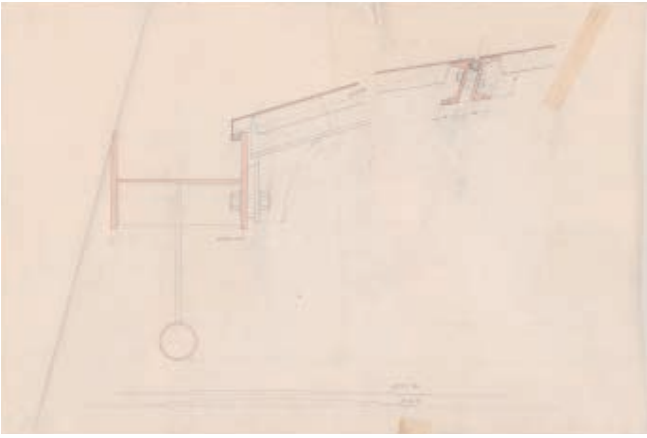
61-e09



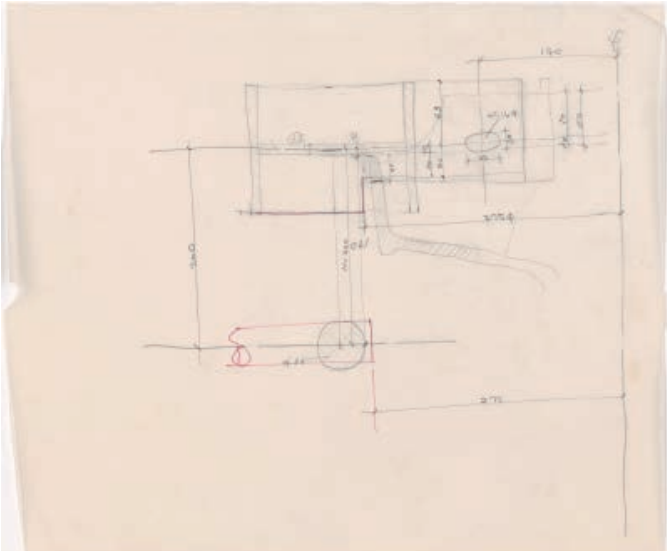
62-e10



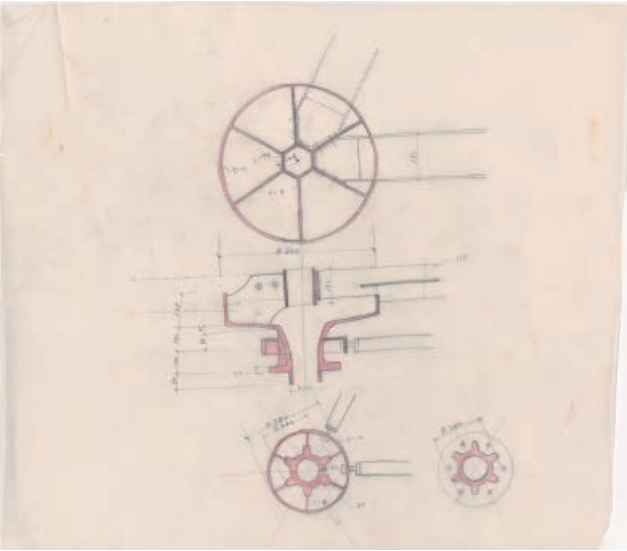
63-e11



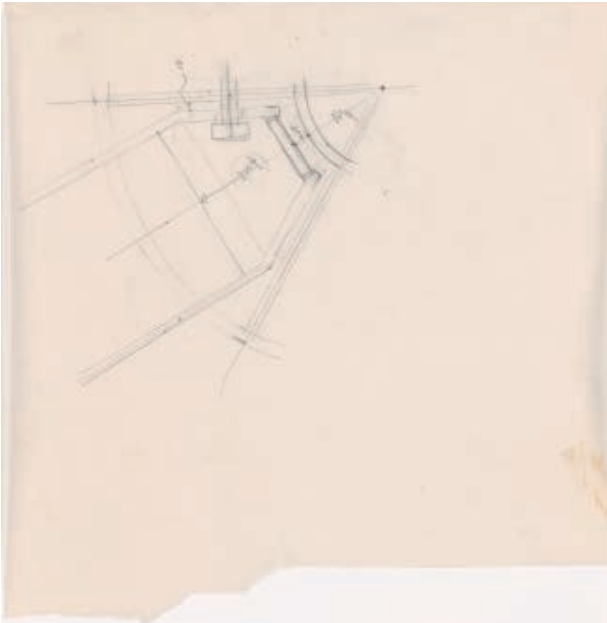
64-e12



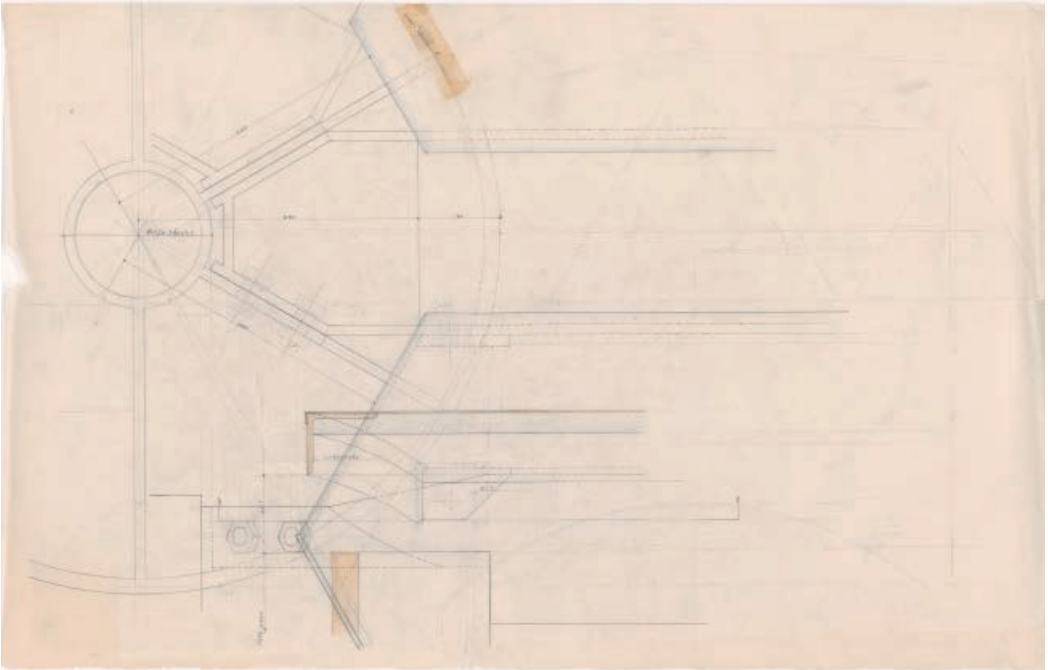
65-e13



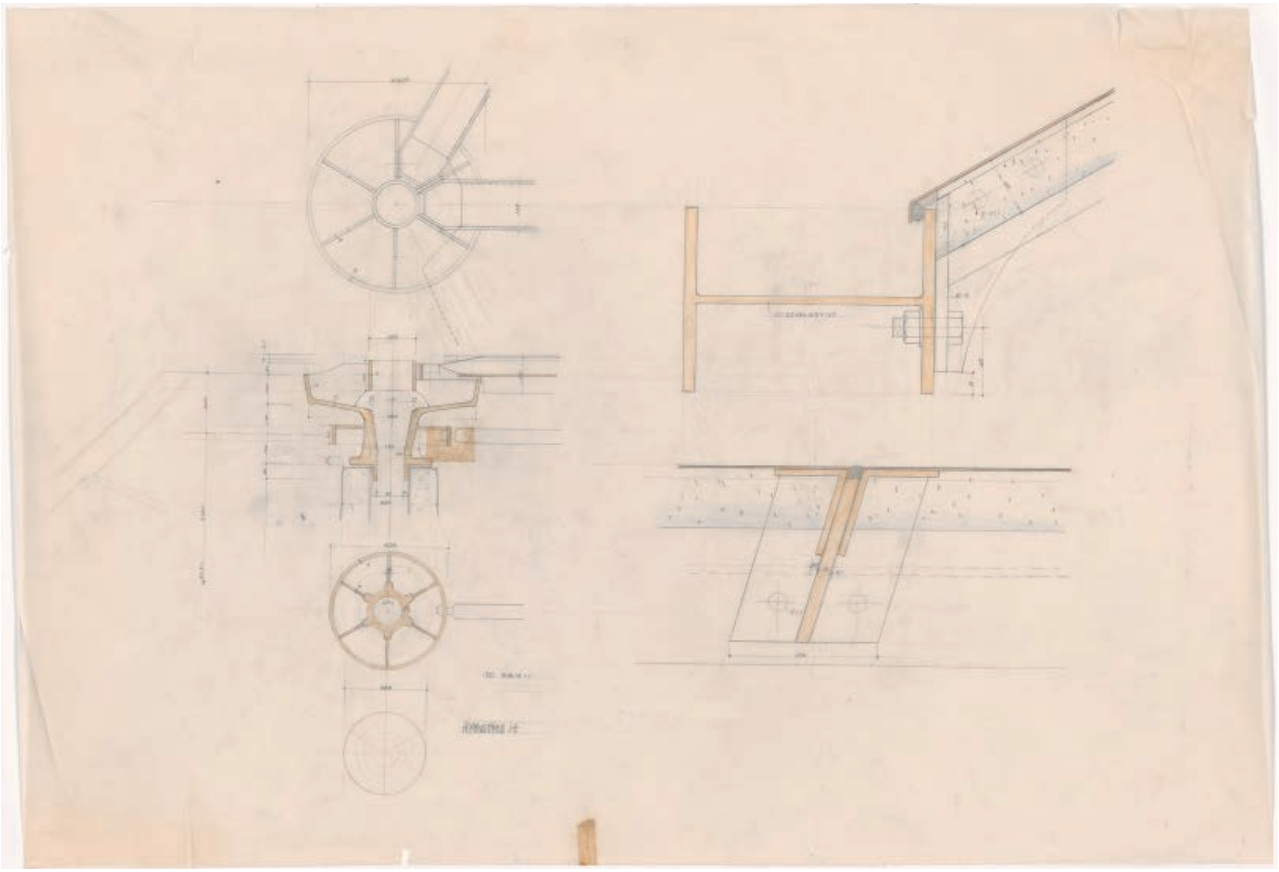
66-e14



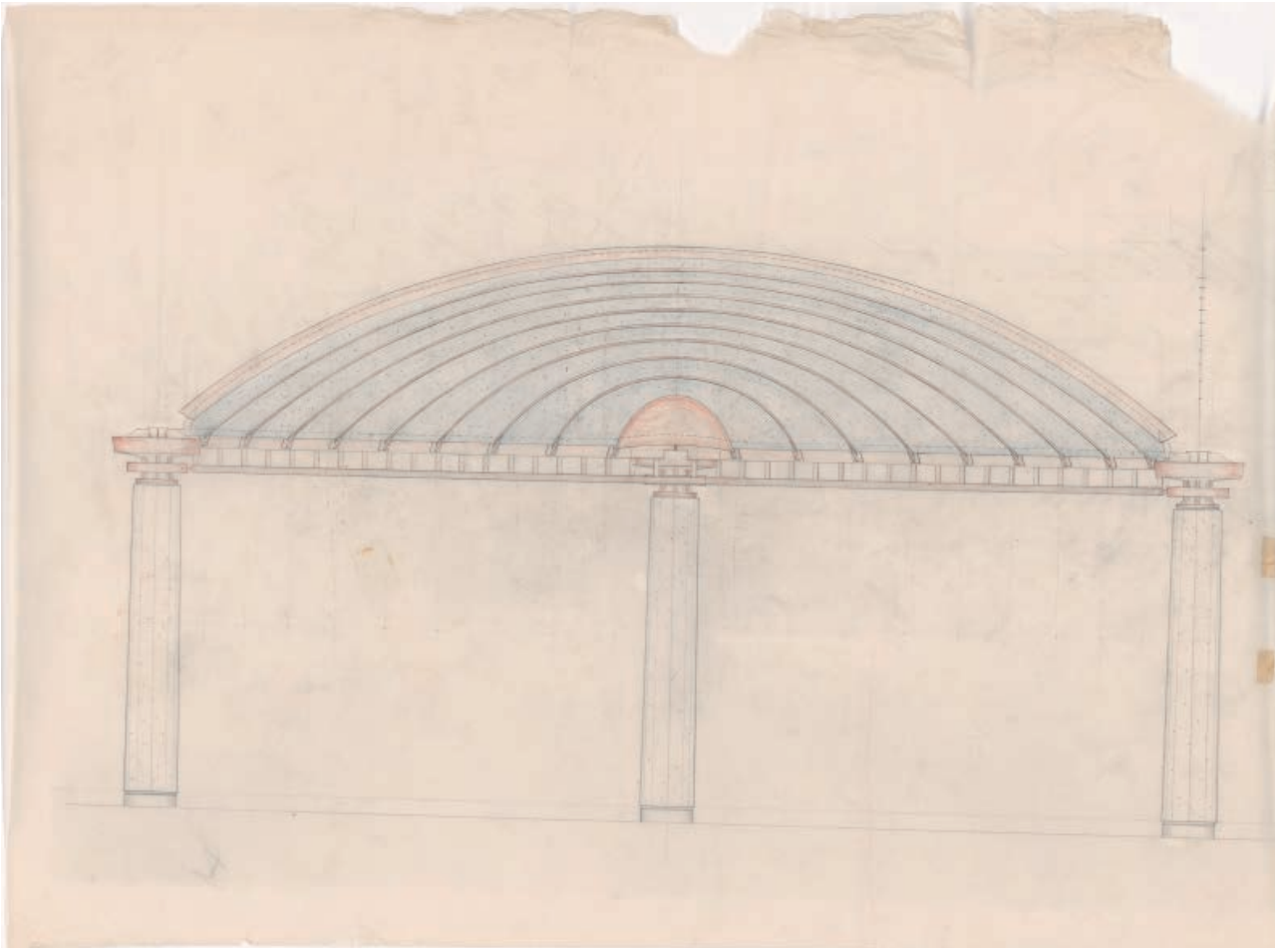
67-e15



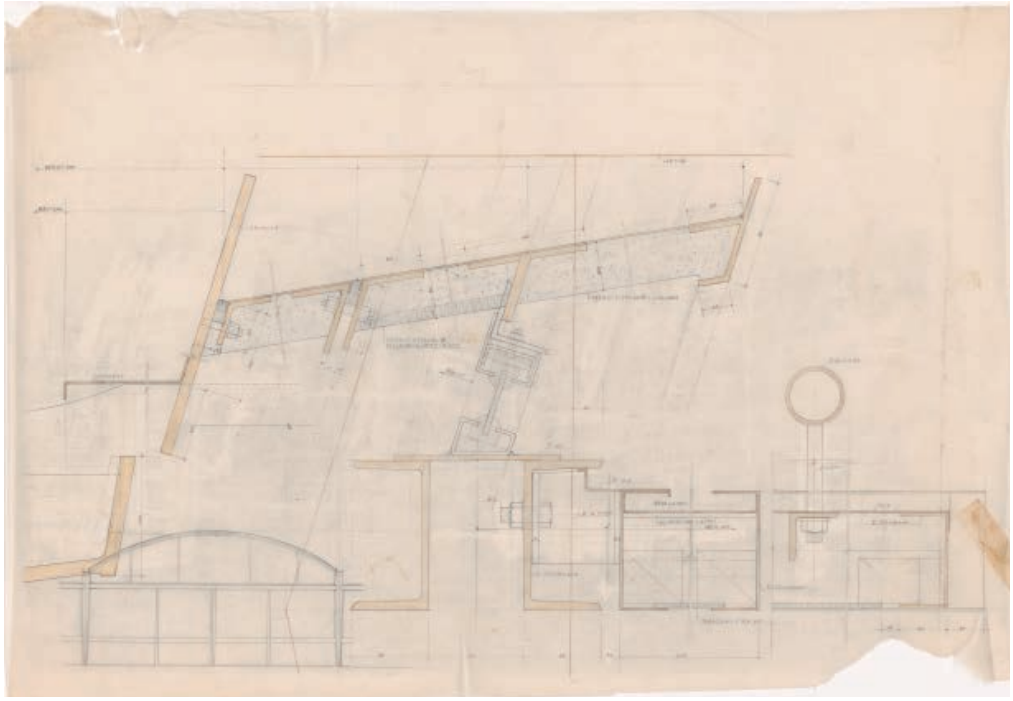
68-e16



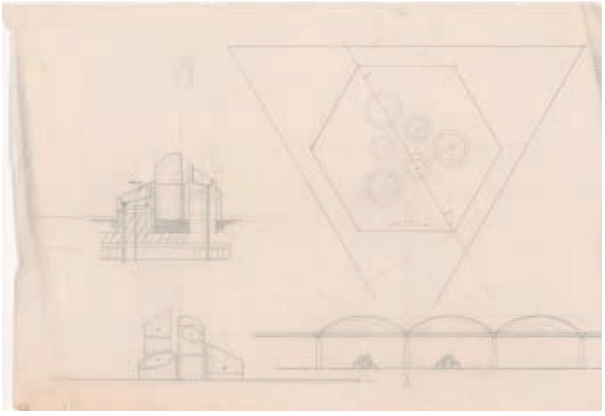
69-e17



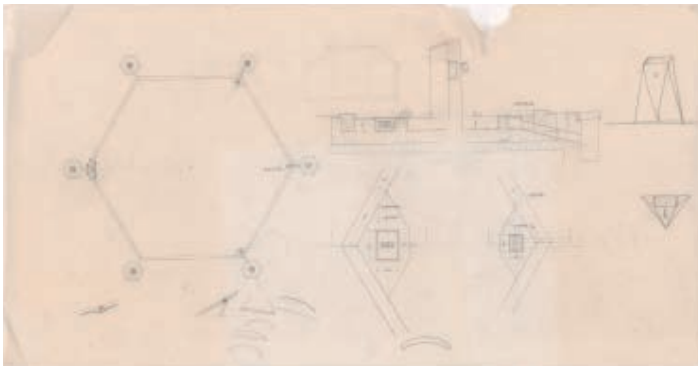
70-e18



71-e19

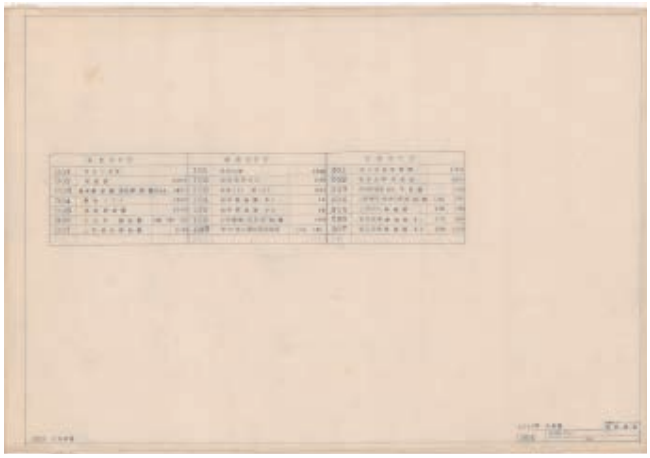


72-e20

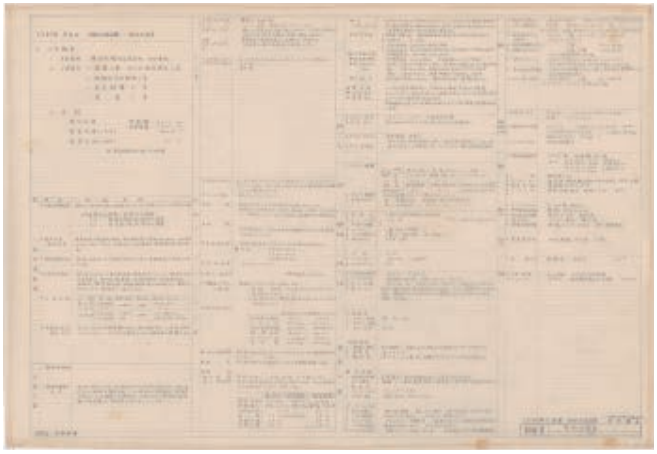


73-e21

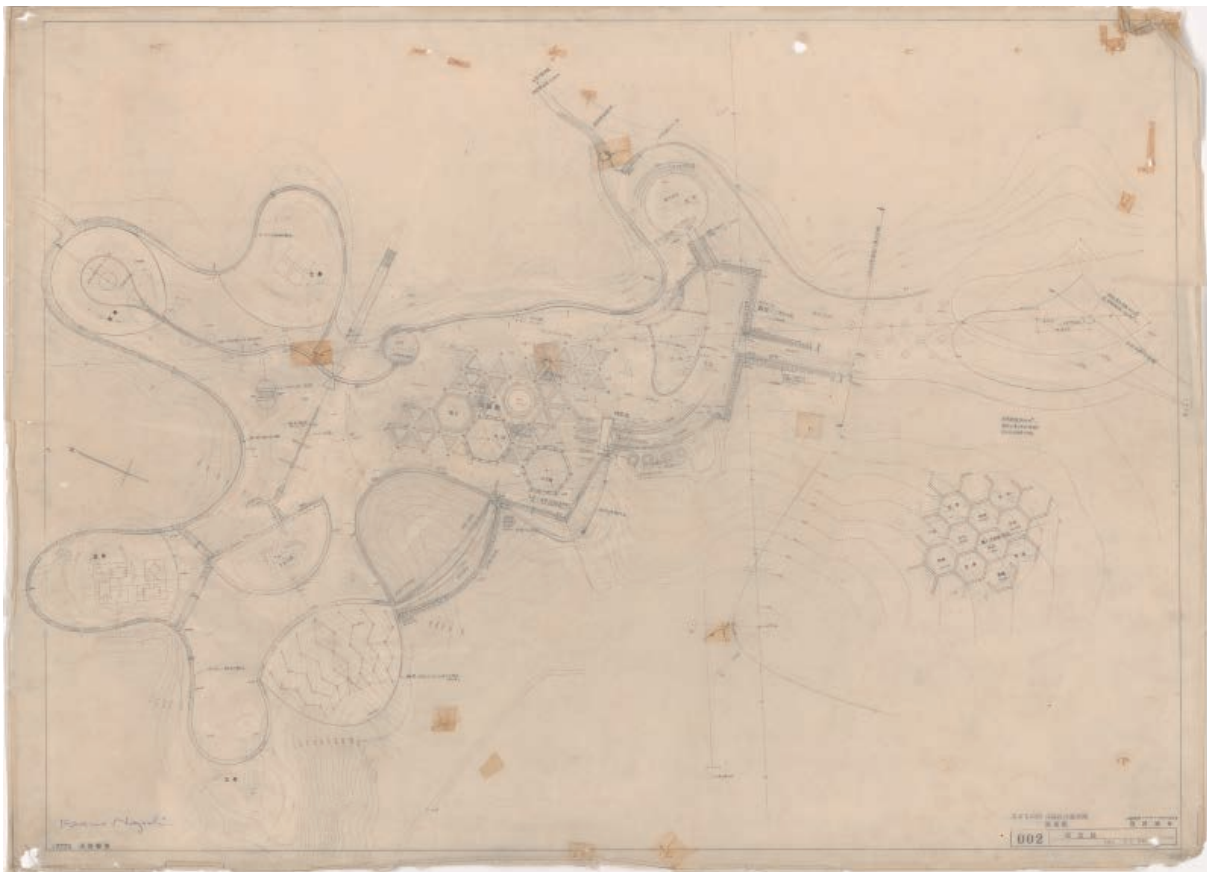
グループf：児童館・A地区児童遊園実施設計図（1965年11月－1966年1月）



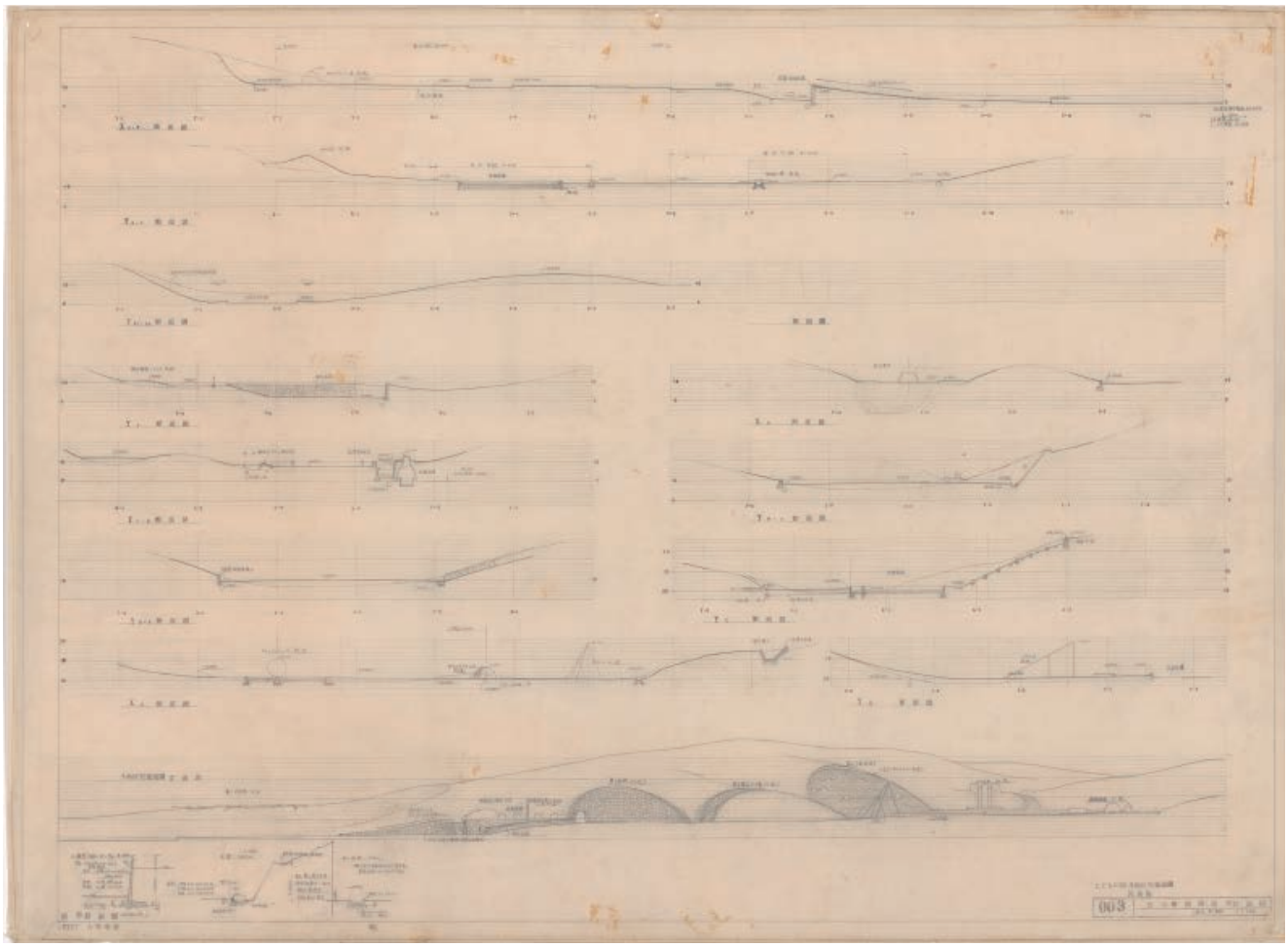
74-f01



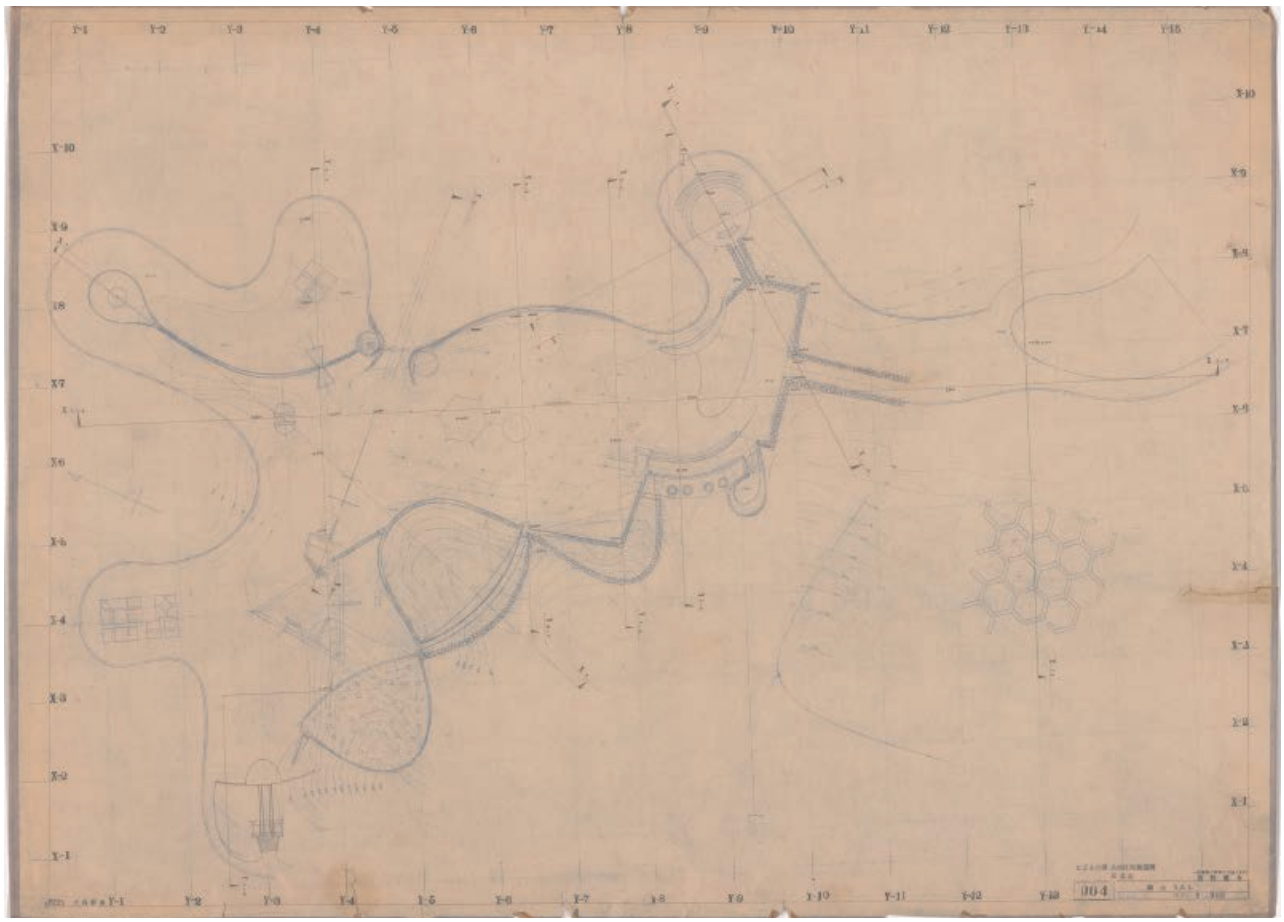
75-f02



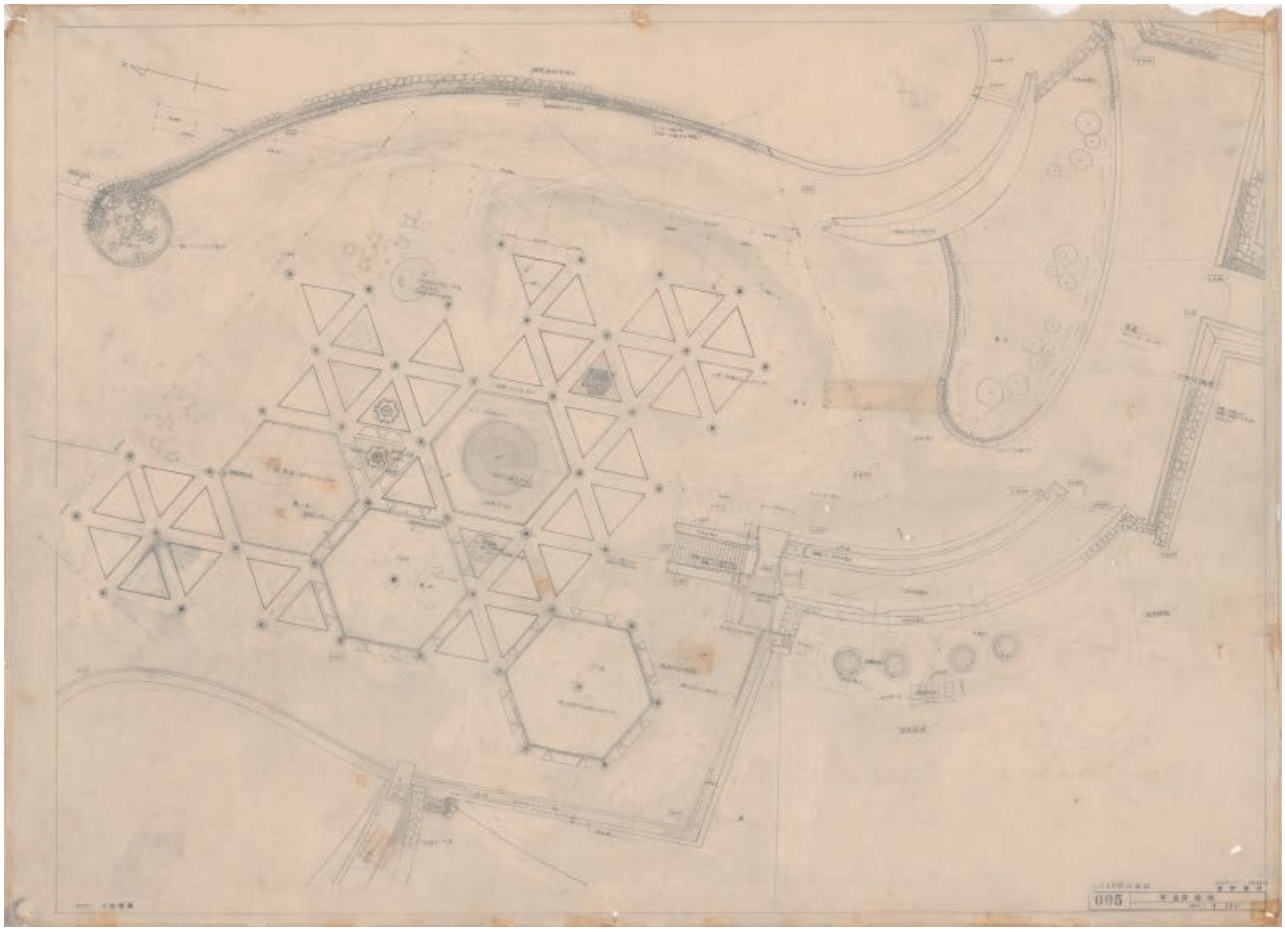
76-f03



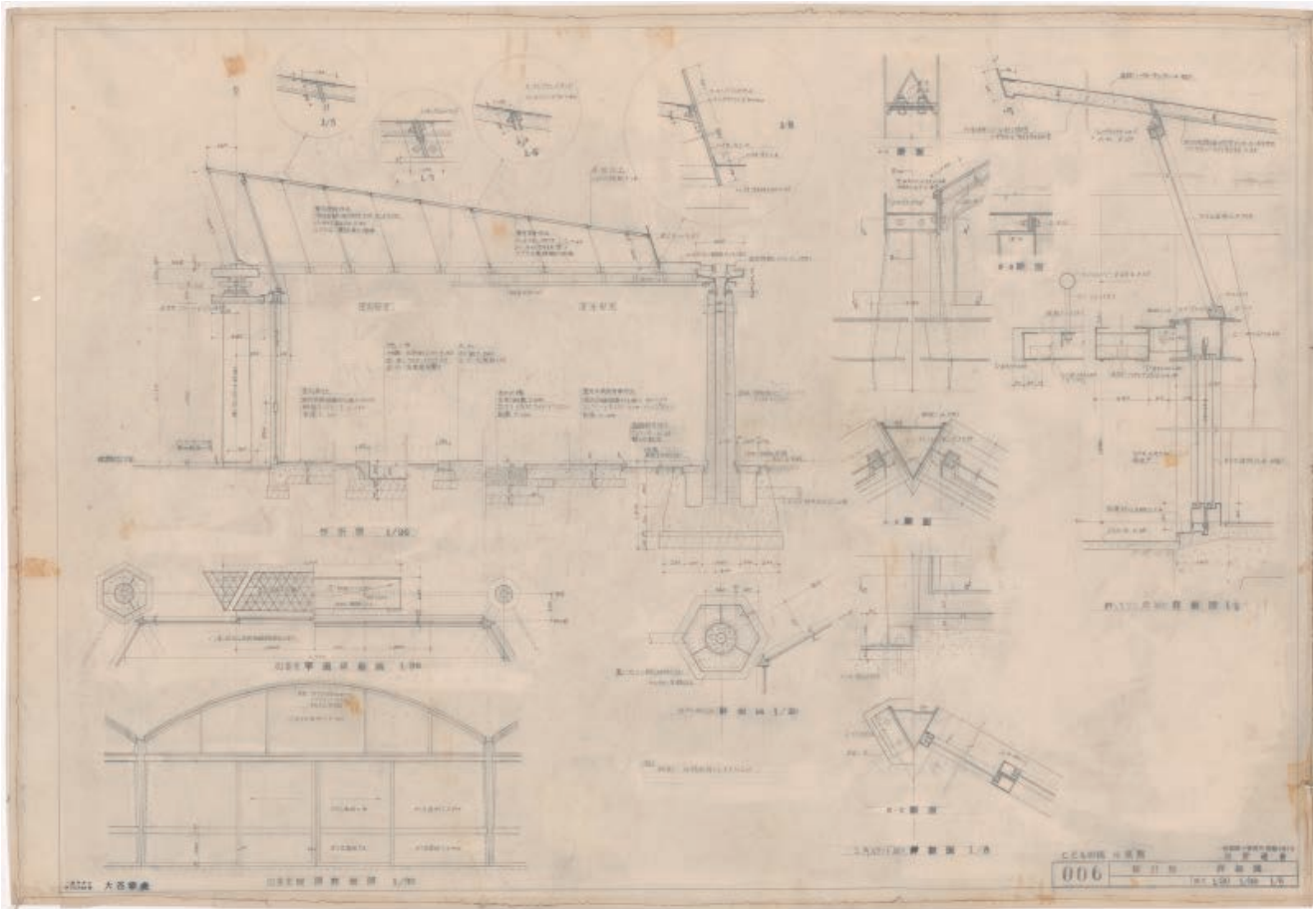
77-f04



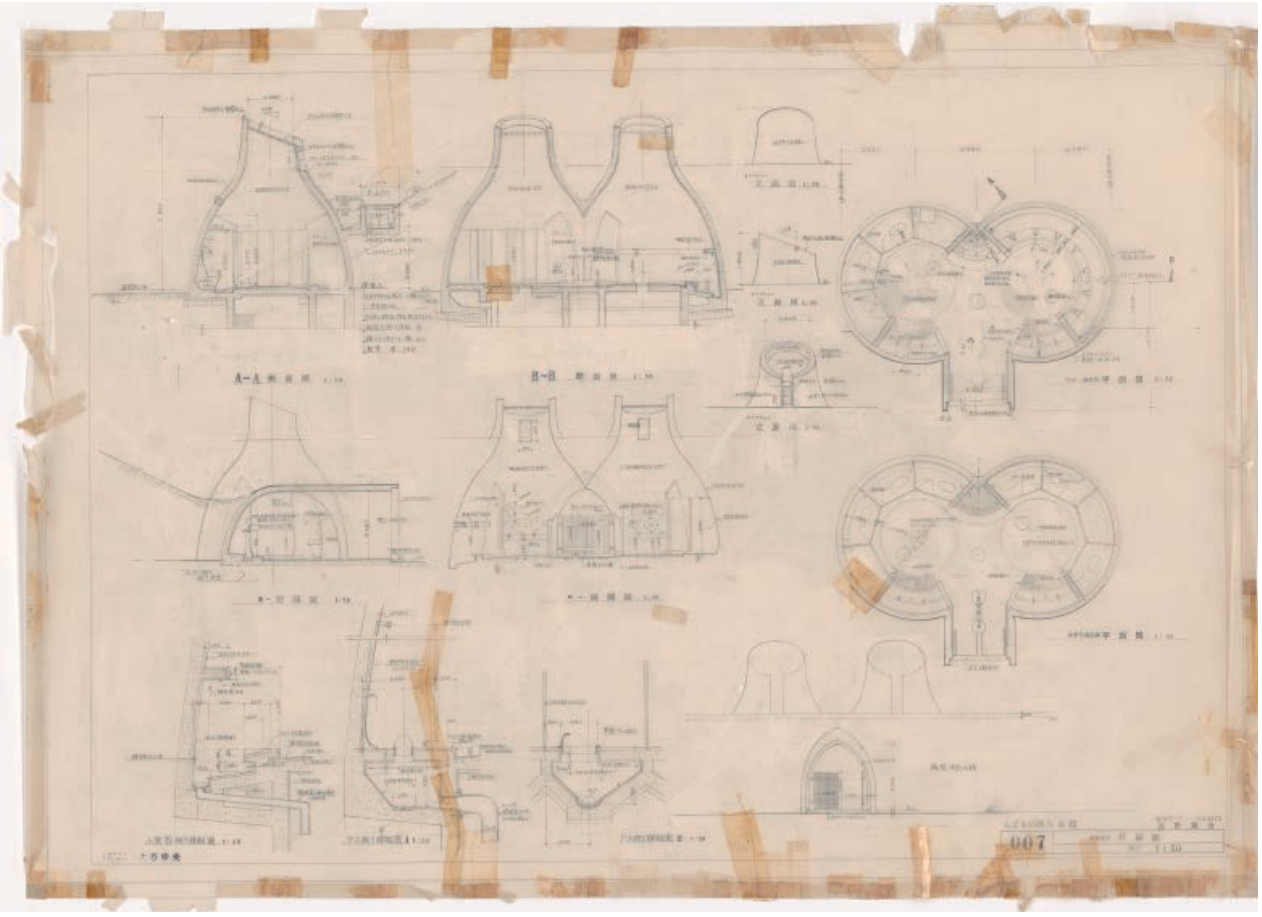
78-f05



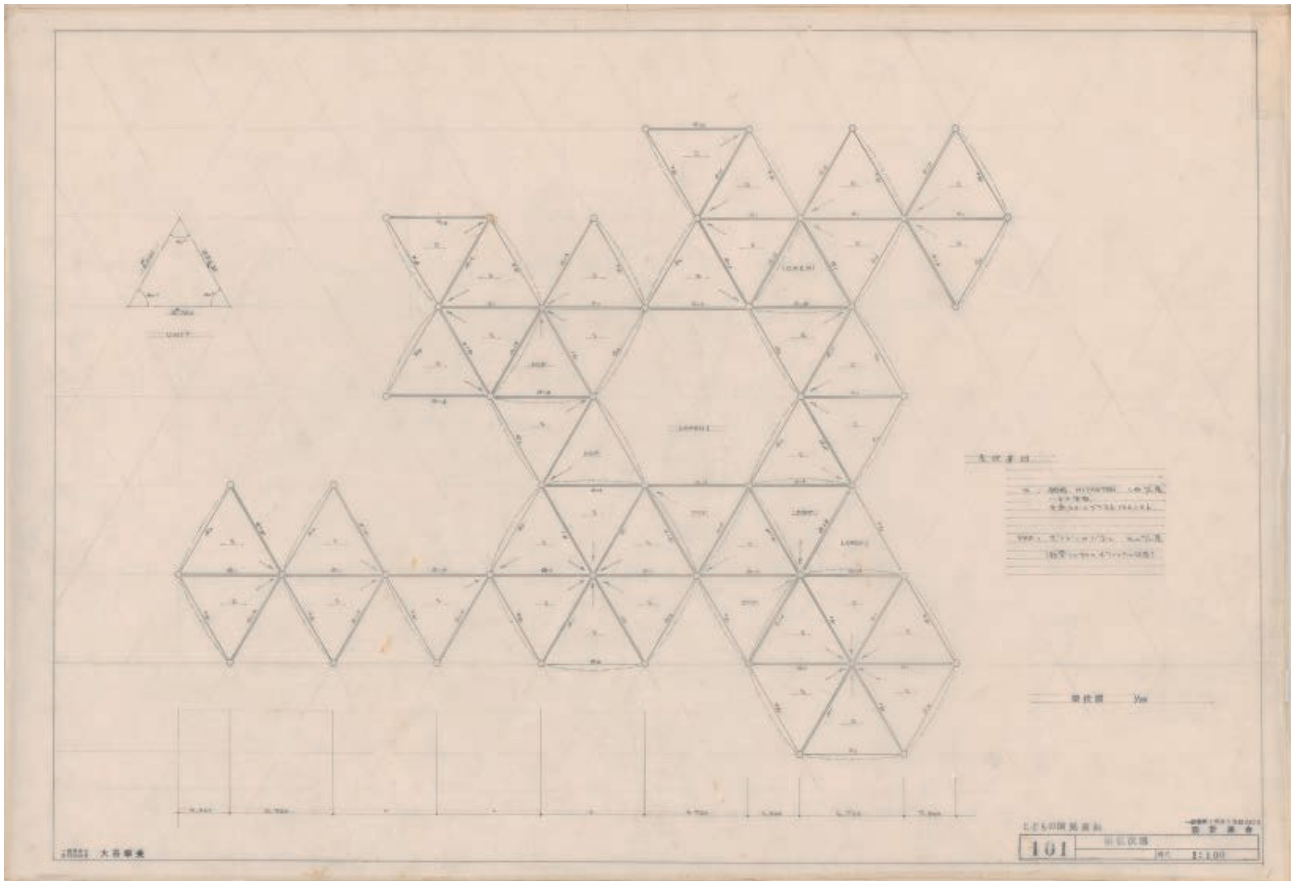
79-f06



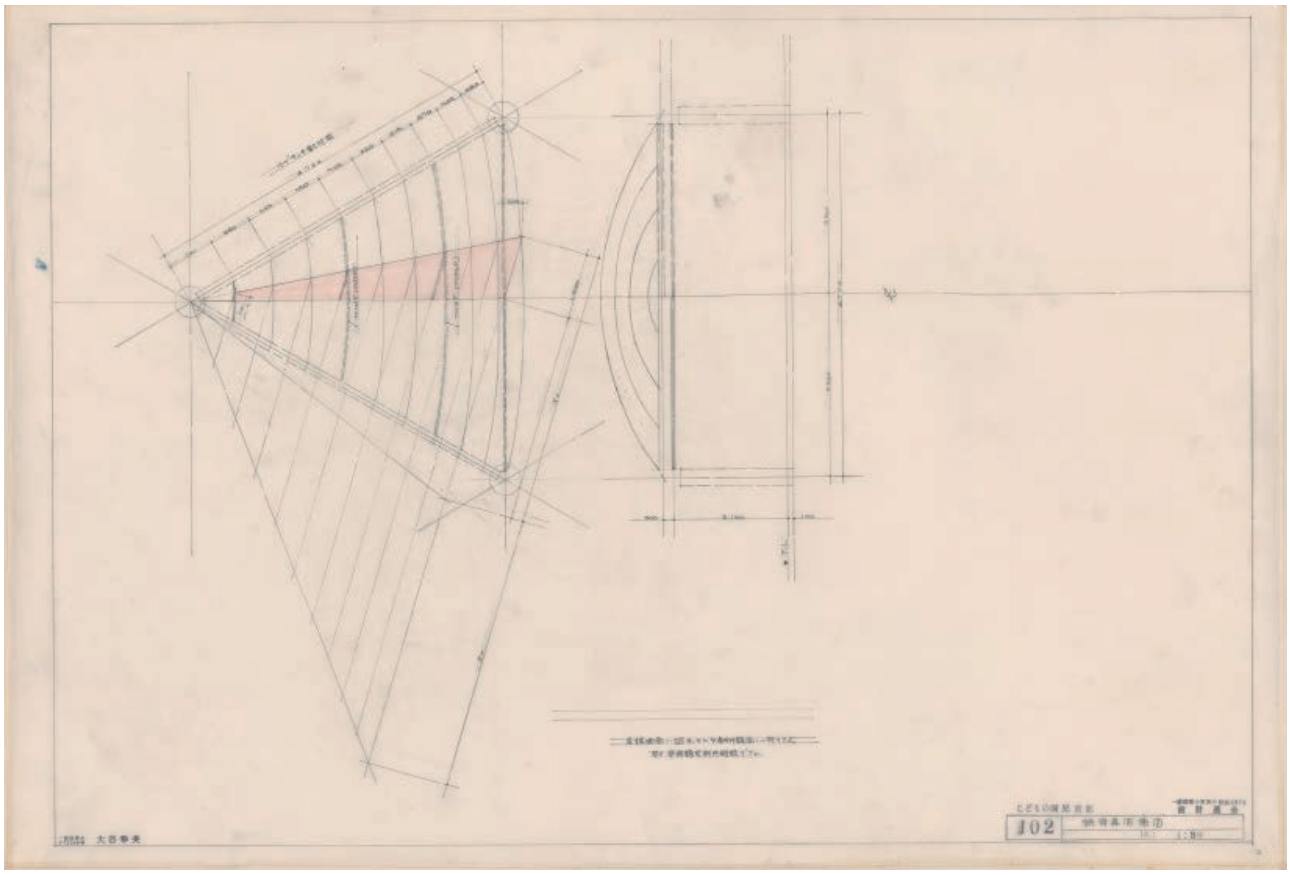
80-f07



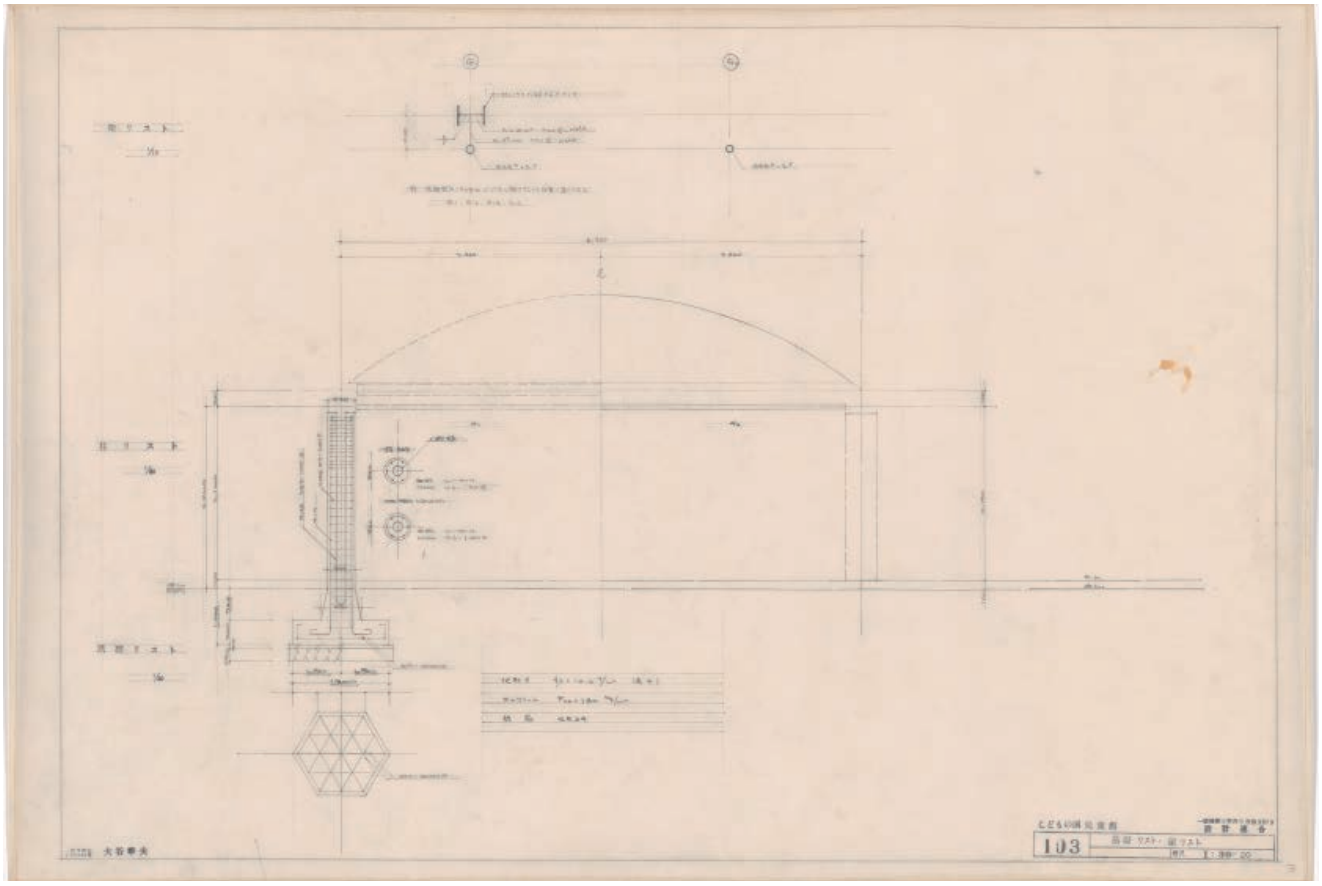
81-f08



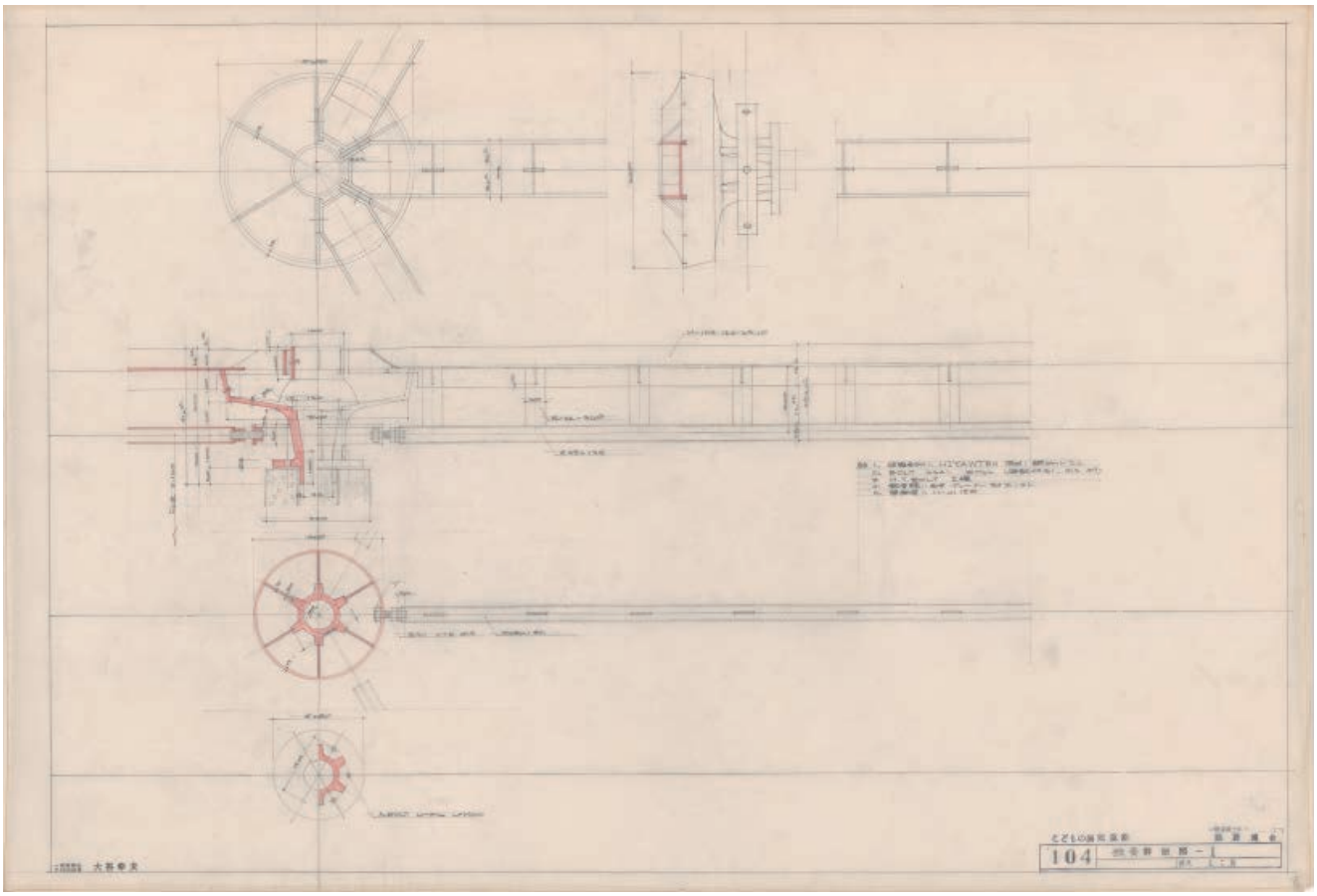
82-f09



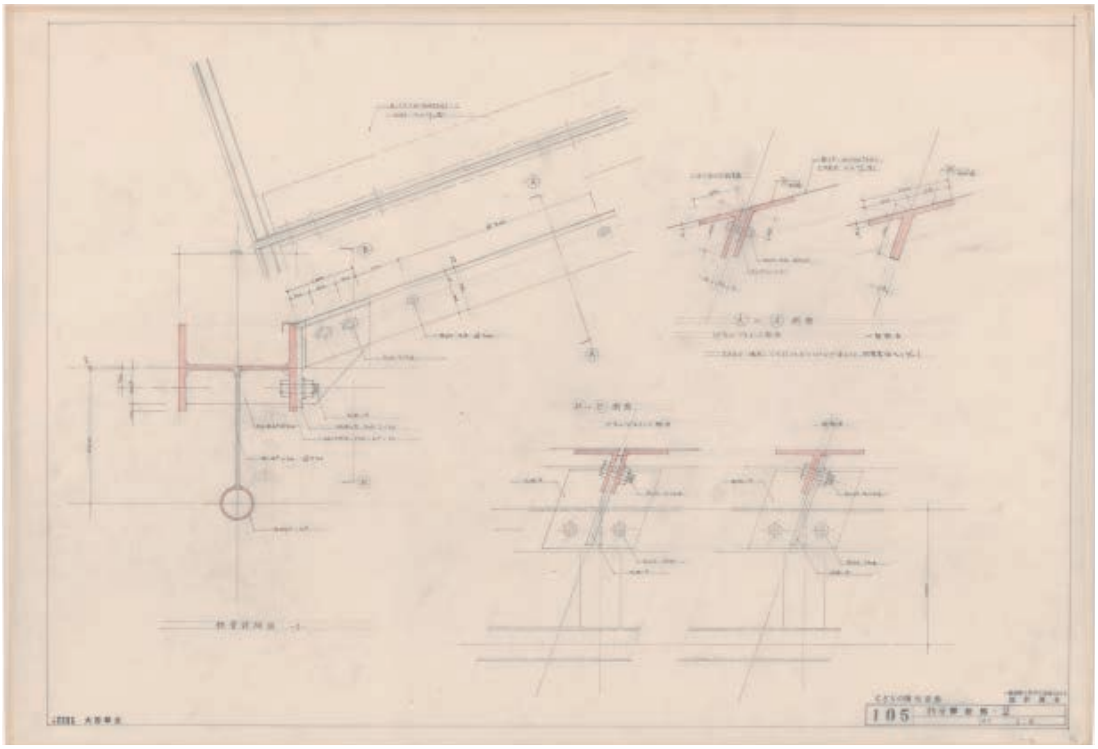
83-f10



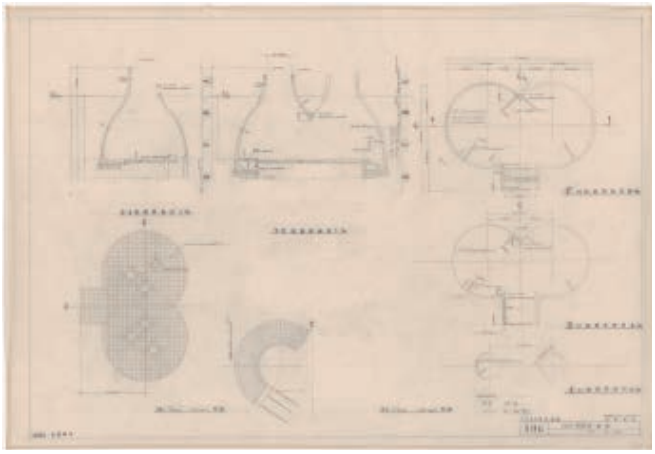
84-f11



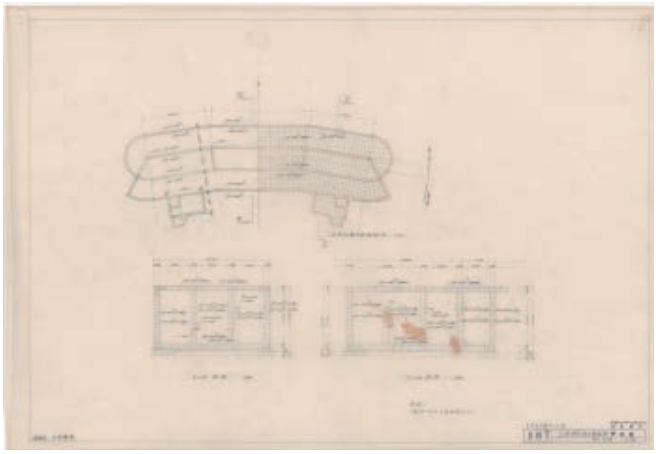
85-f12



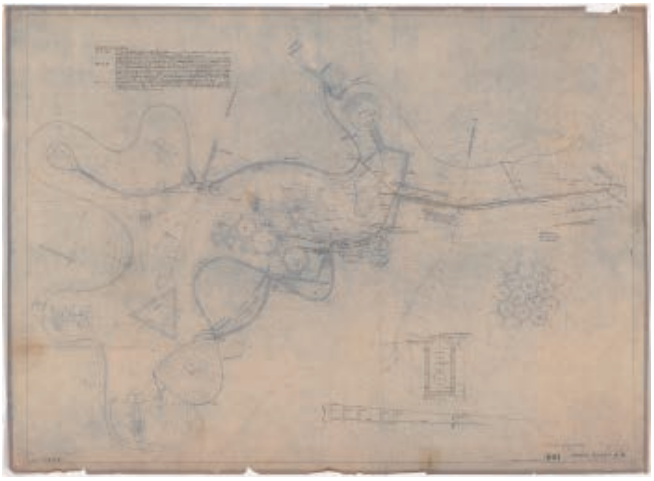
86-f13



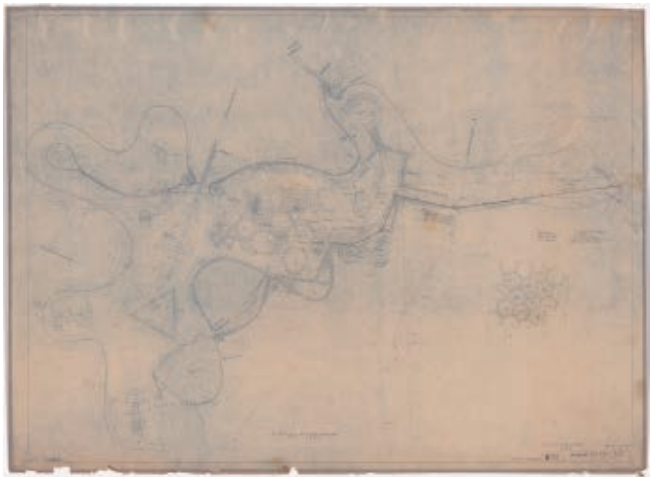
87-f14



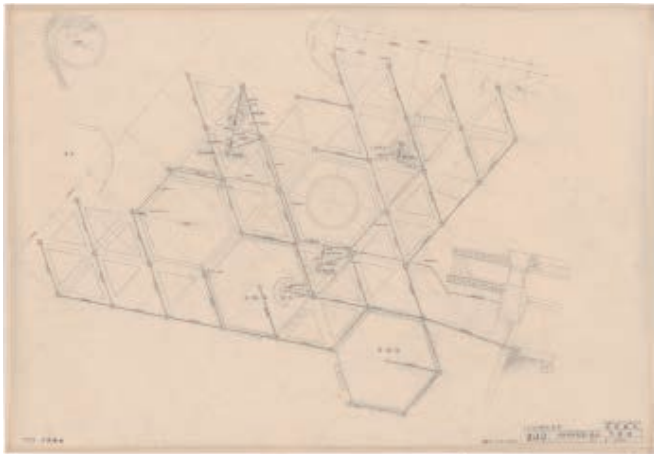
88-f15



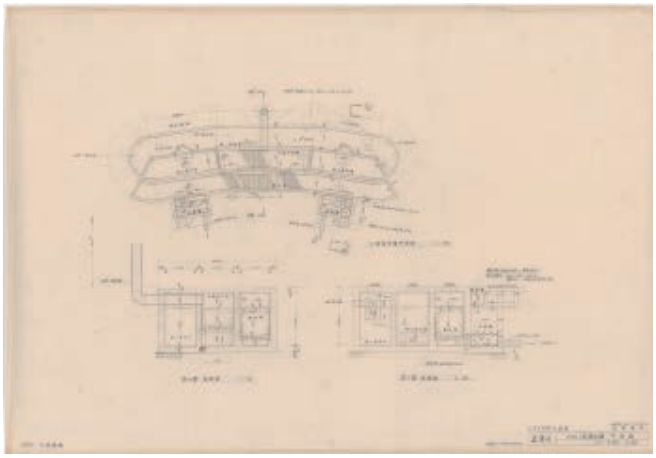
89-f16



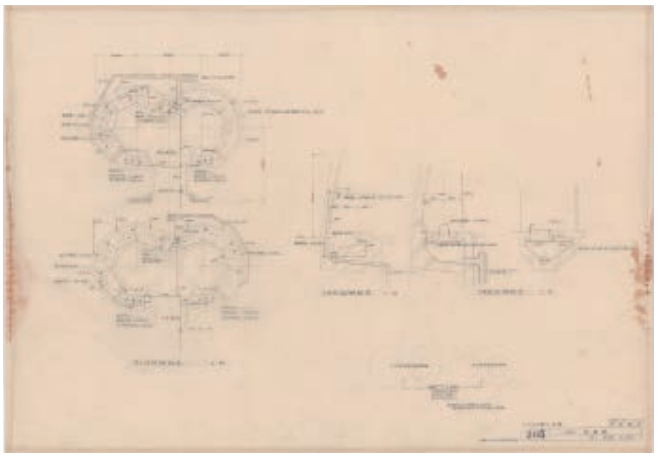
90-f17



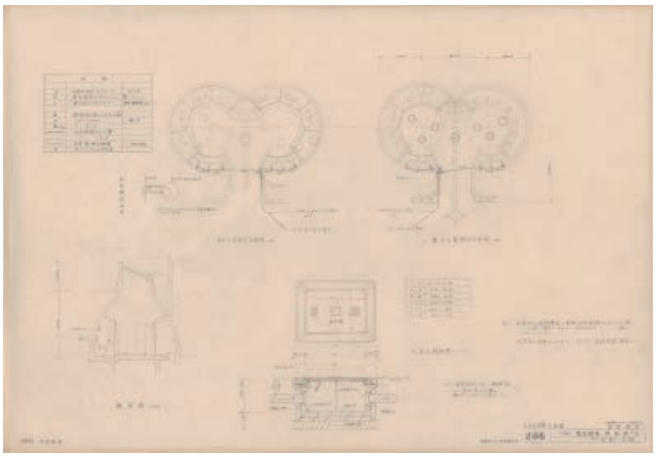
91-f18



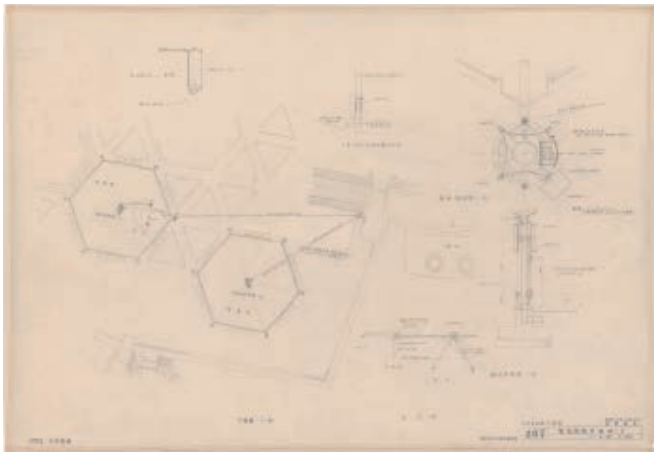
92-f19



93-f20

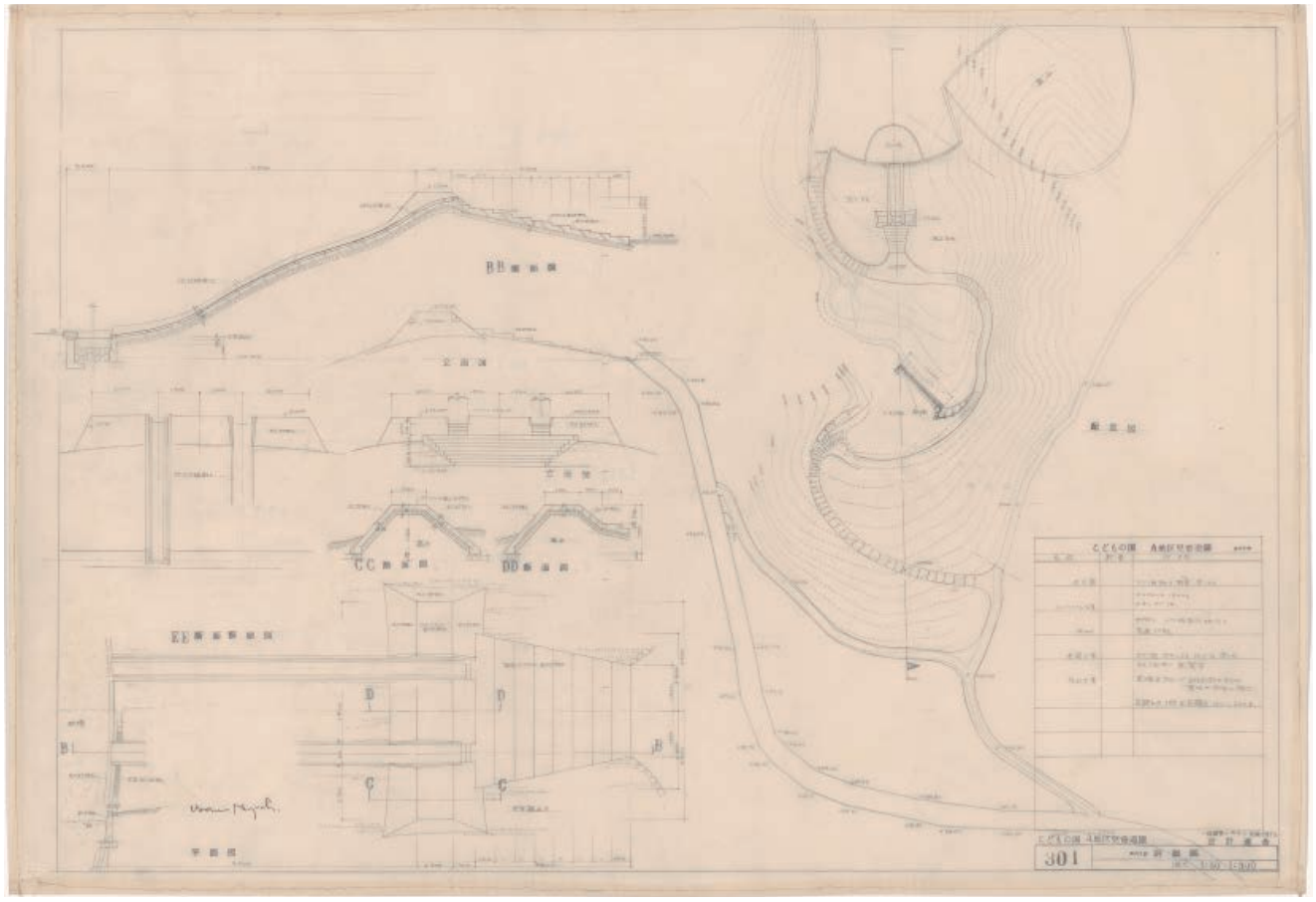


94-f21

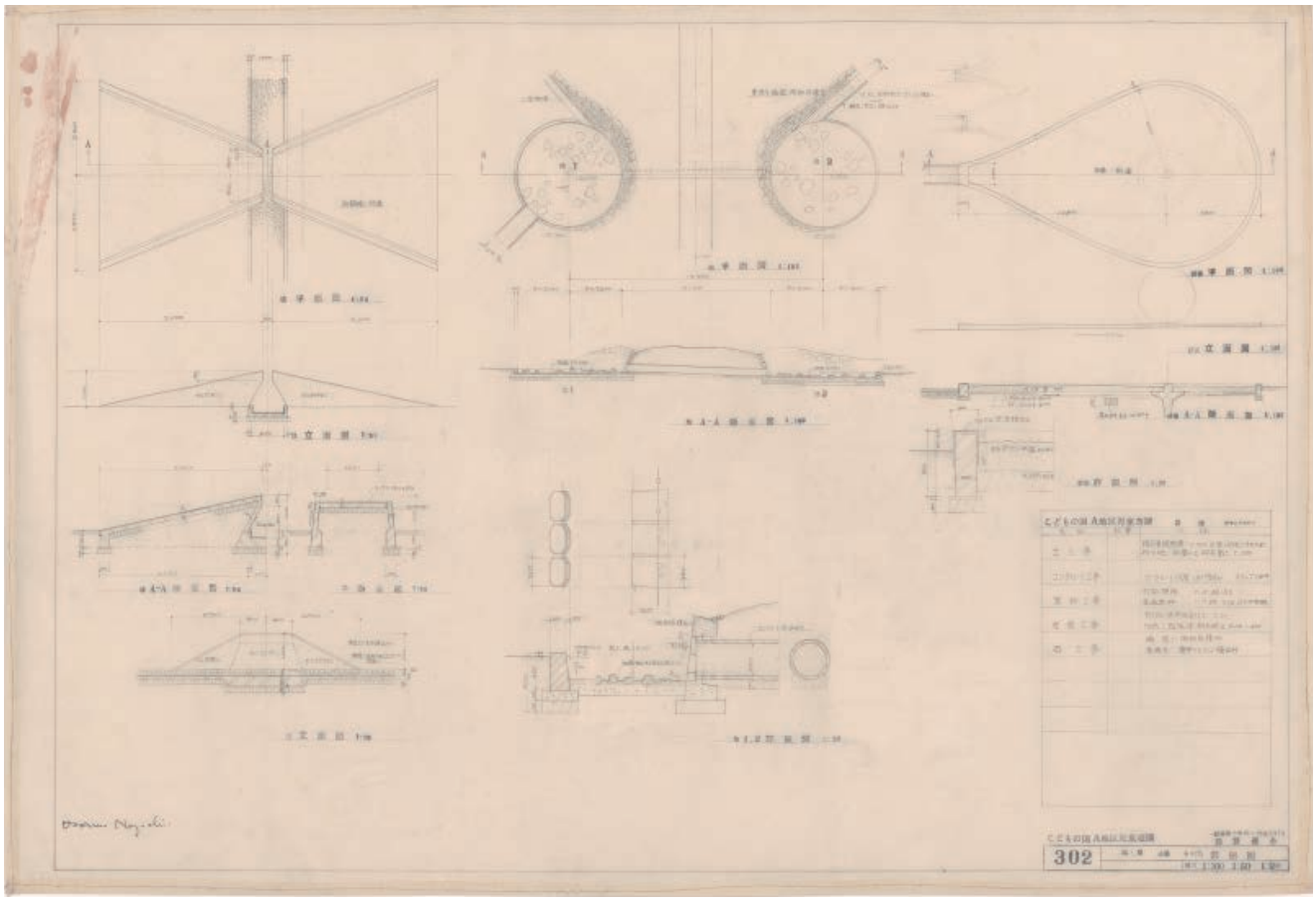


95-f22

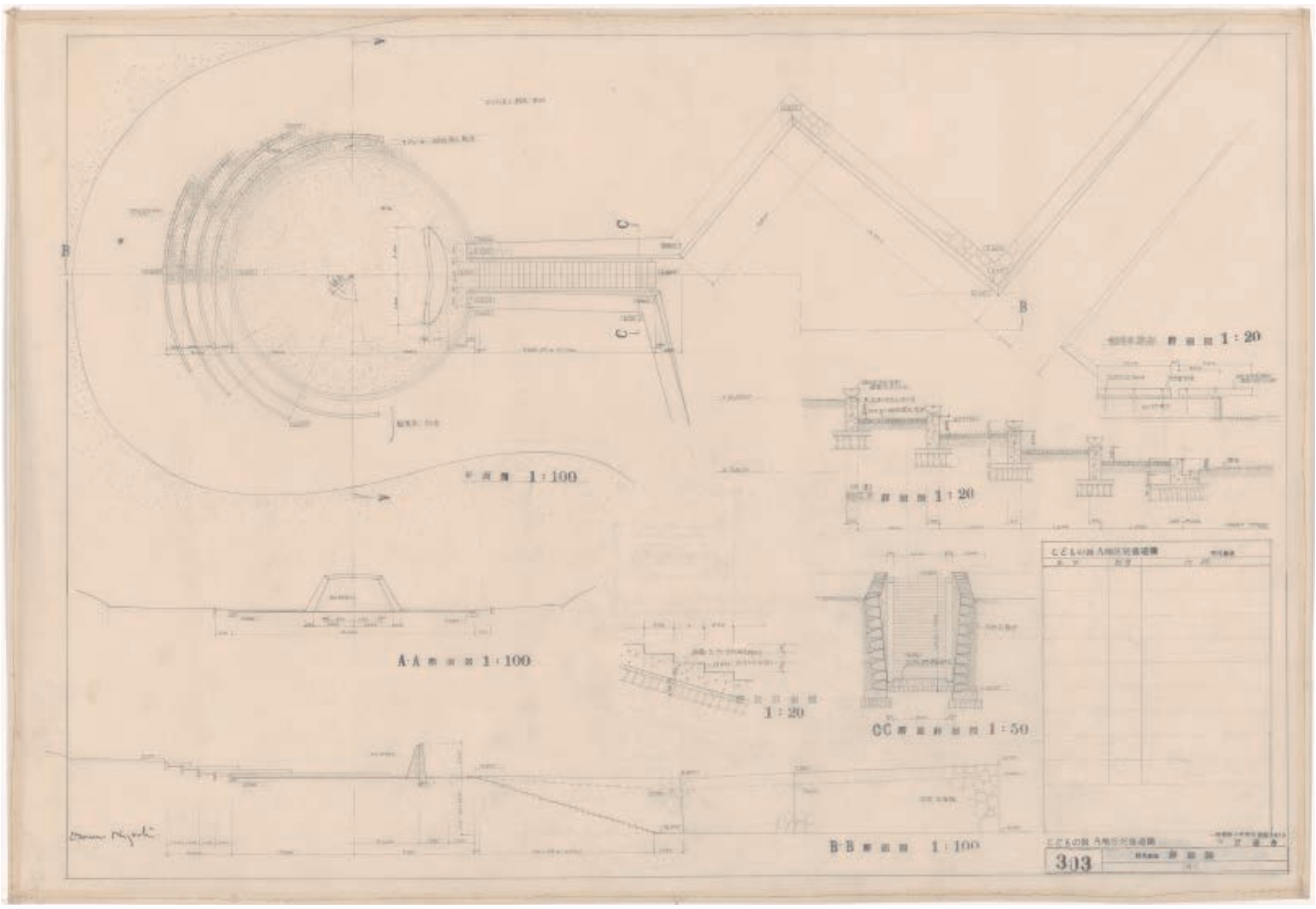
96-f23



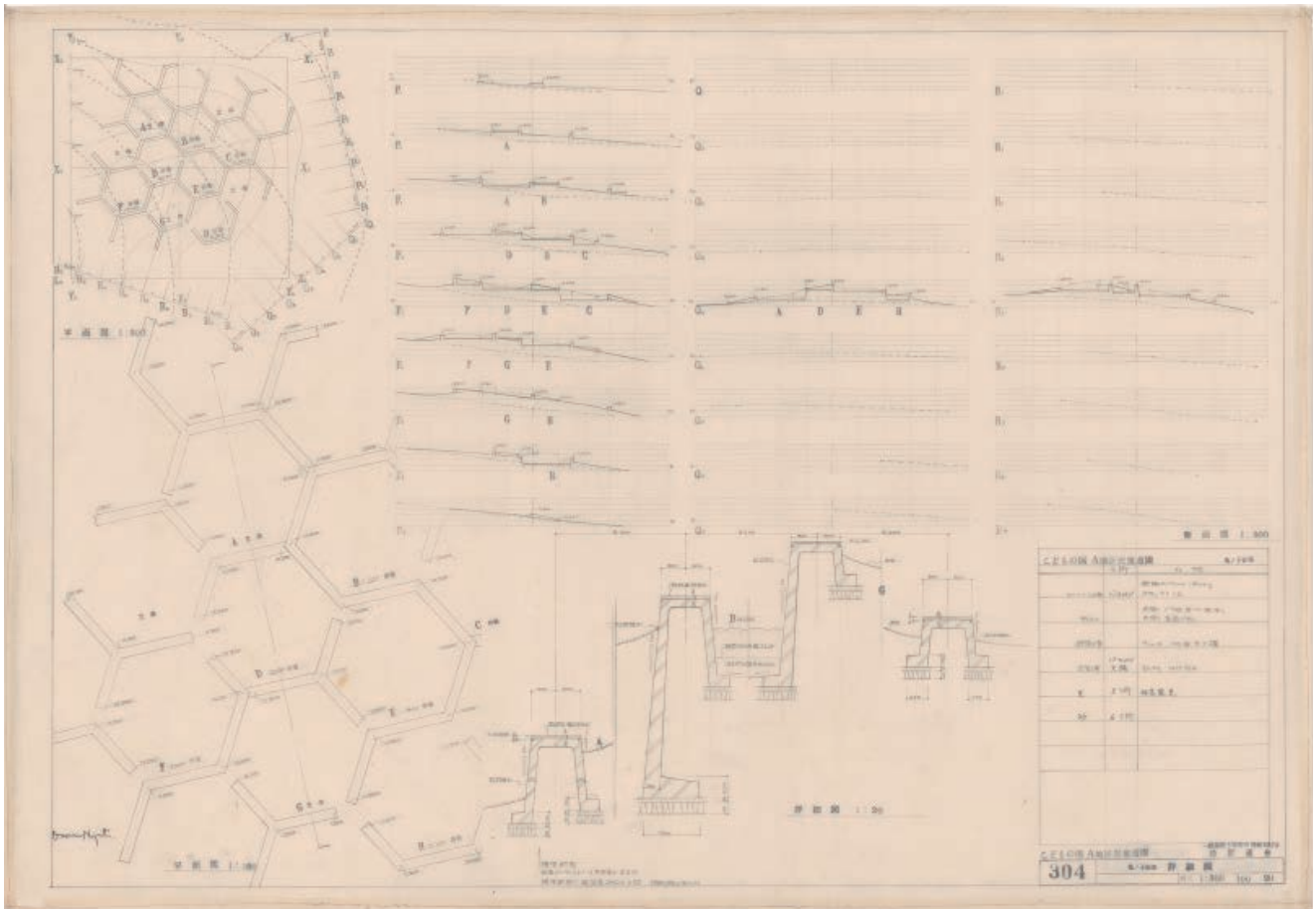
97-f24



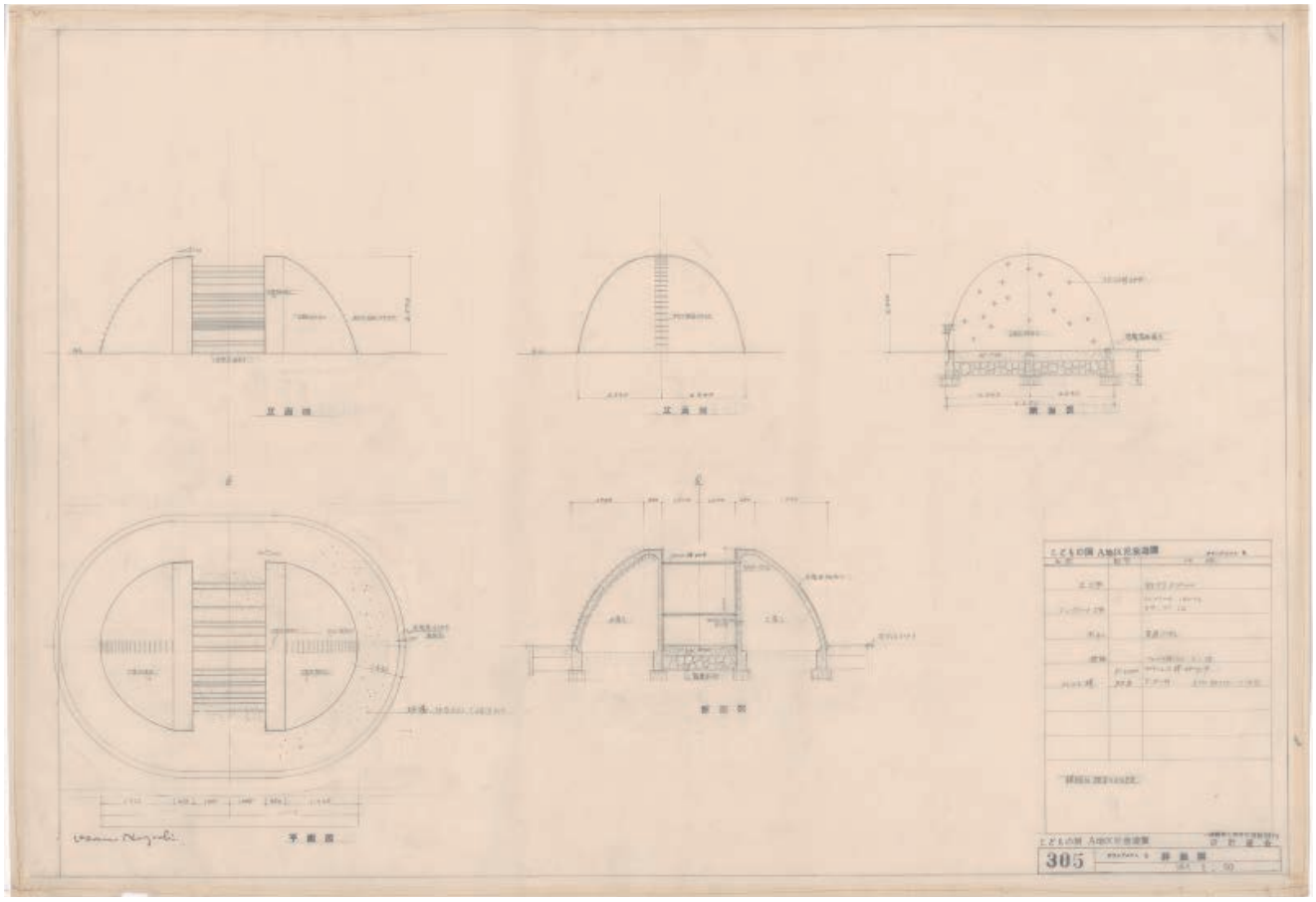
98-f25



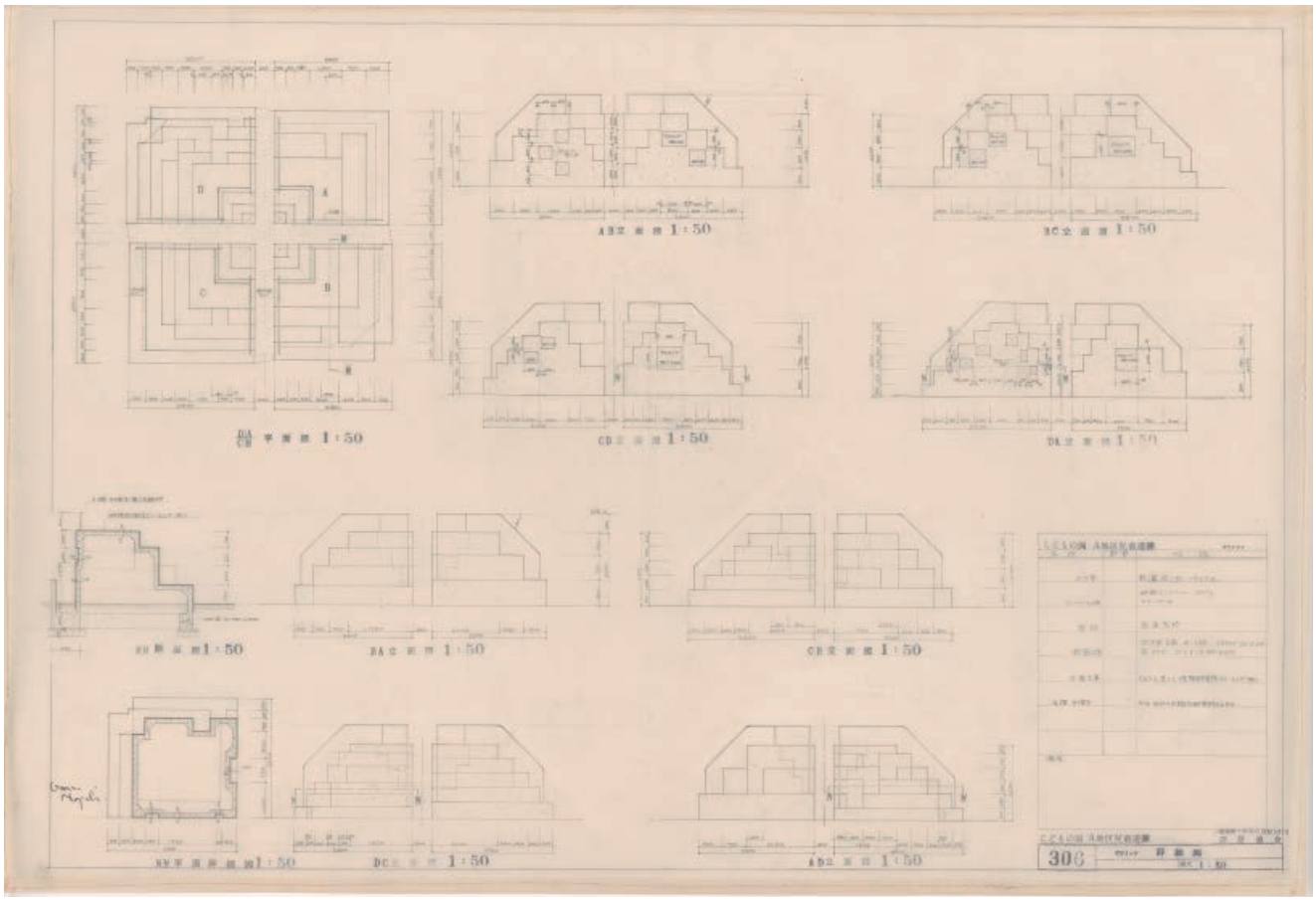
99-f26



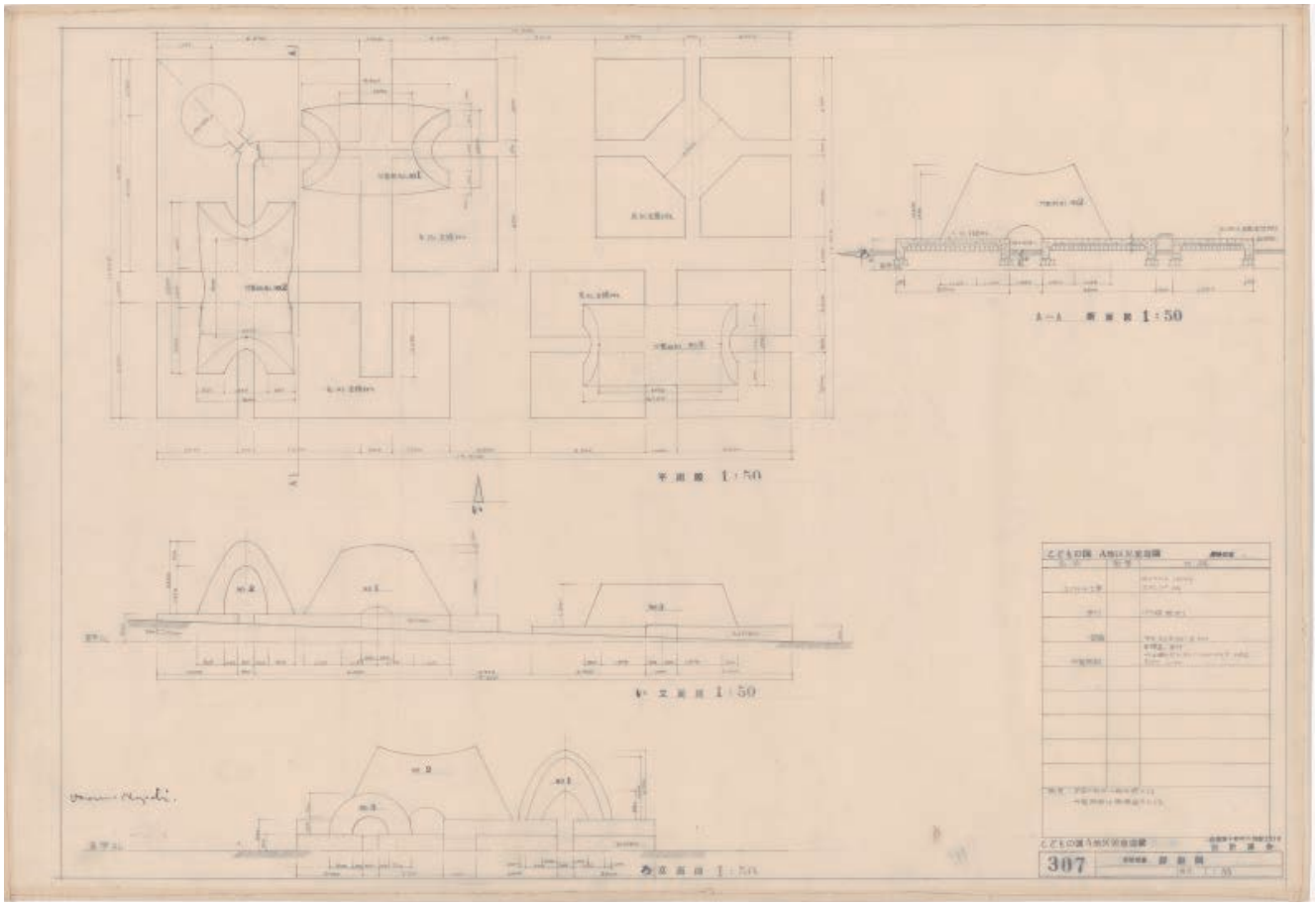
100-f27



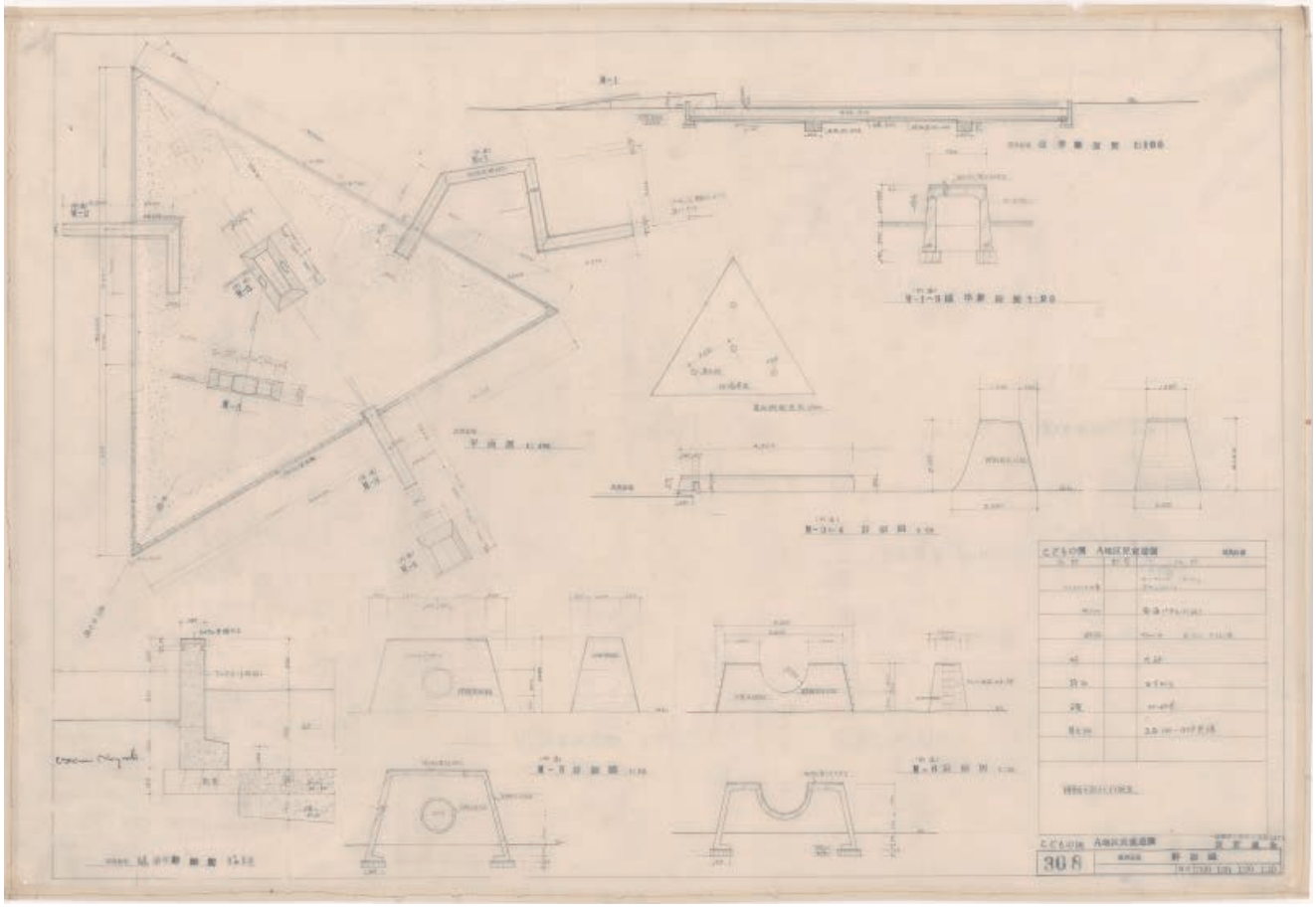
101-f28



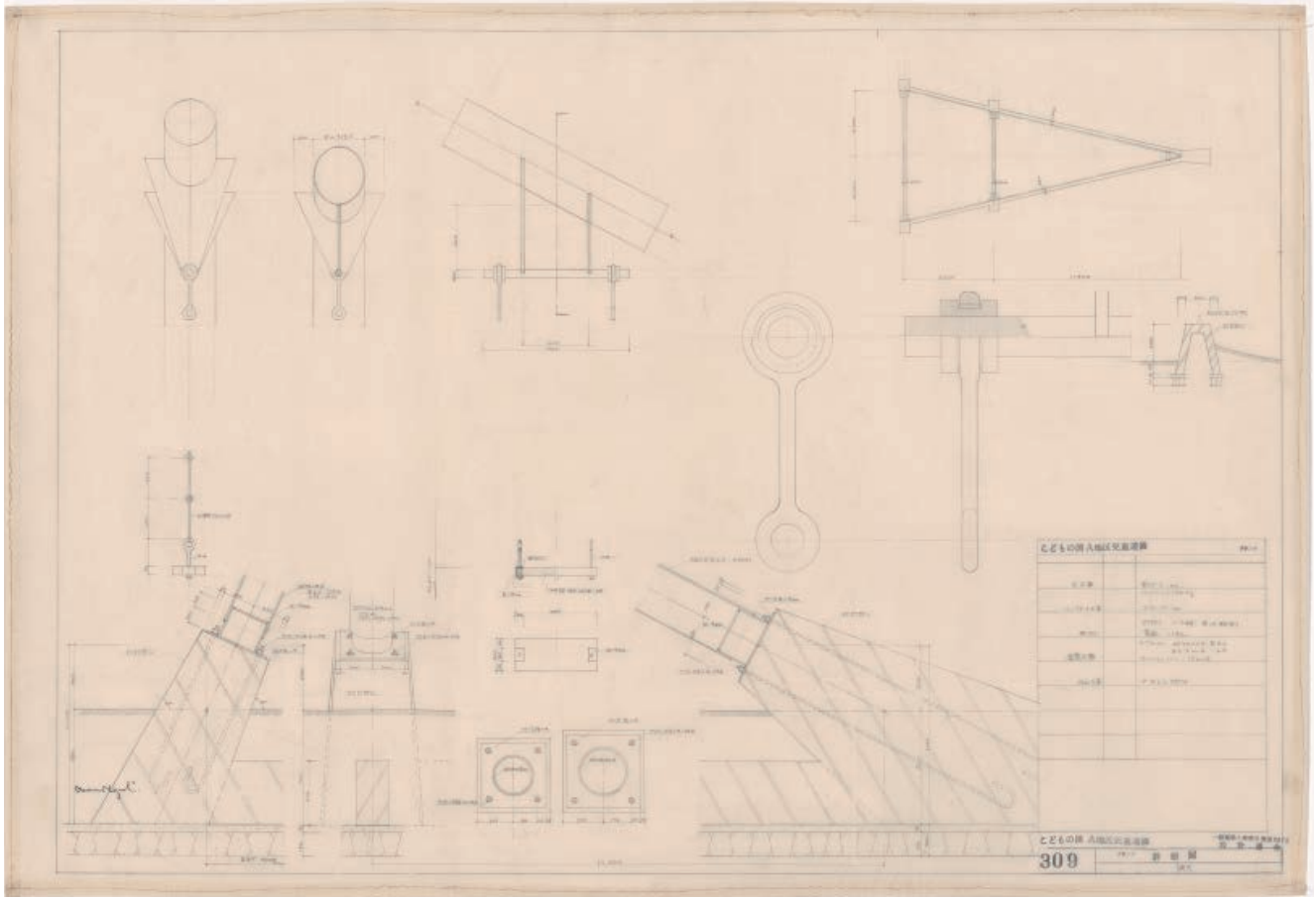
102-f29



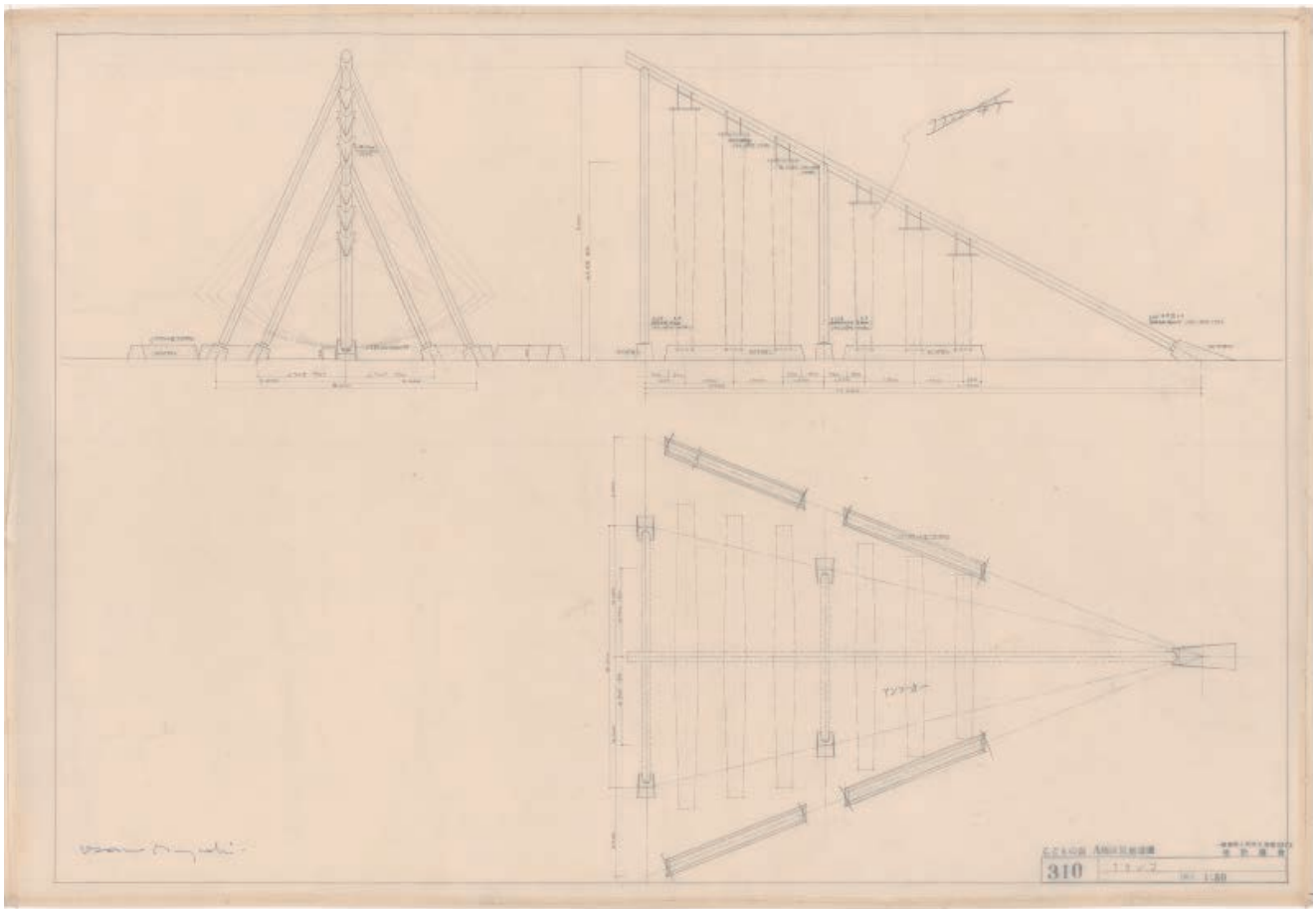
103-f30



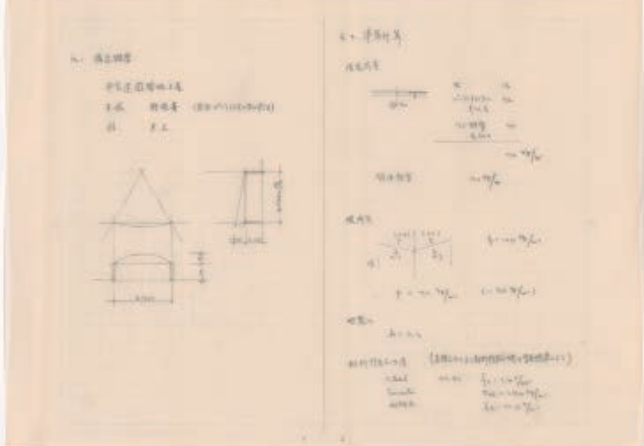
104-f31

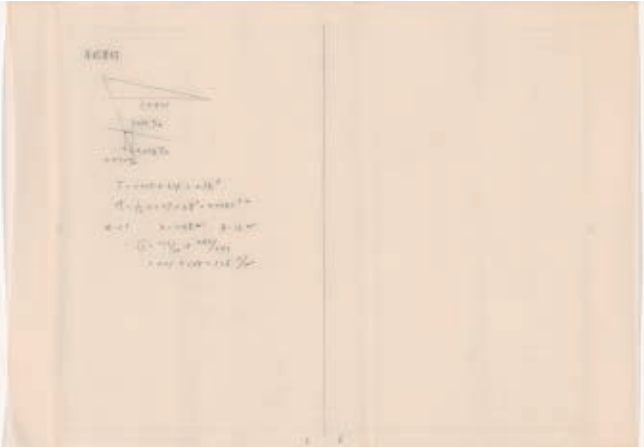


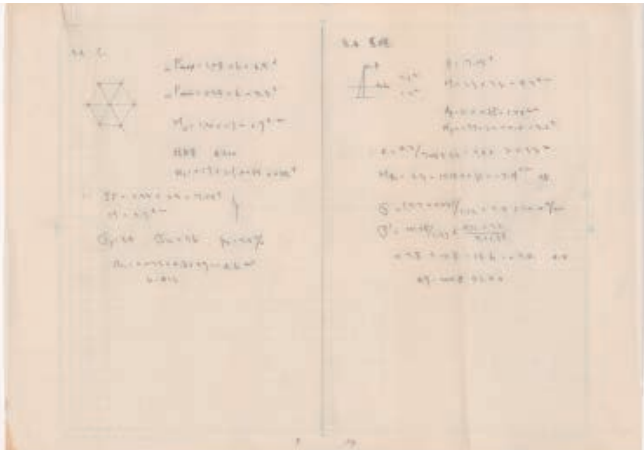
105-f32



106-f33

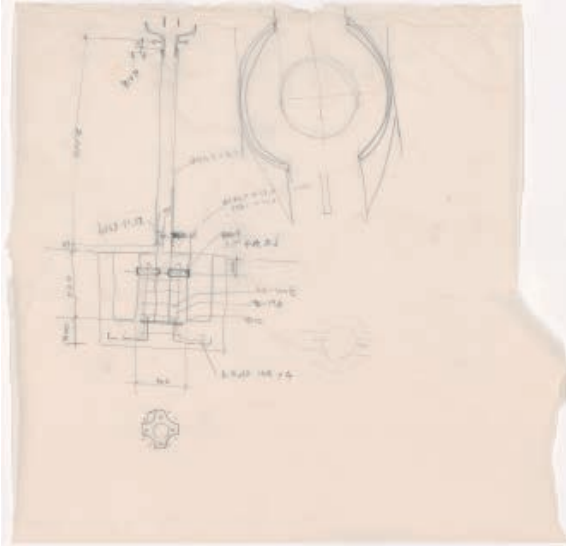




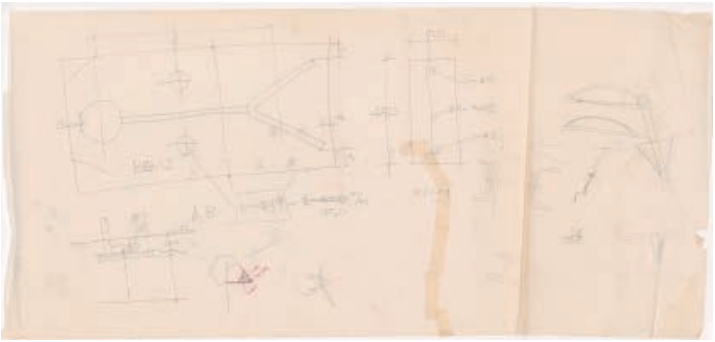


107-f34-1	107-f34-2
107-f34-3	107-f34-4
107-f34-5	107-f34-6
107-f34-7	

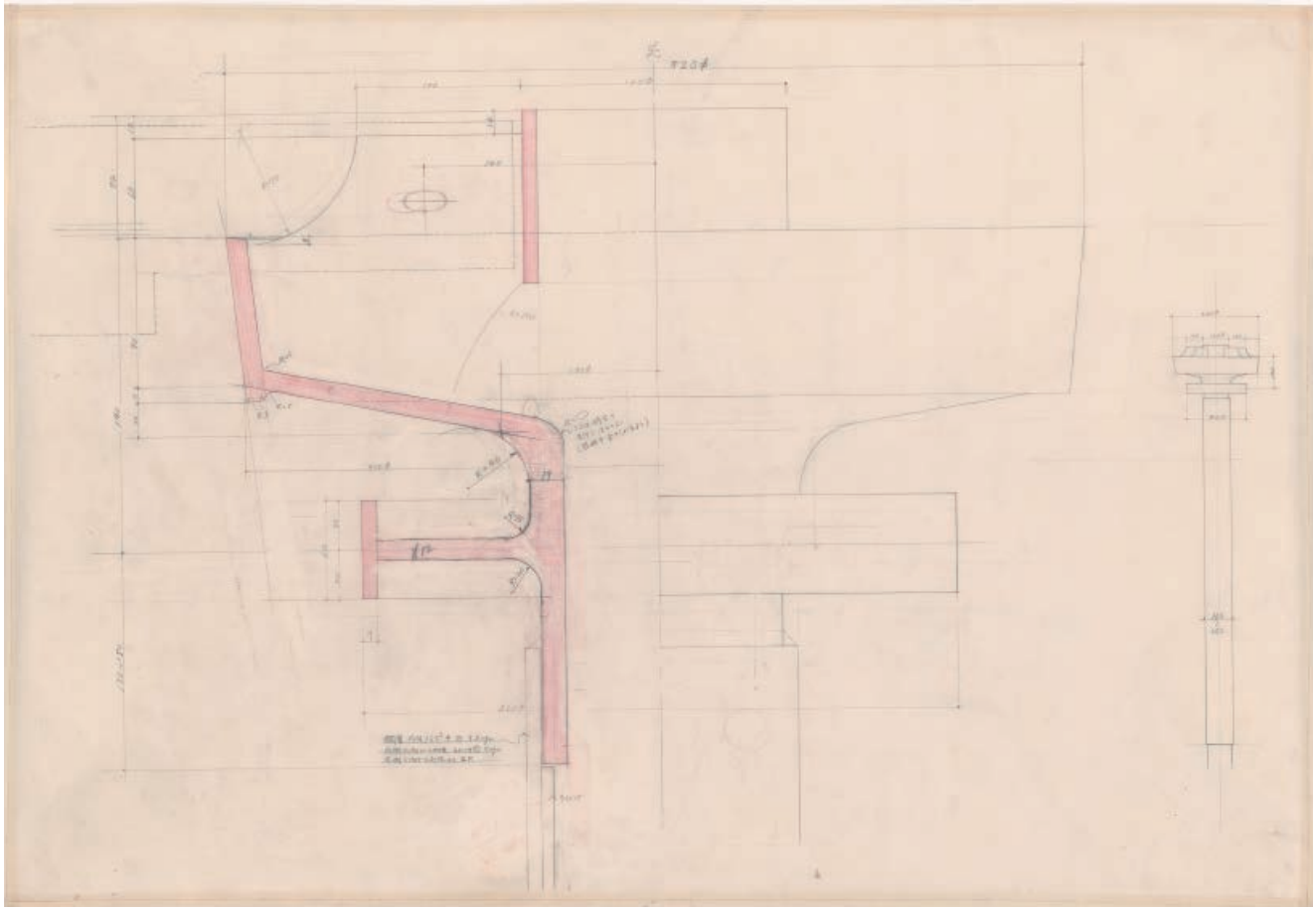
グループｇ：児童館設計修正過程（1966年１月）



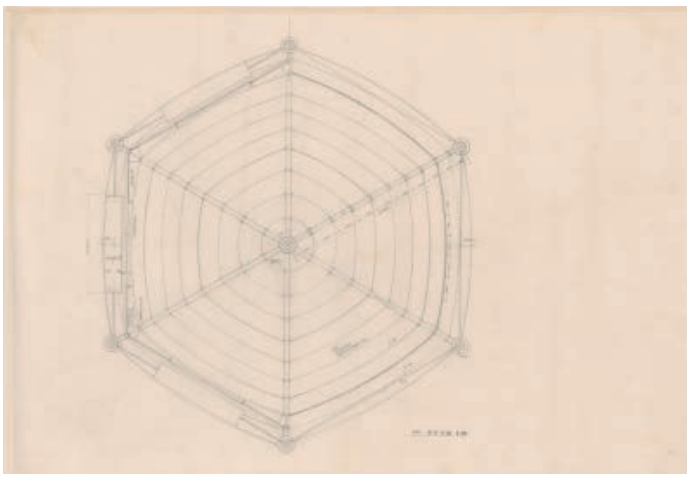
108-g01



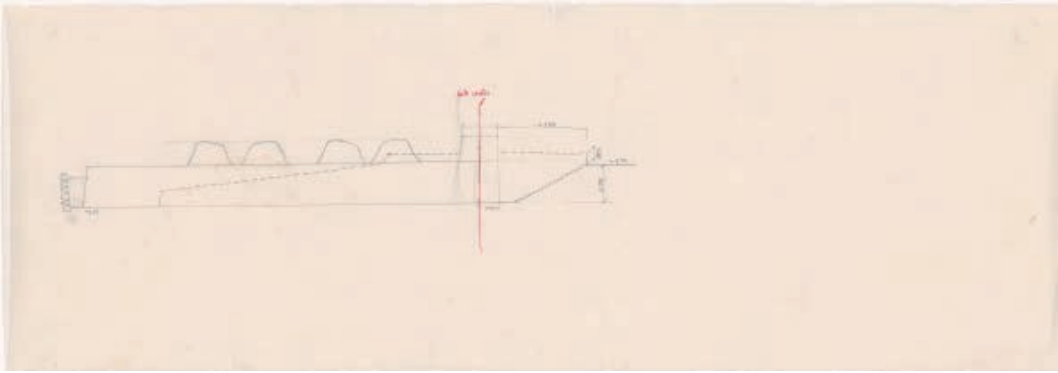
109-g02



110-g03

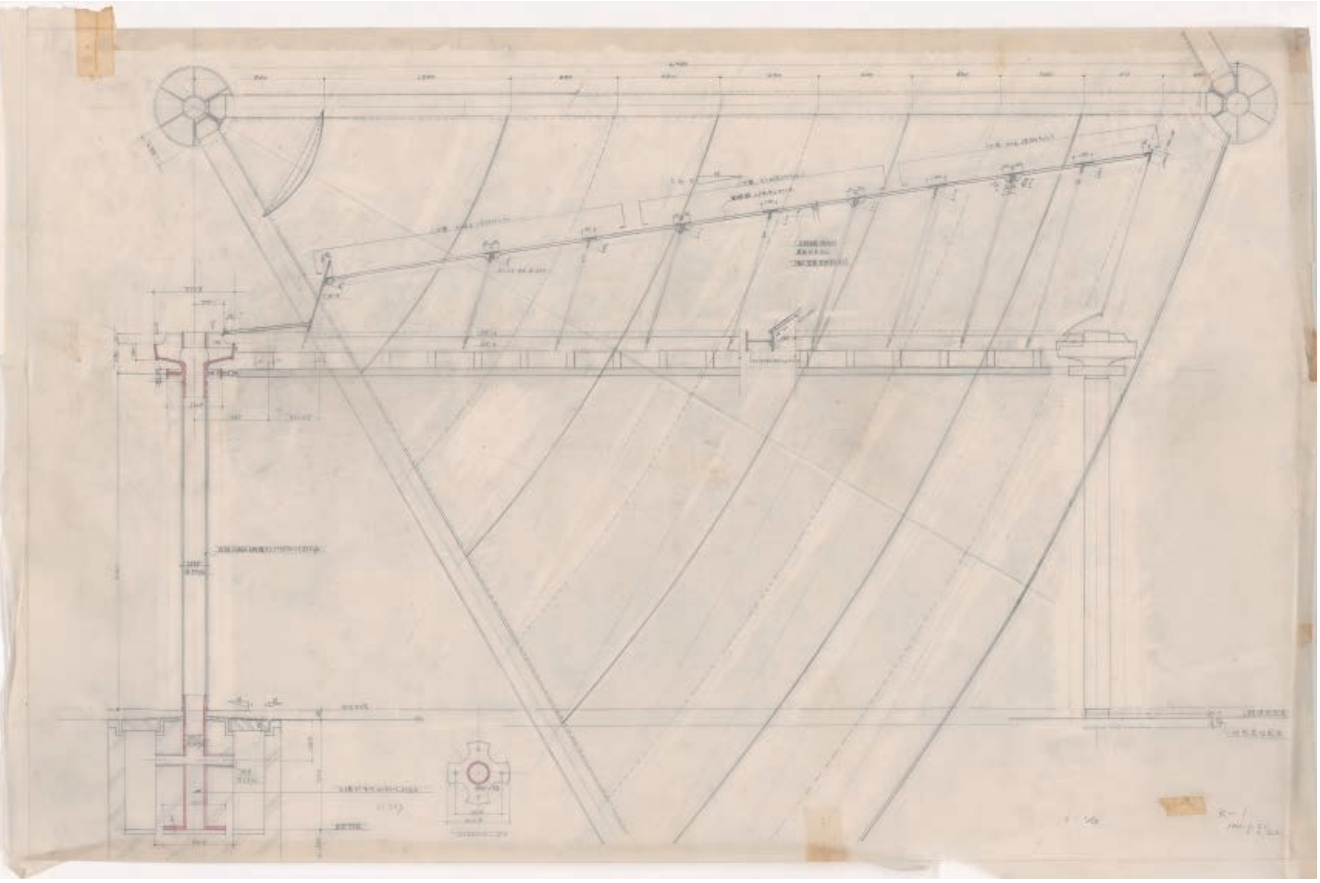


111-g04

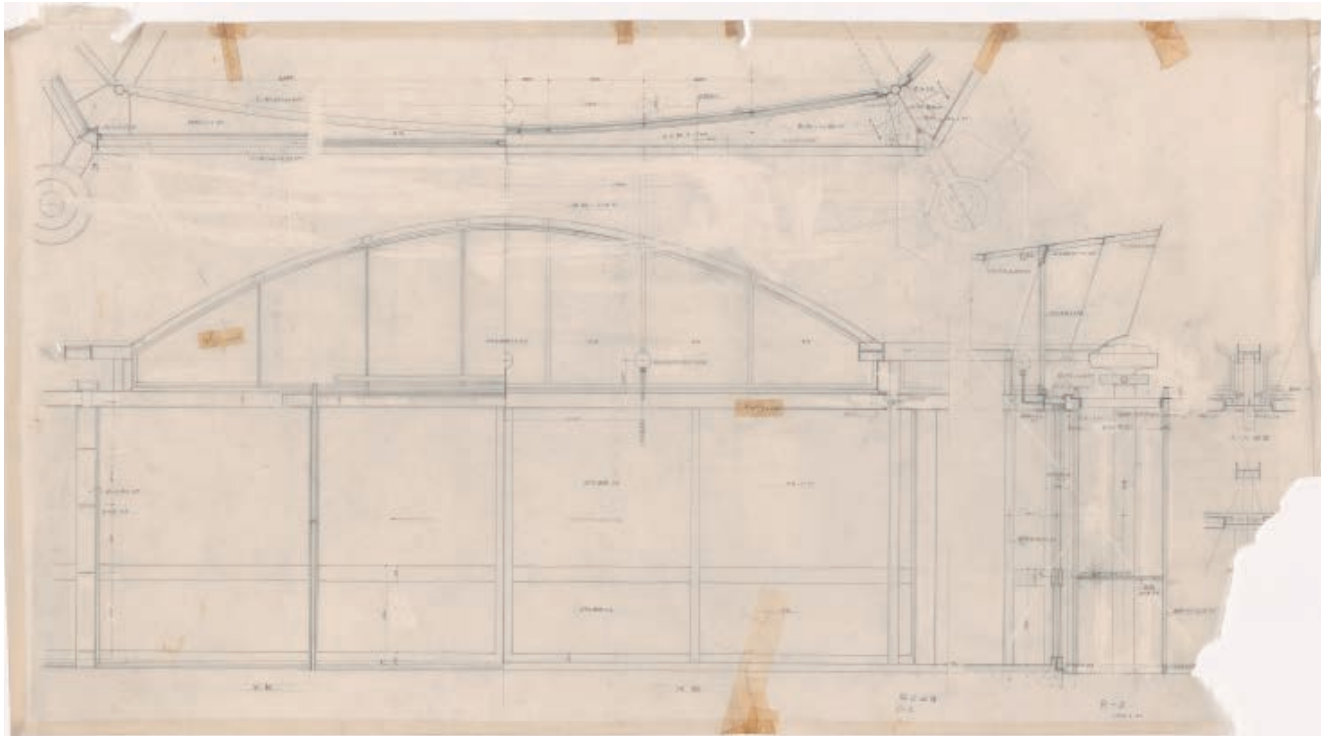


112-g05

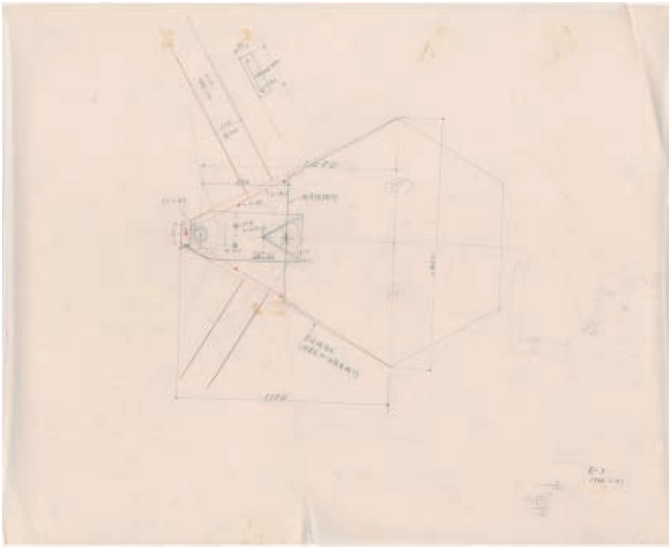
グループh：児童館設計補助図（R図面）前期（1966年1月－3月）



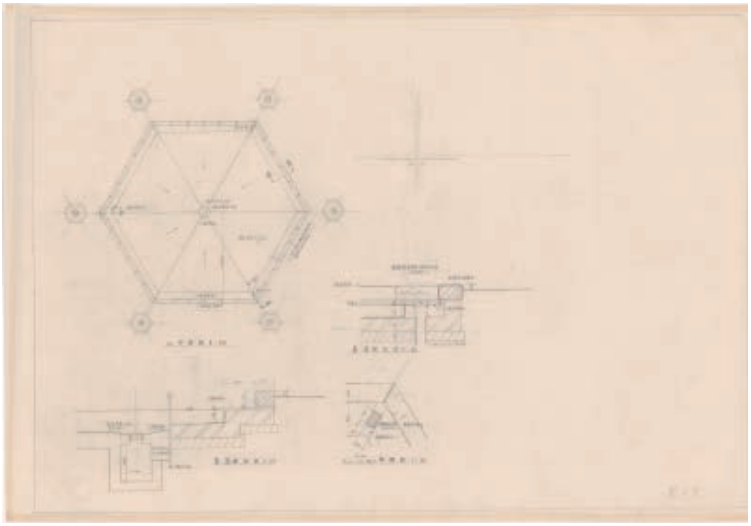
113-h01



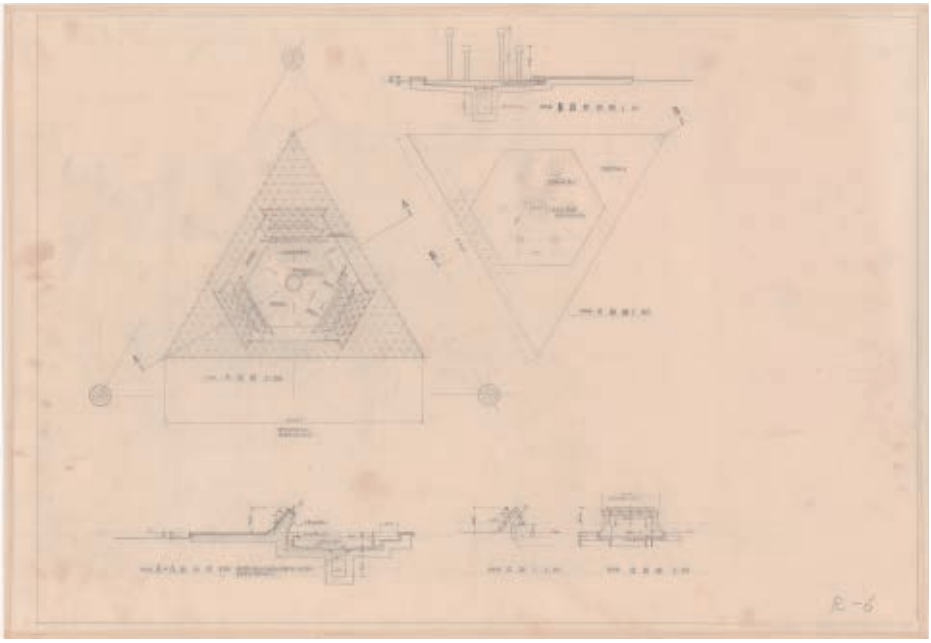
114-h02



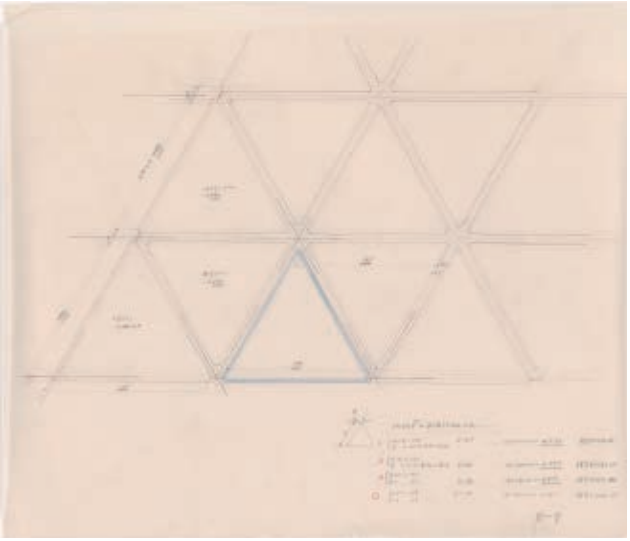
115-h03



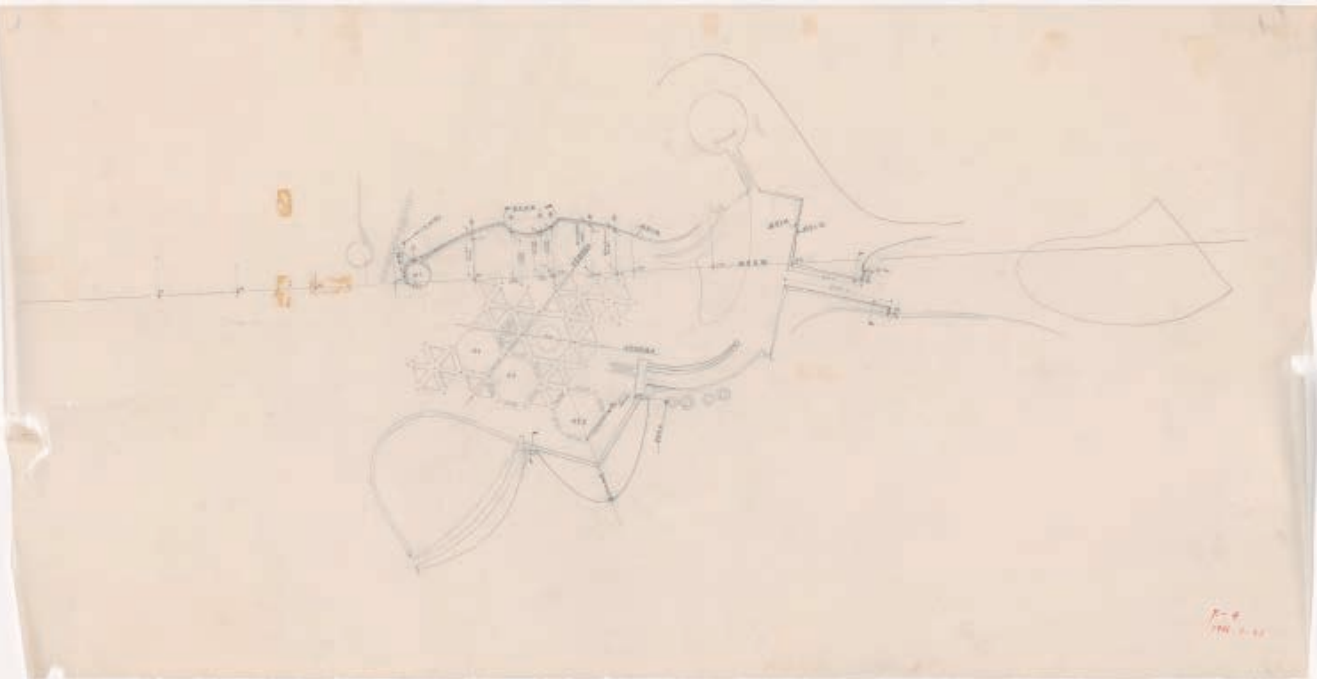
116-h04



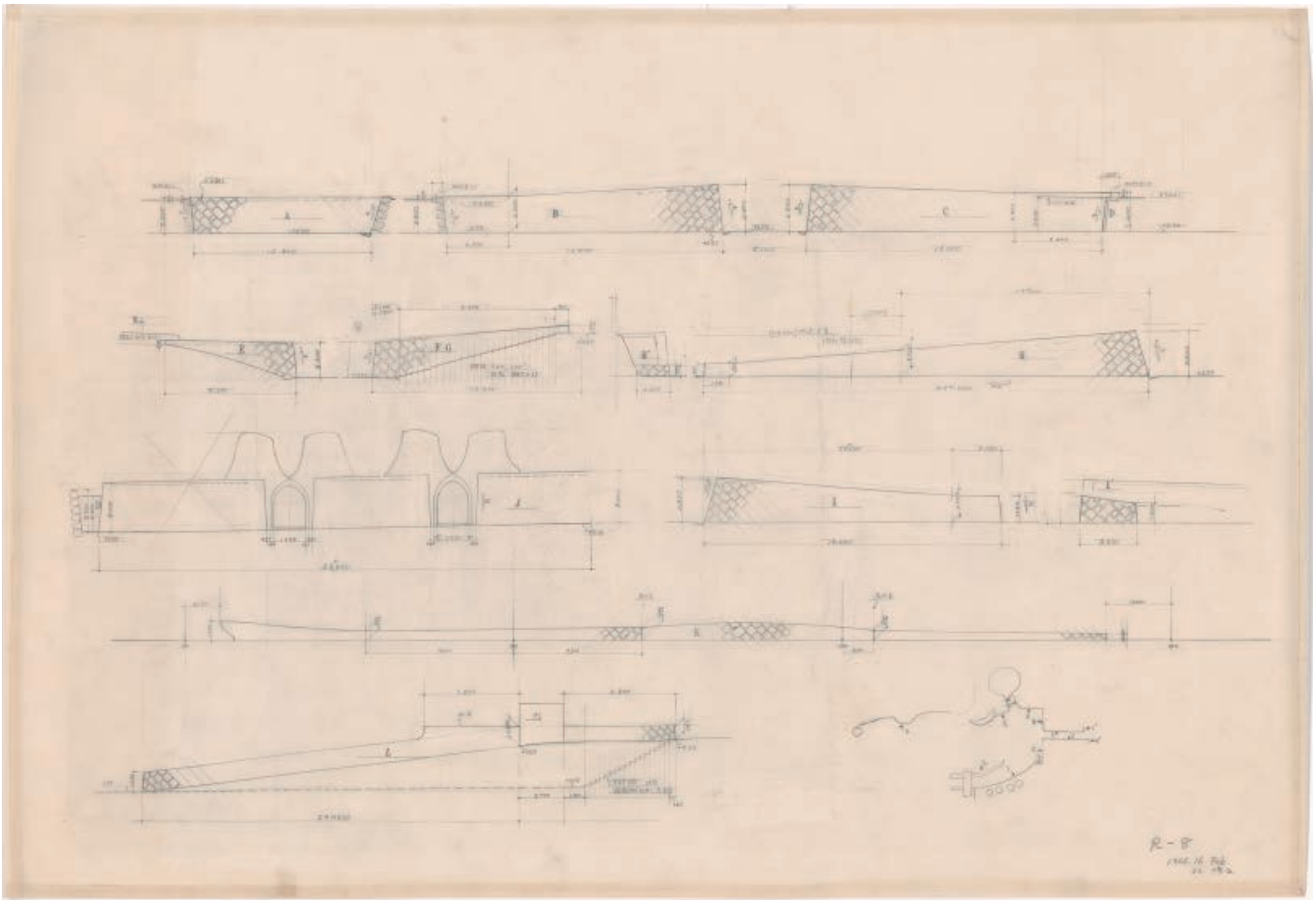
117-h05



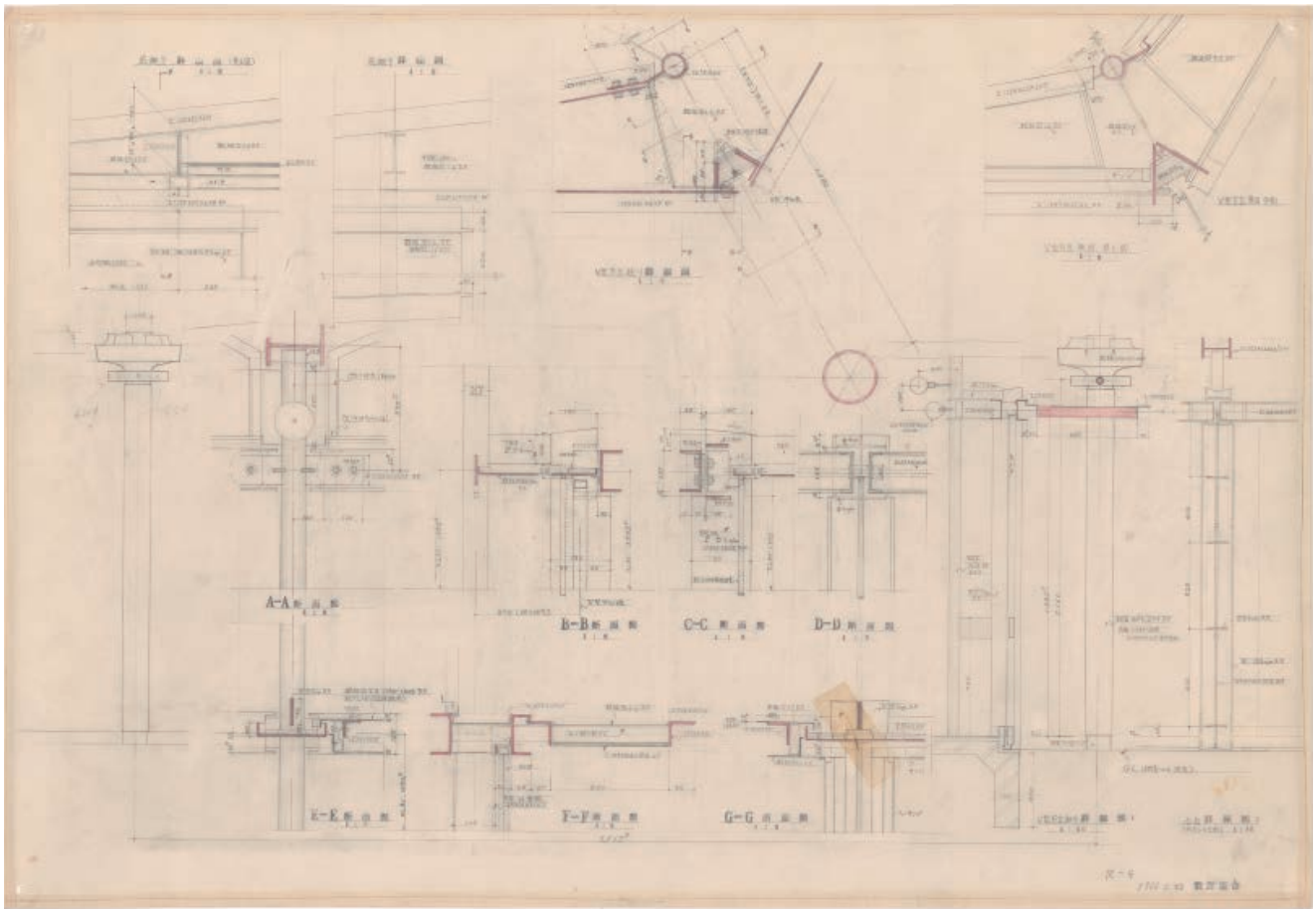
118-h06



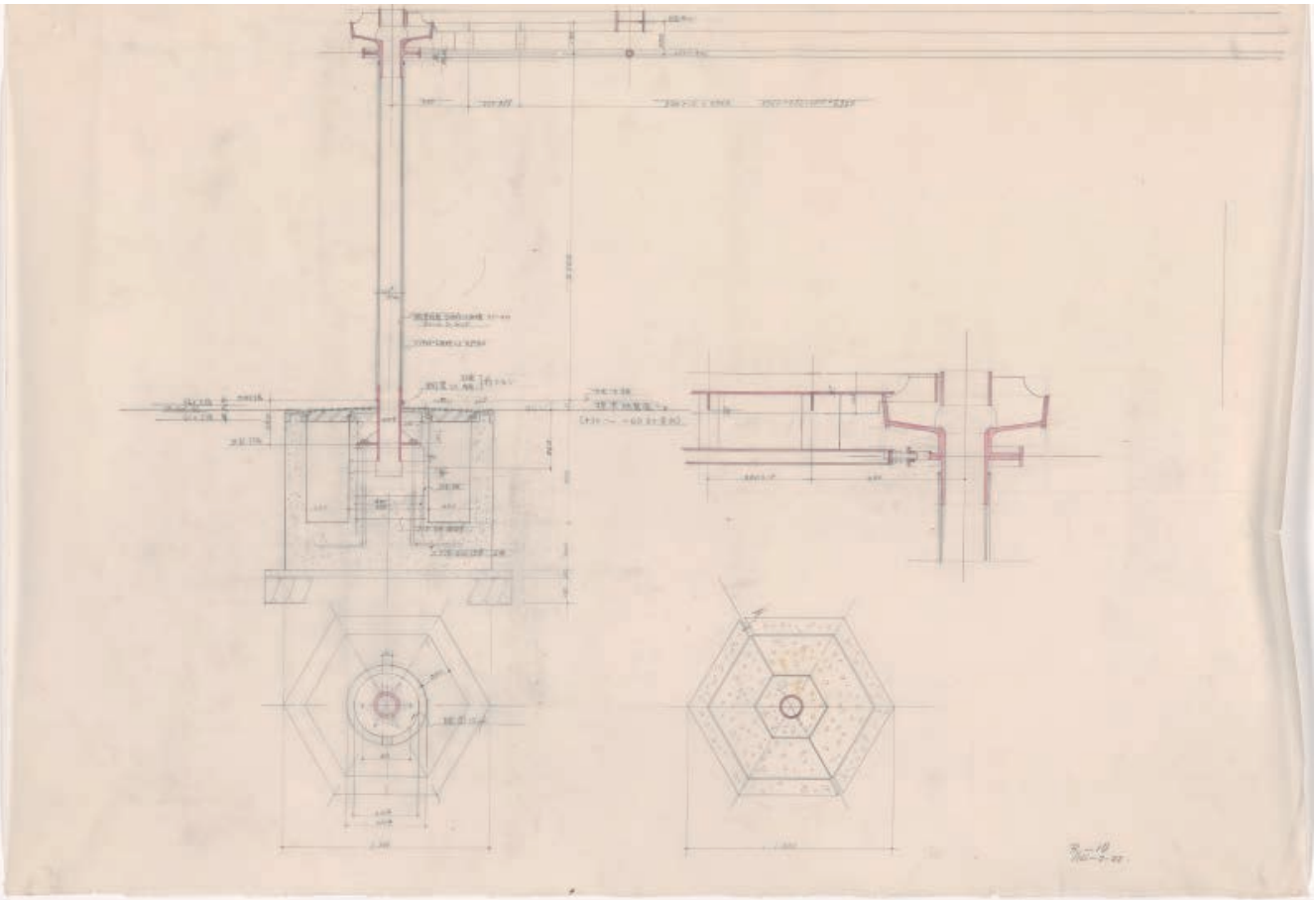
119-h07



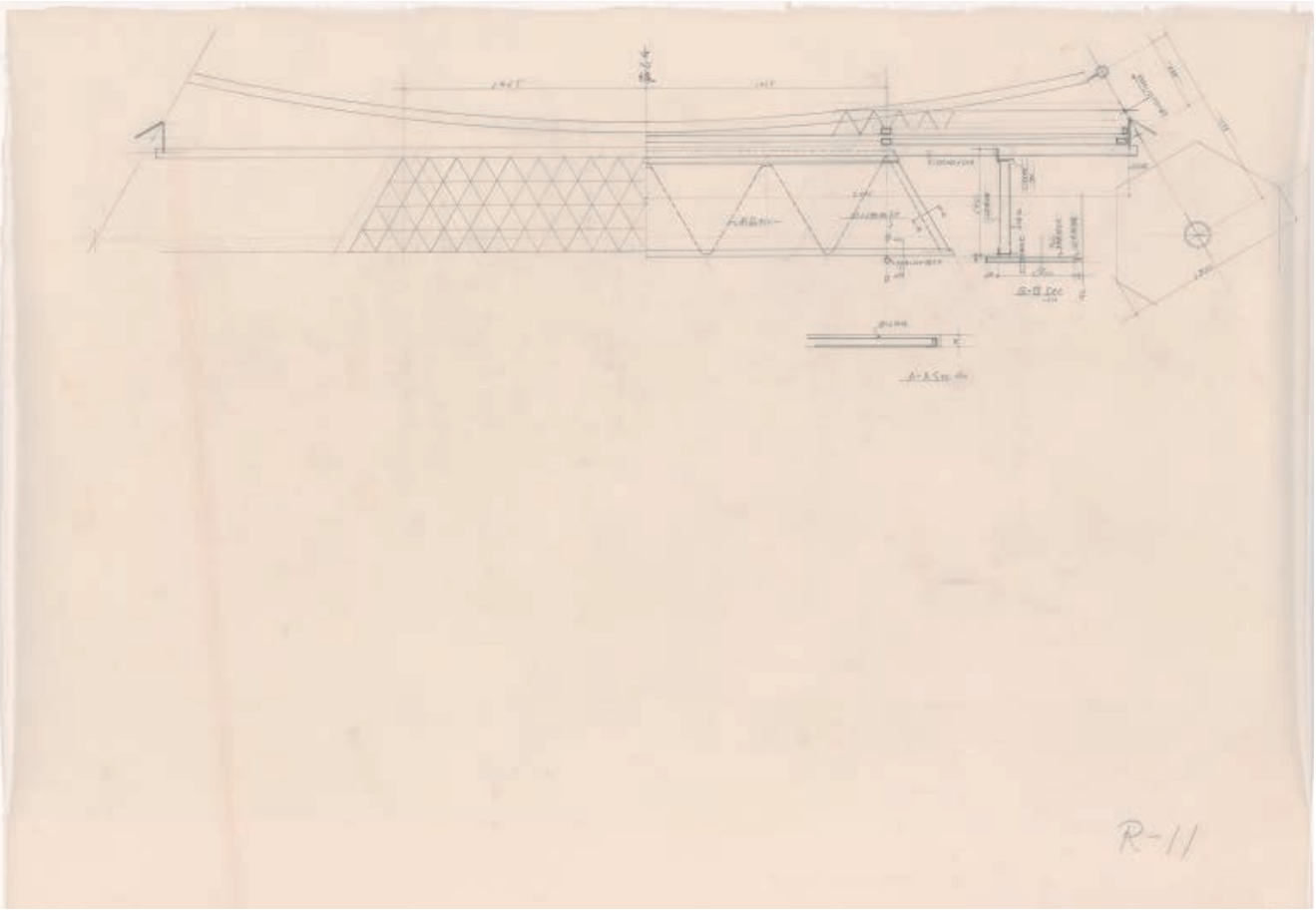
120-h08



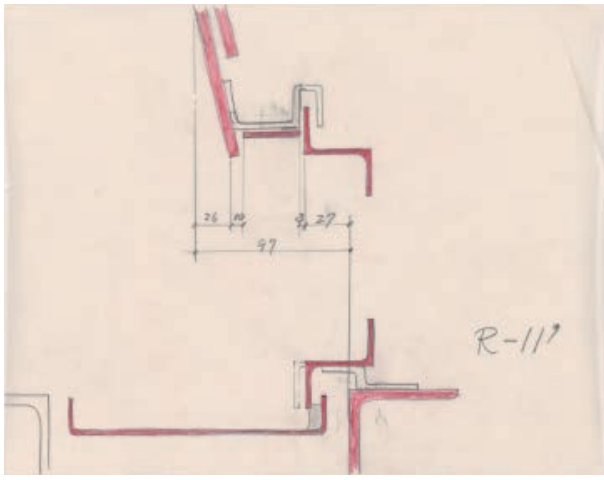
121-h09



122-h10

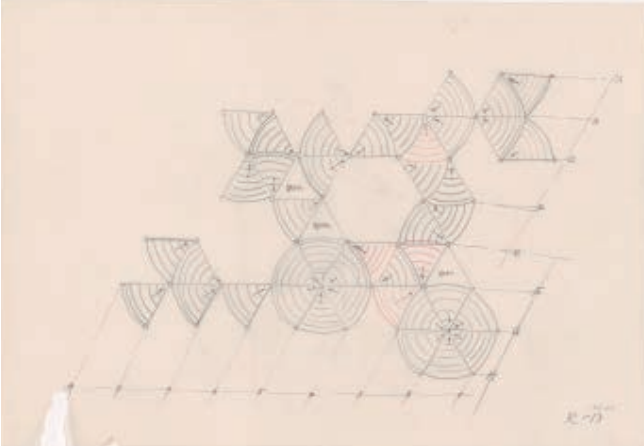


123-h11

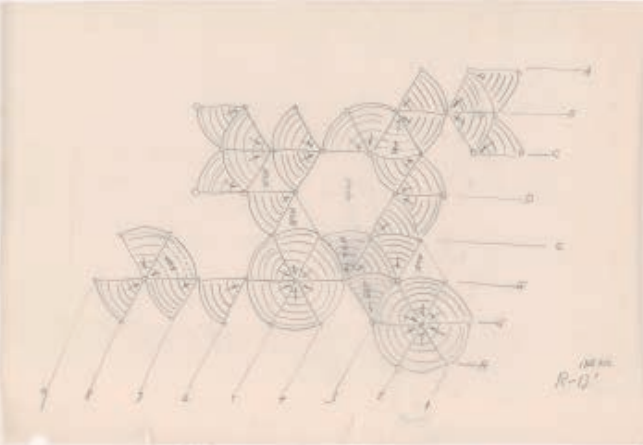


124-h12

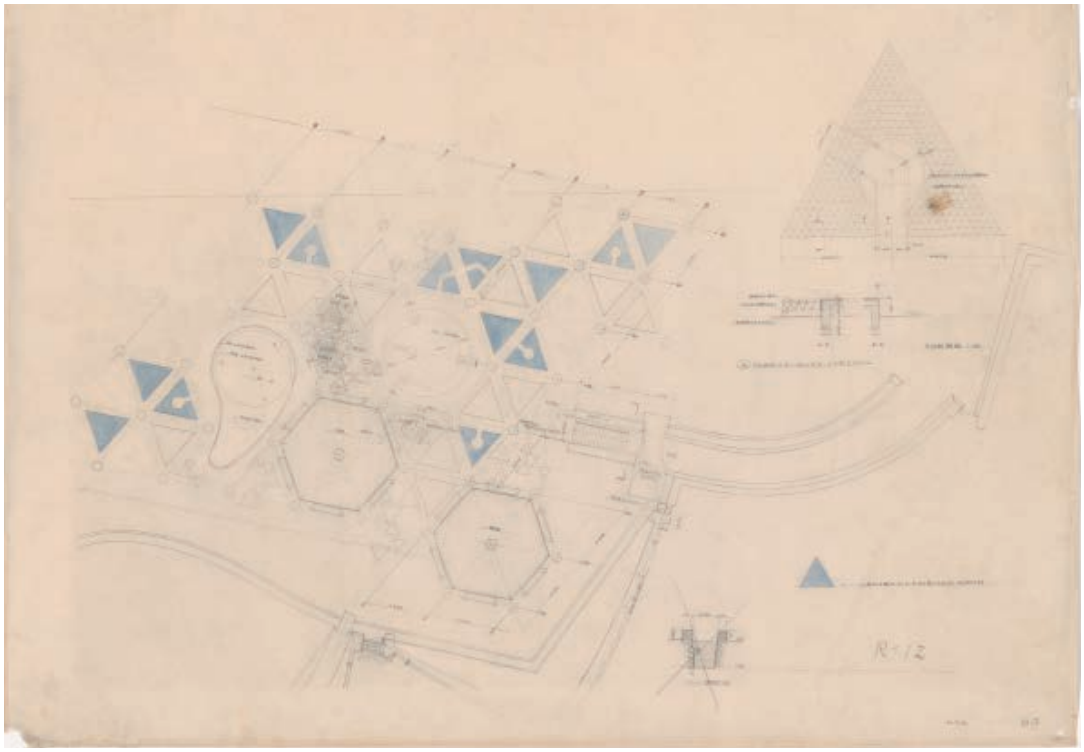
グループi：児童館設計補助図後期・児童遊園設計補助図（1966年４月－６月）



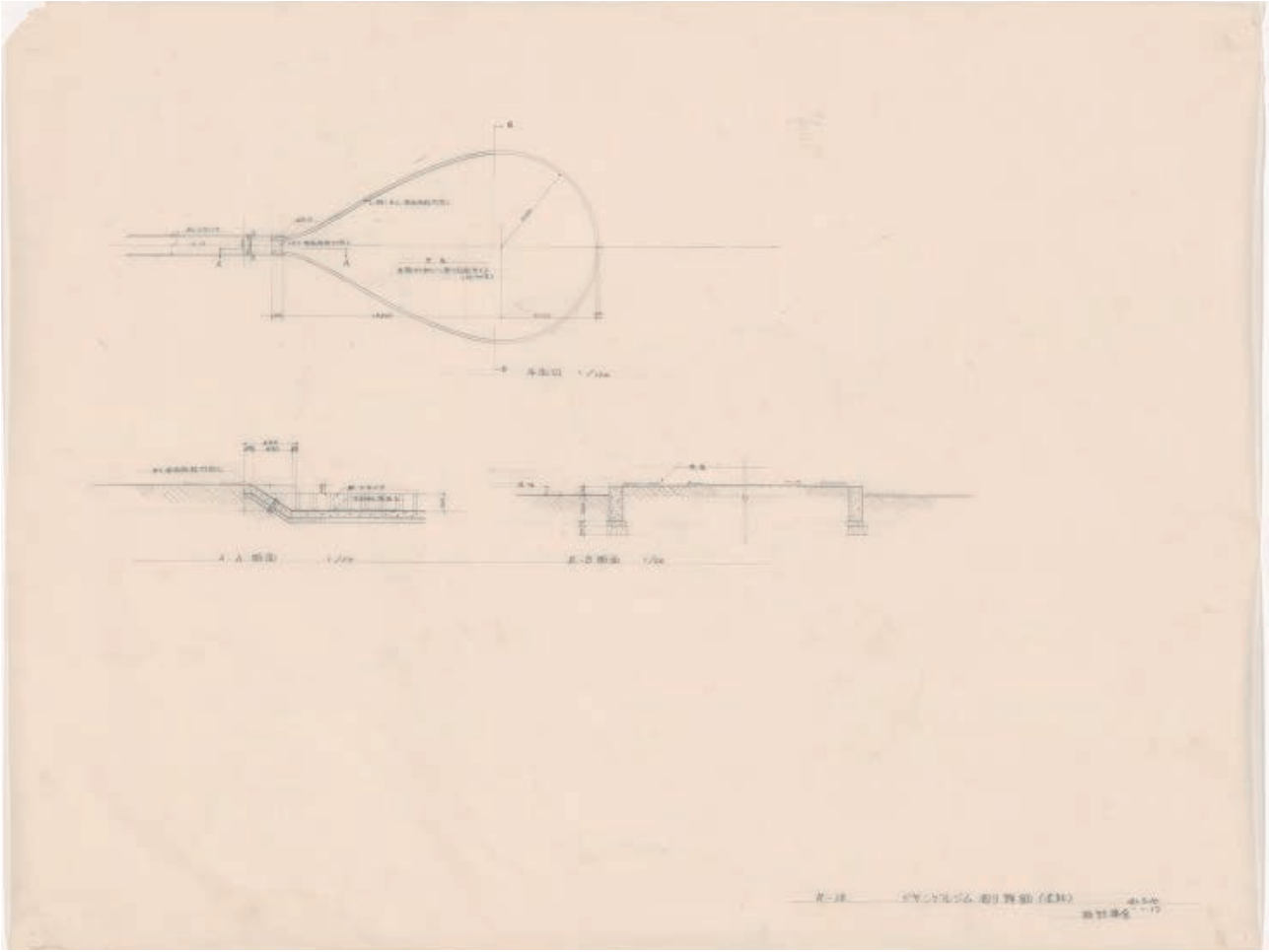
125-i01



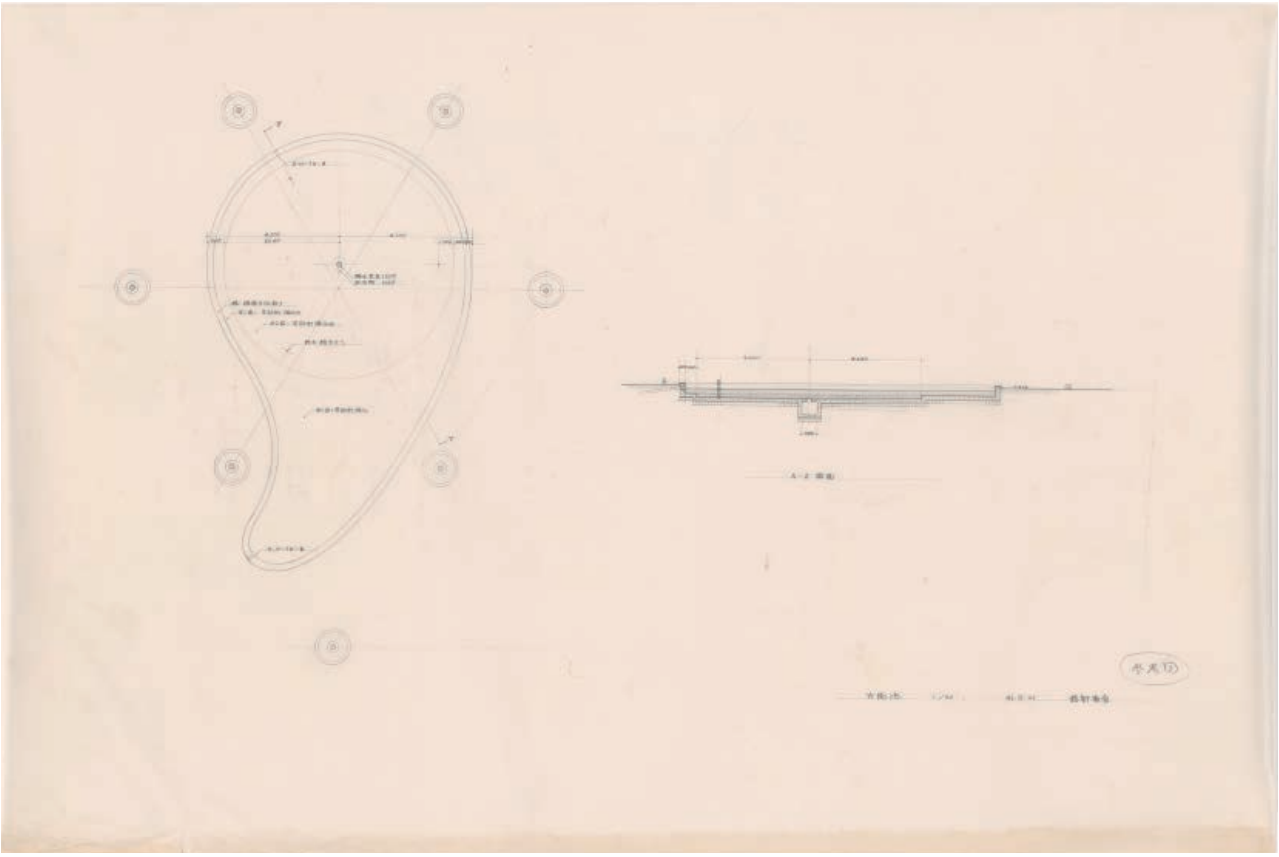
126-i02



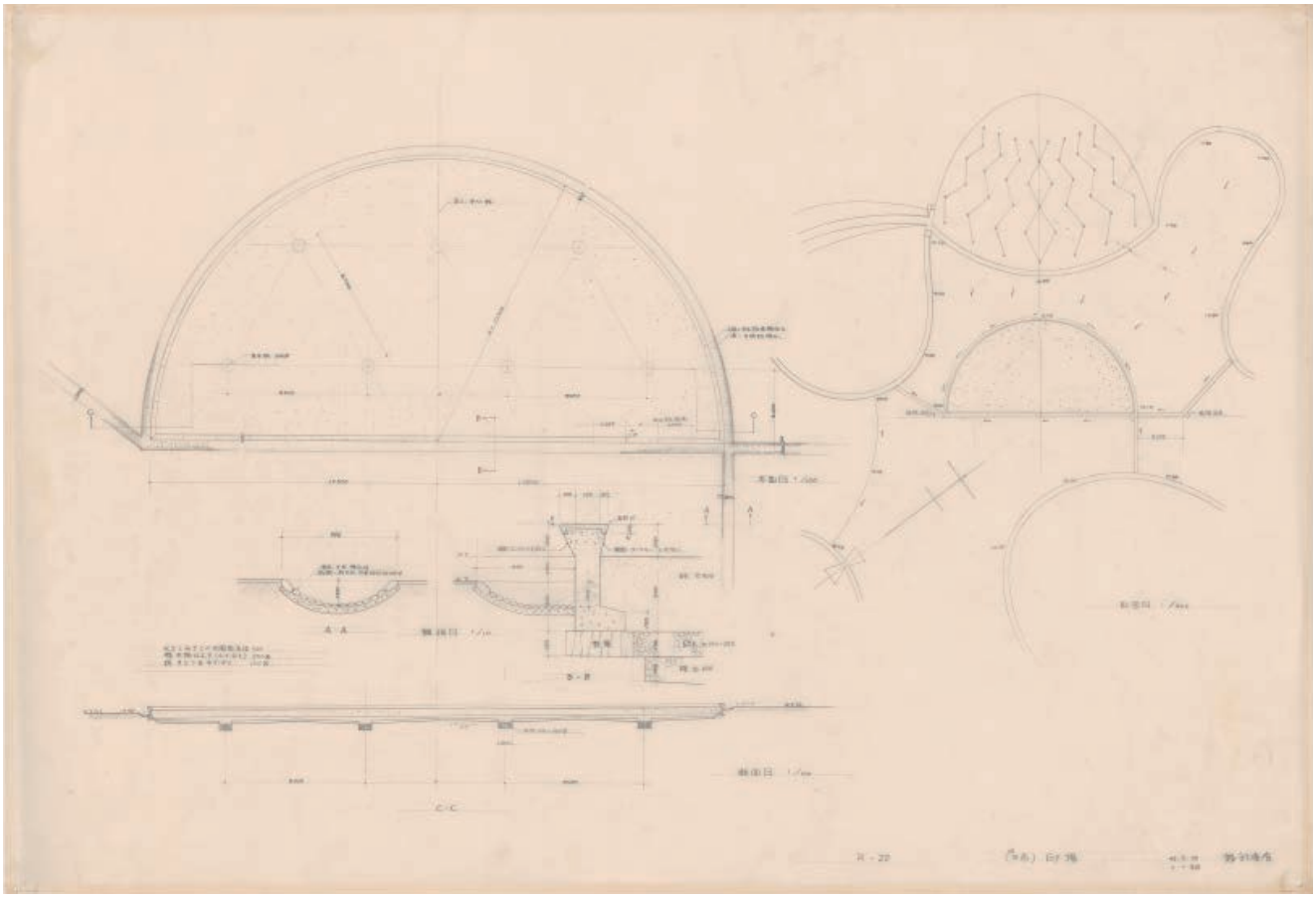
127-i03



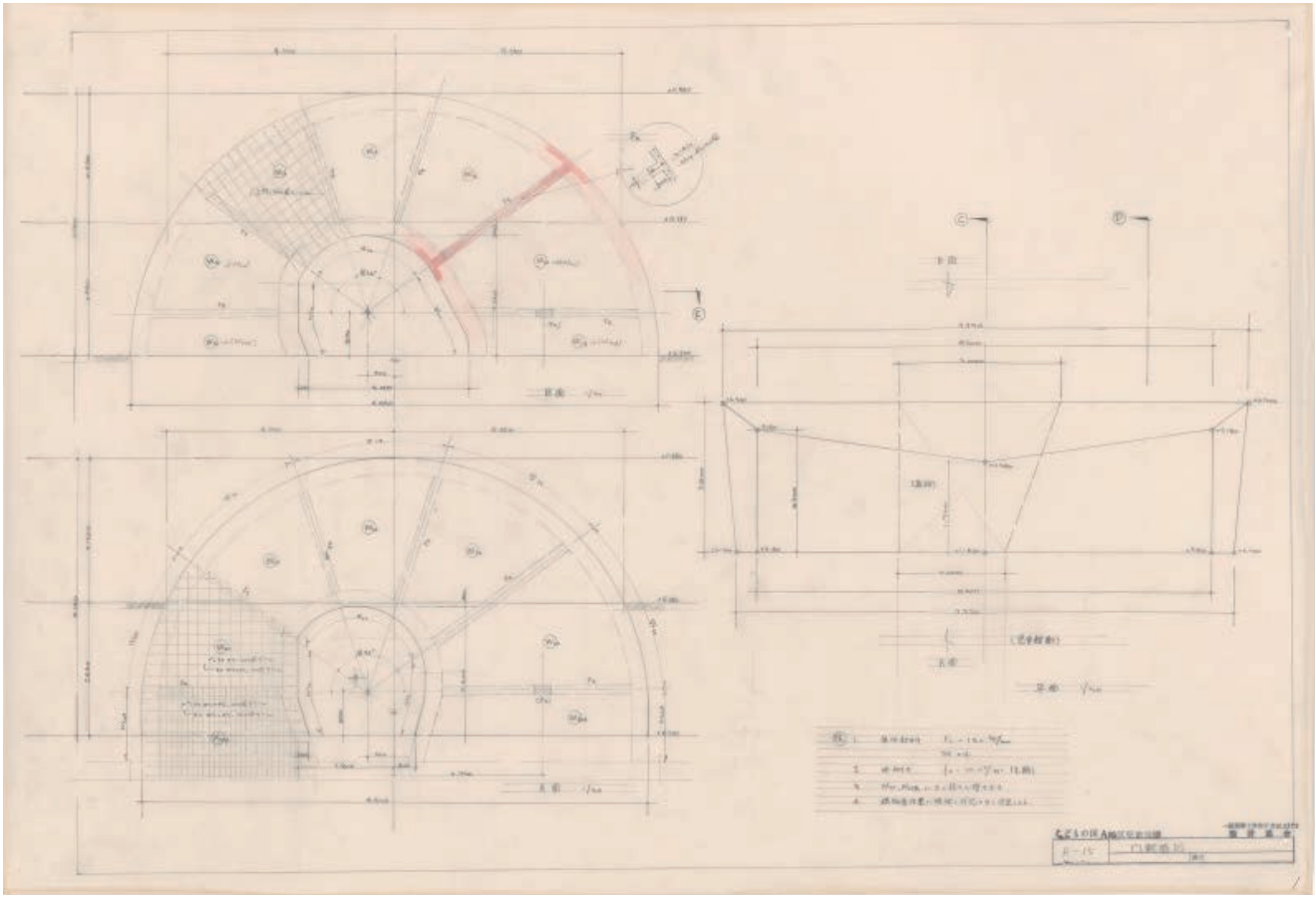
128-i04



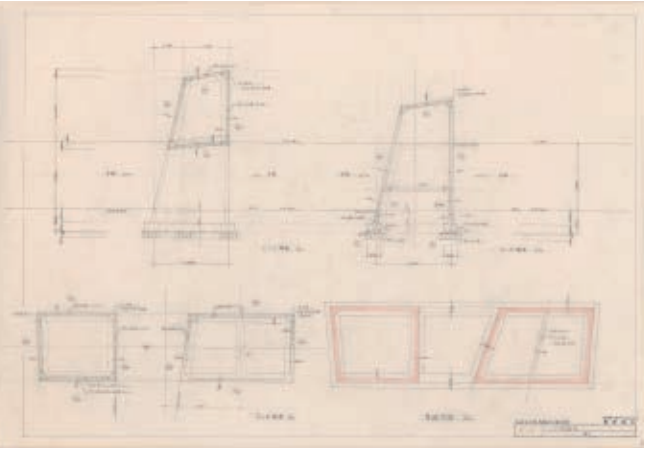
129-i05



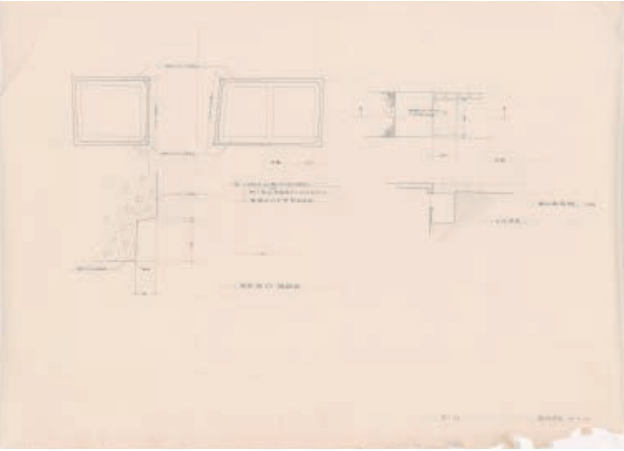
130-i06



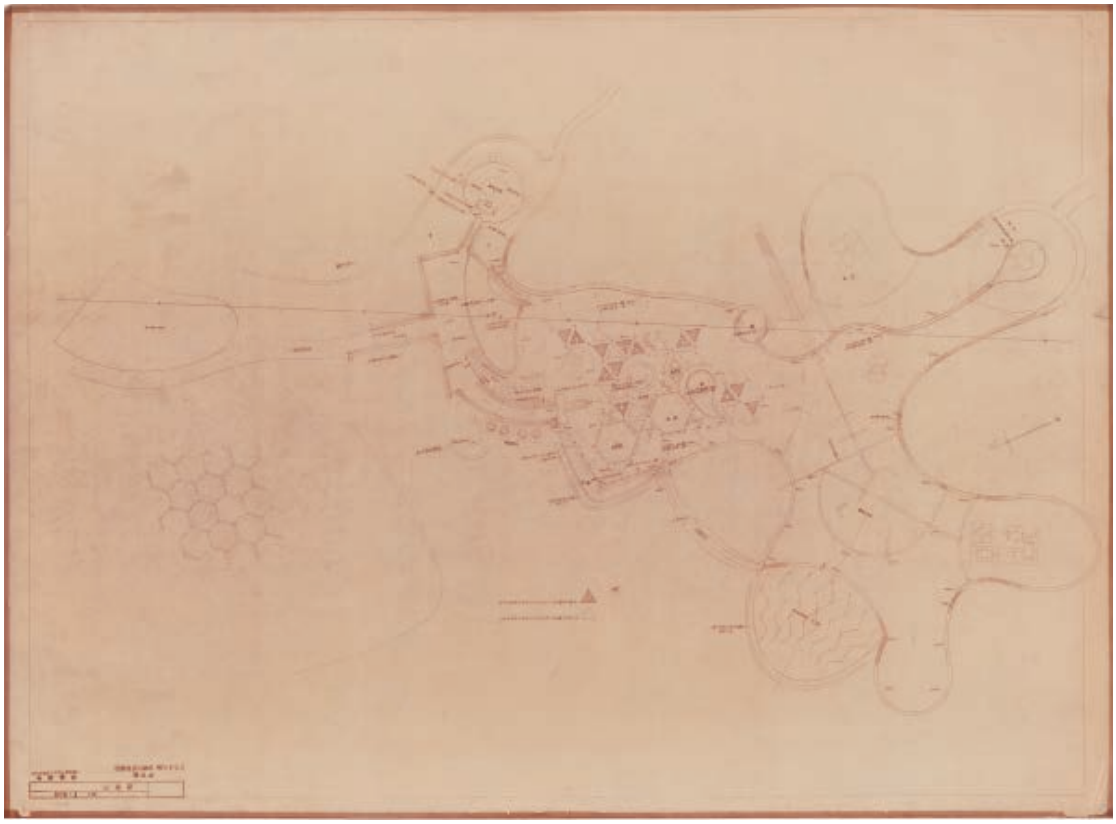
131-i07



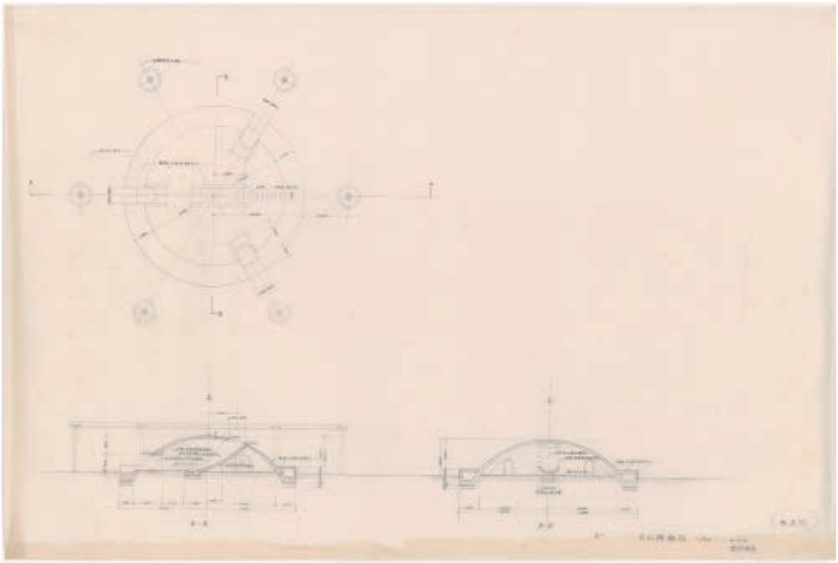
132-i08



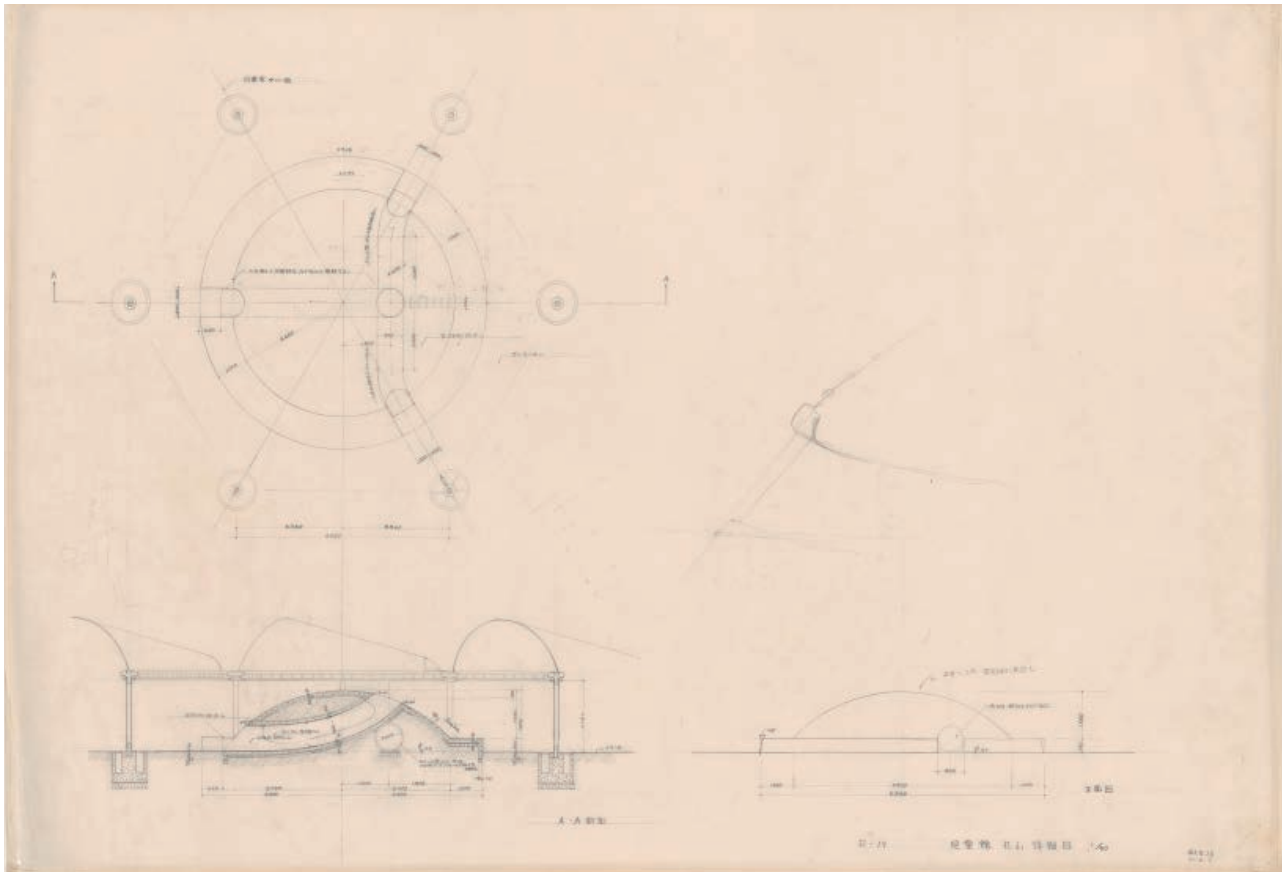
133-i09



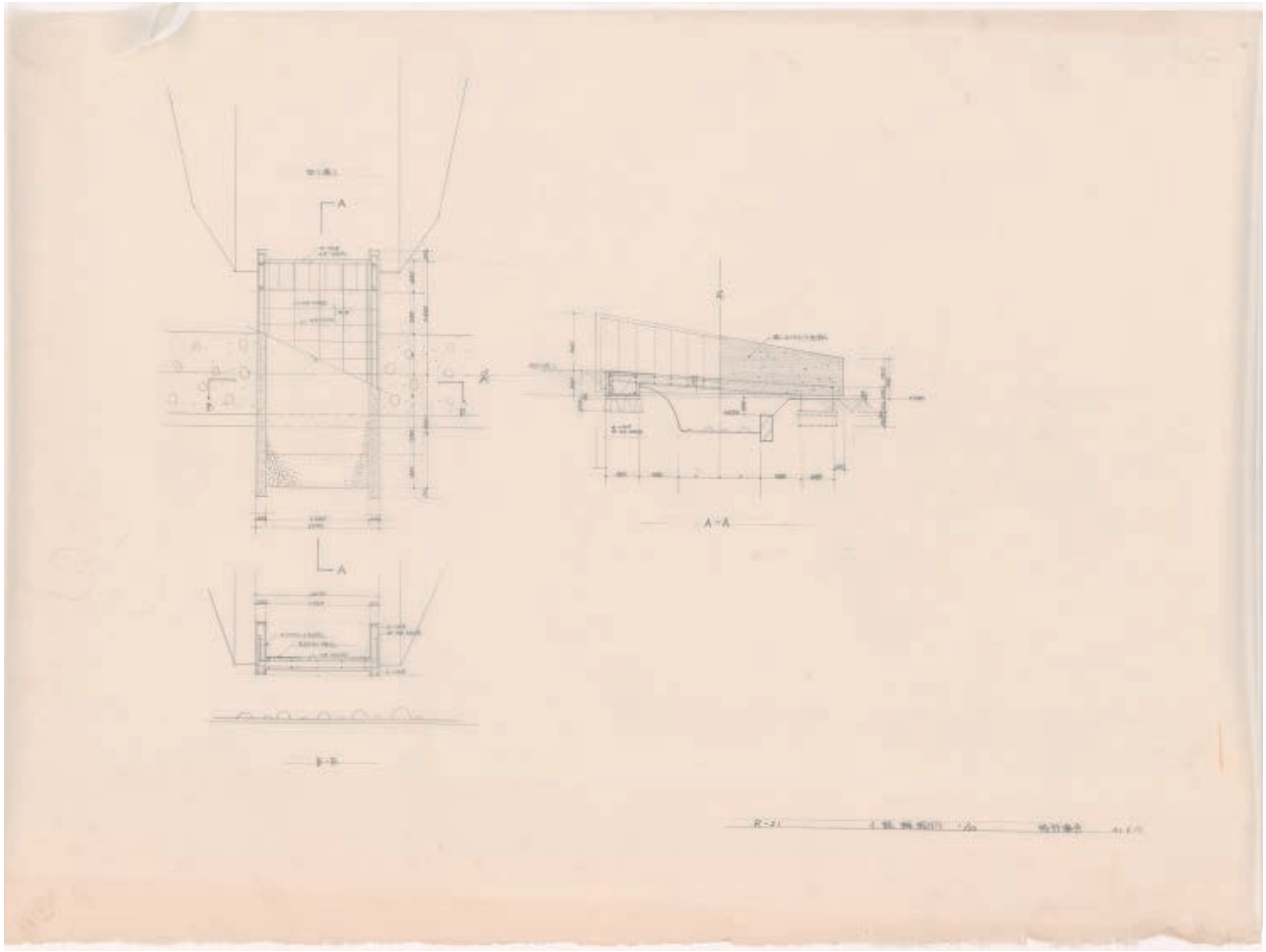
134-i10



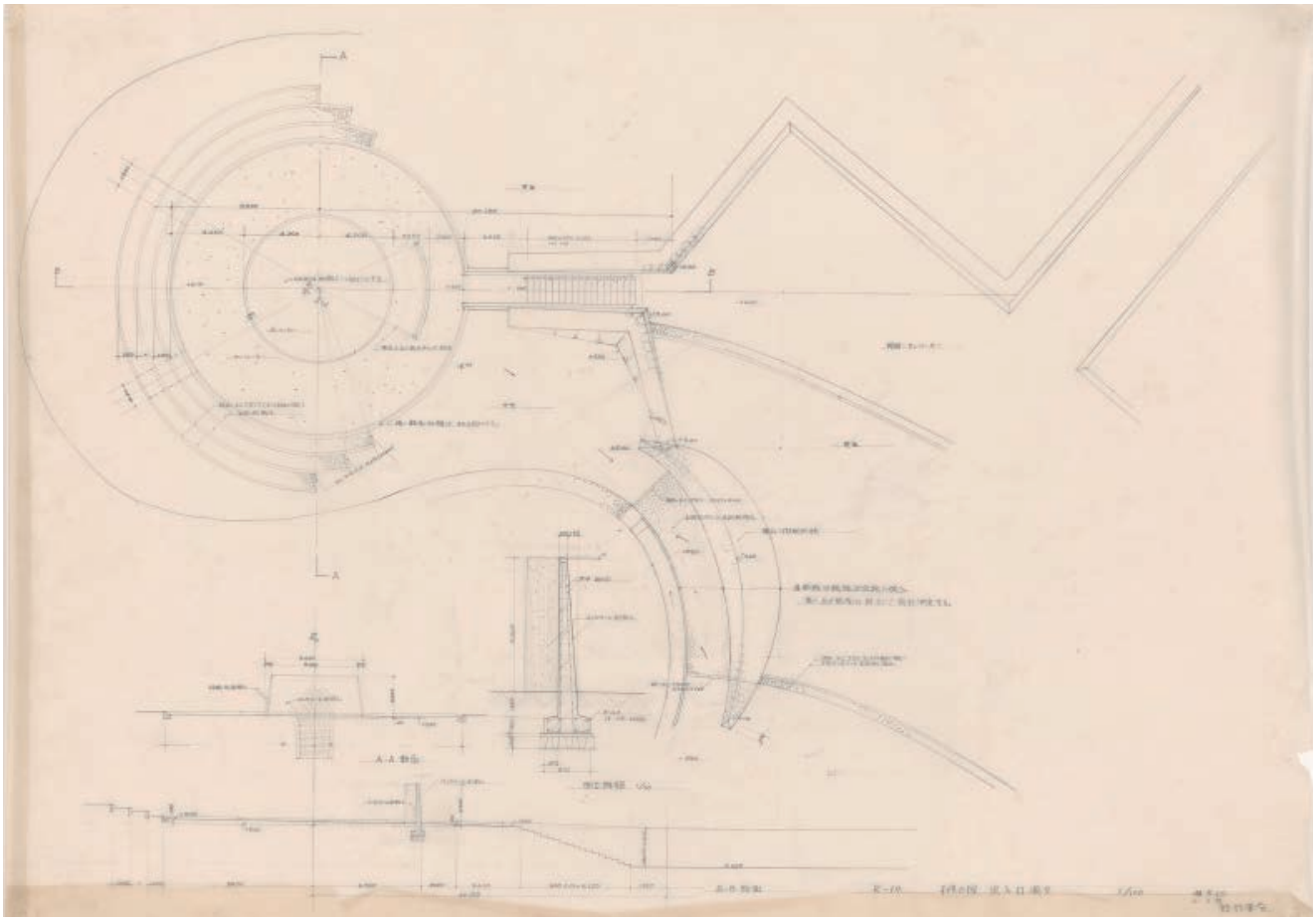
135-i11



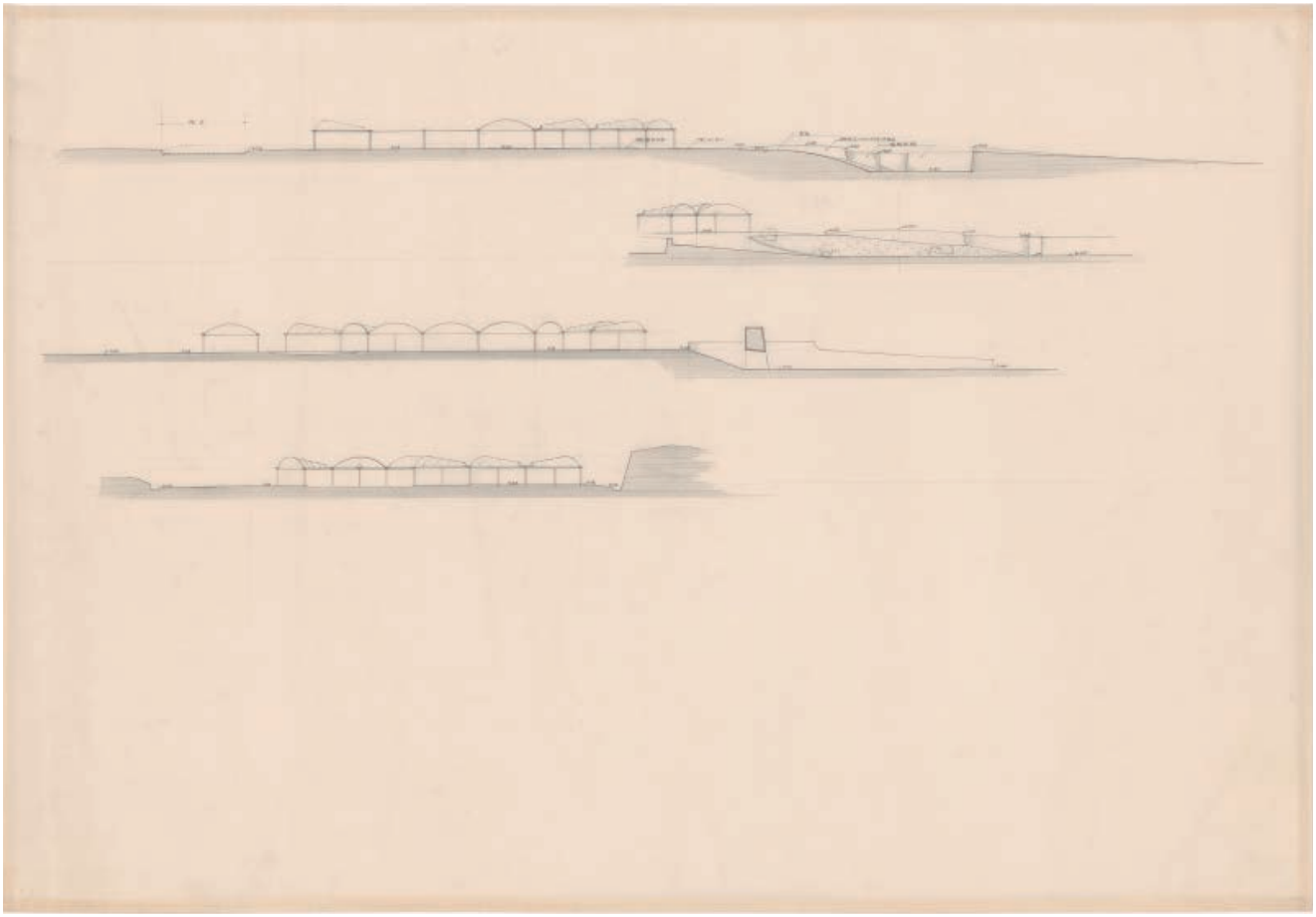
136-i12



137-i13

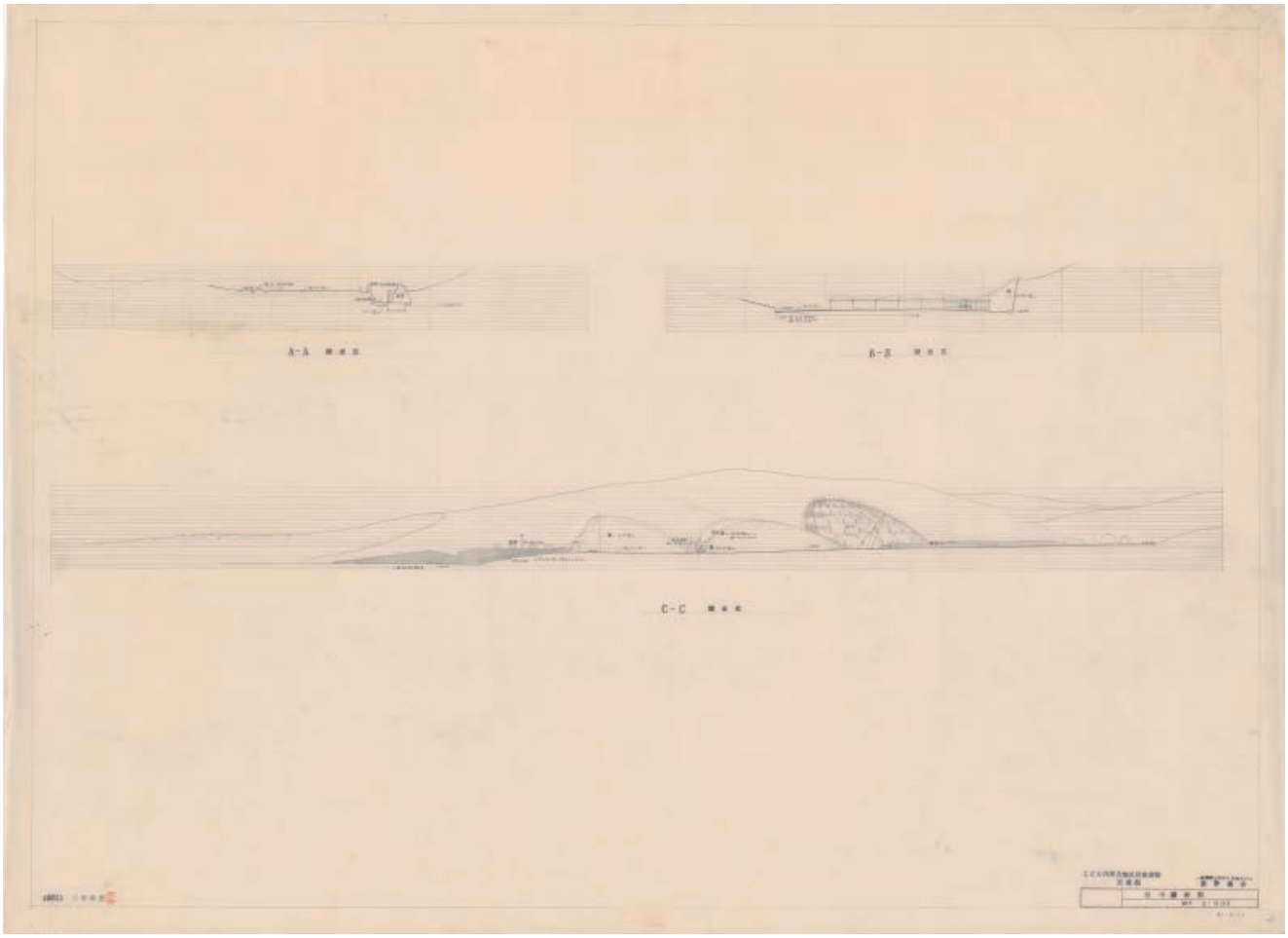


138-i14

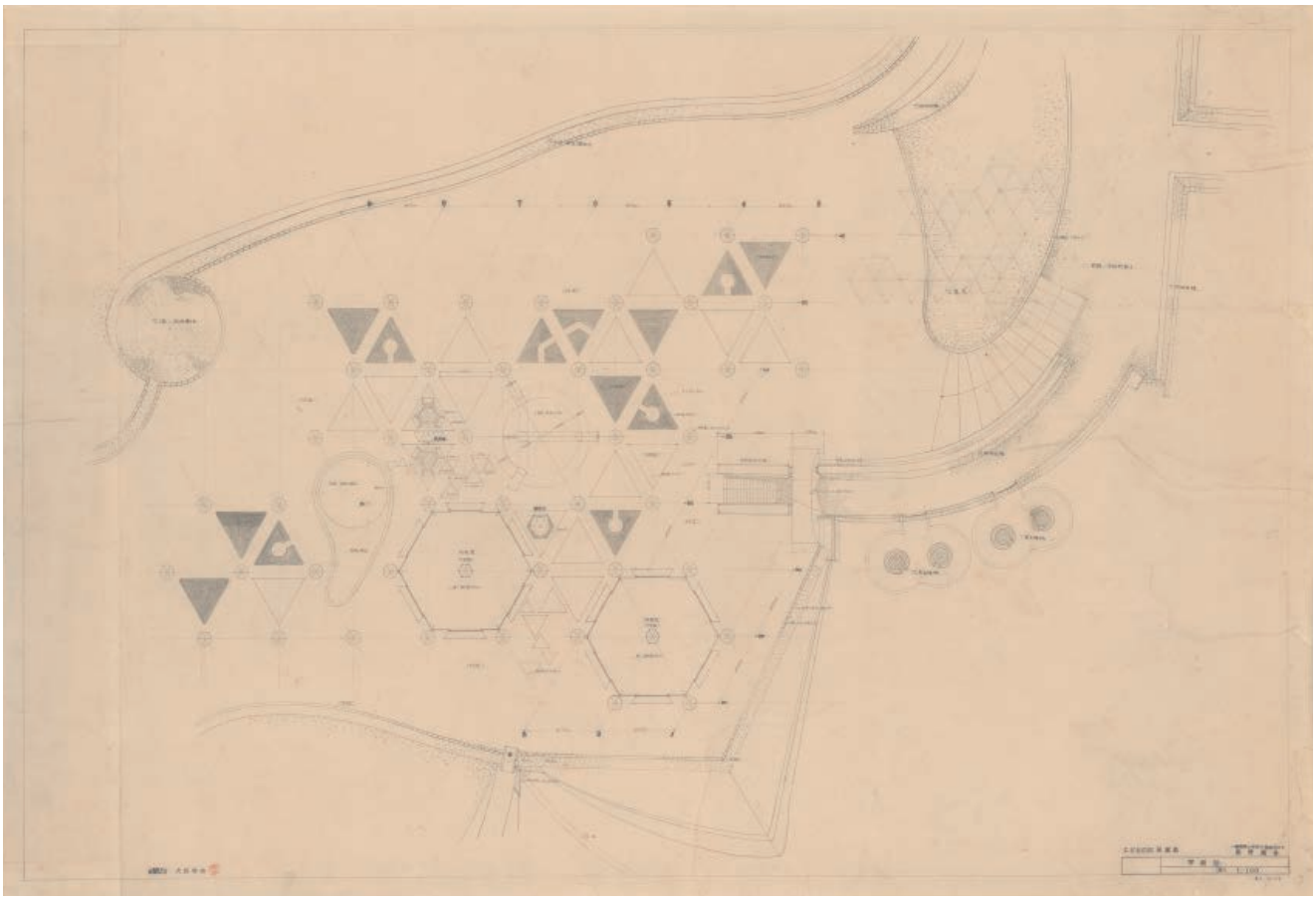


139-i15

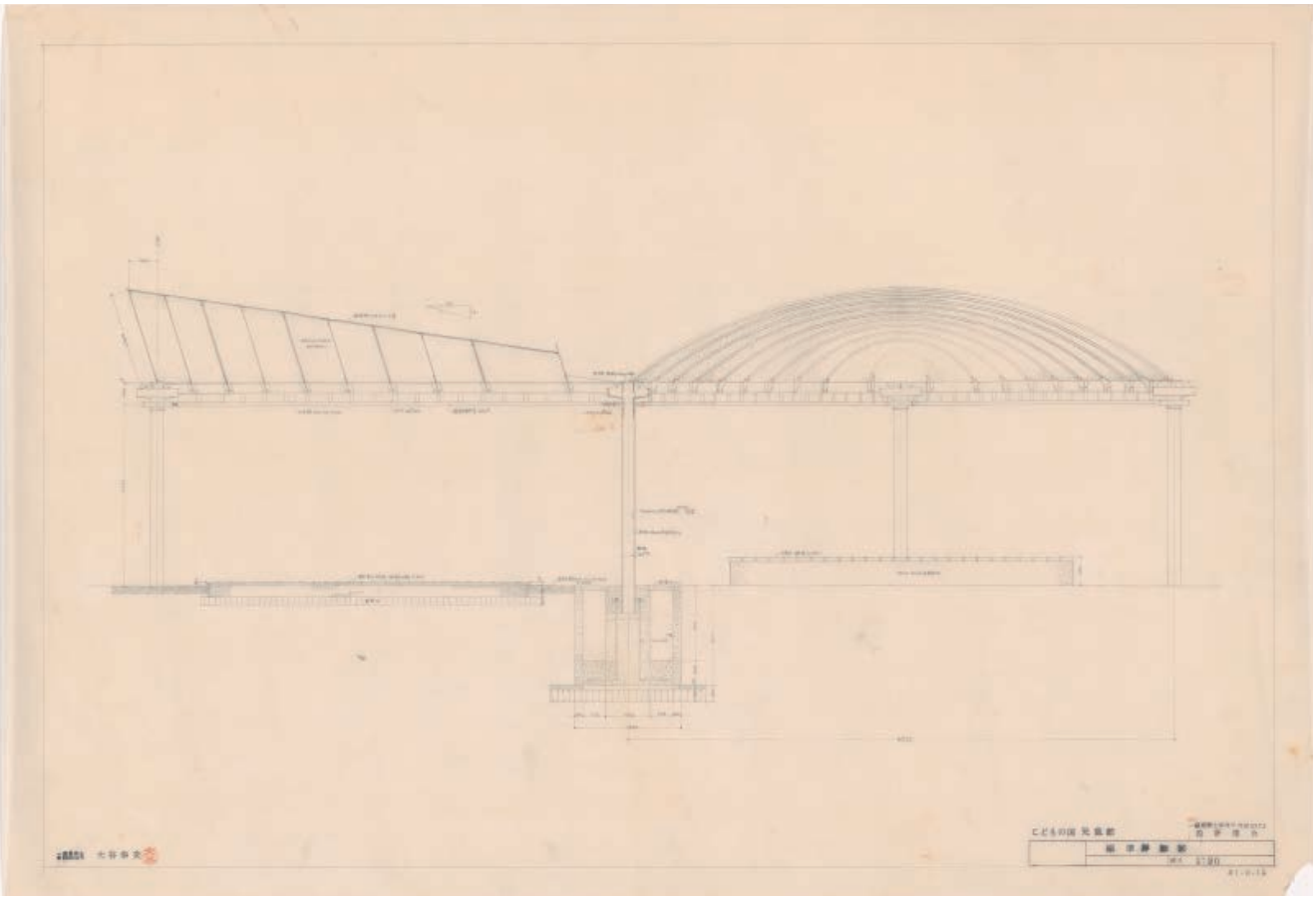
グループj：児童館・A地区児童遊園竣工図（1966年8月）



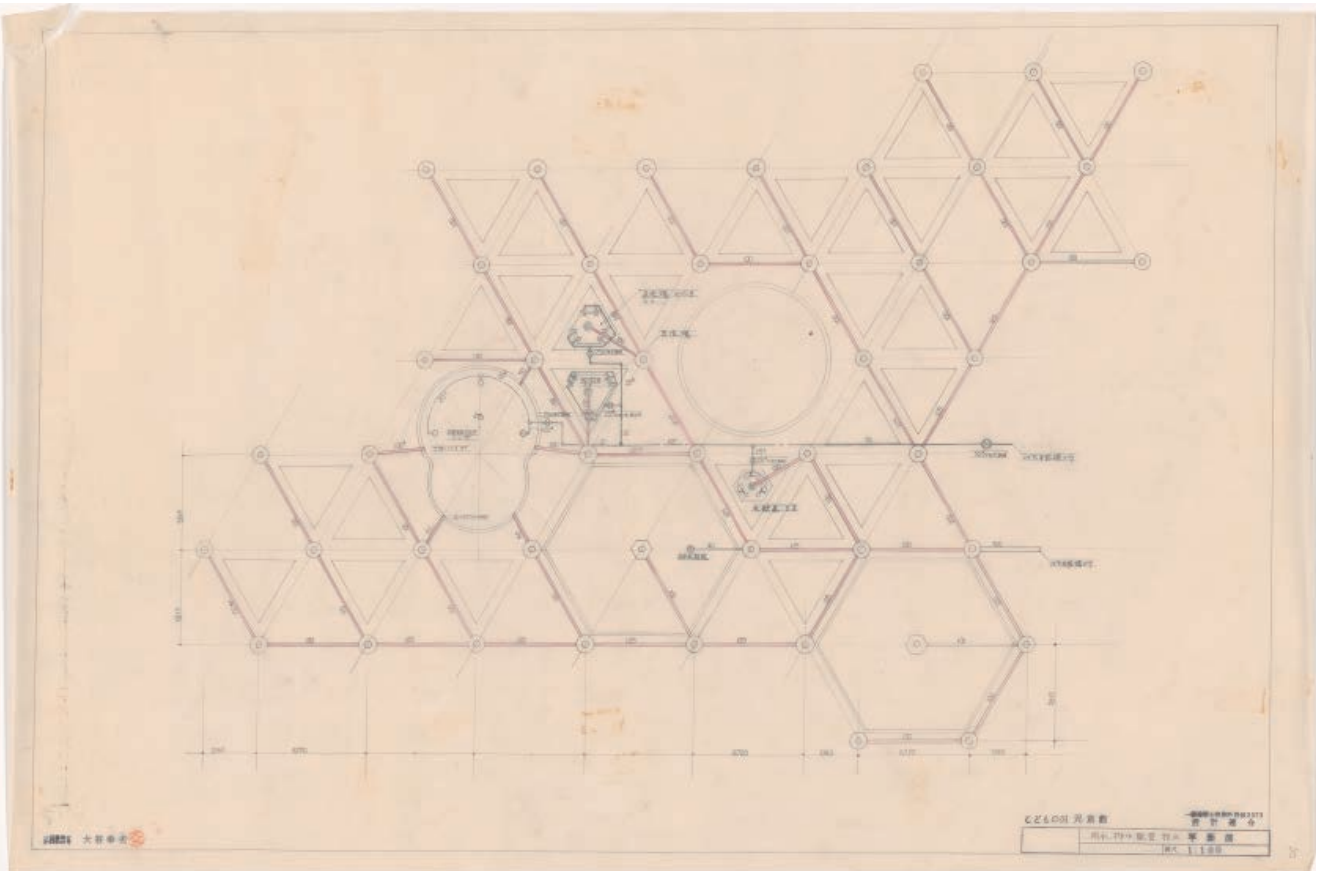
140-j01



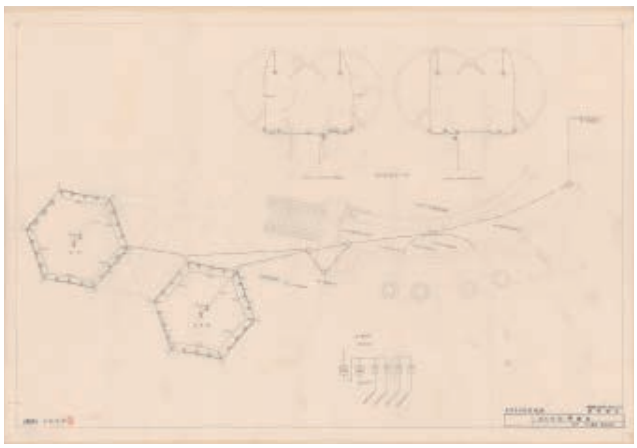
141-j02



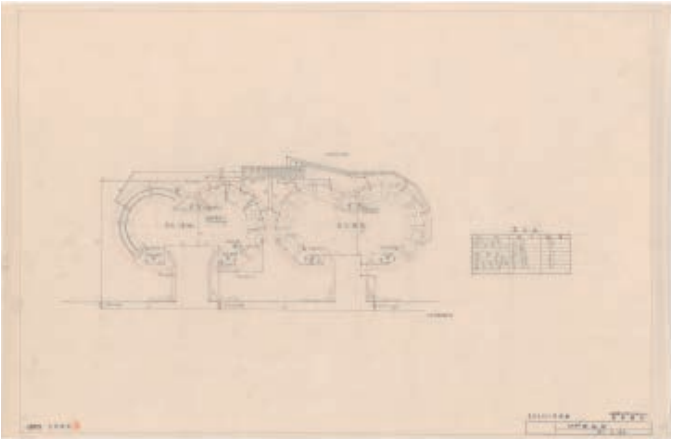
142-j03



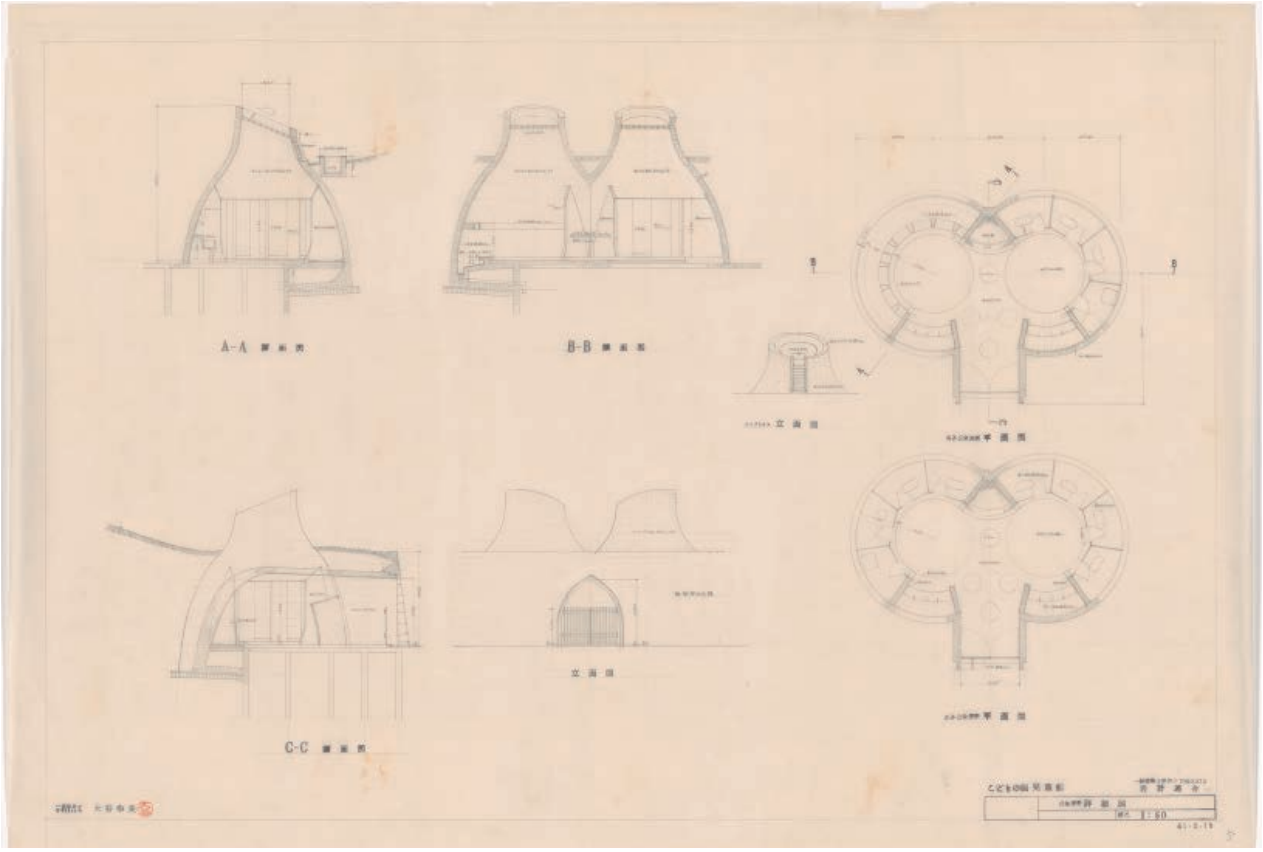
143-j04



144-j05

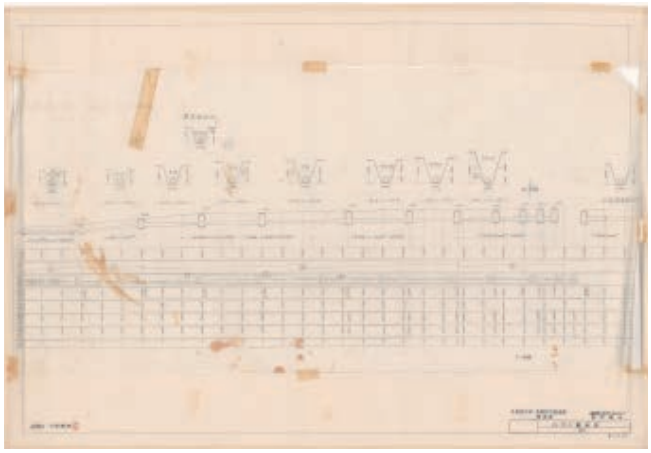


146-j07



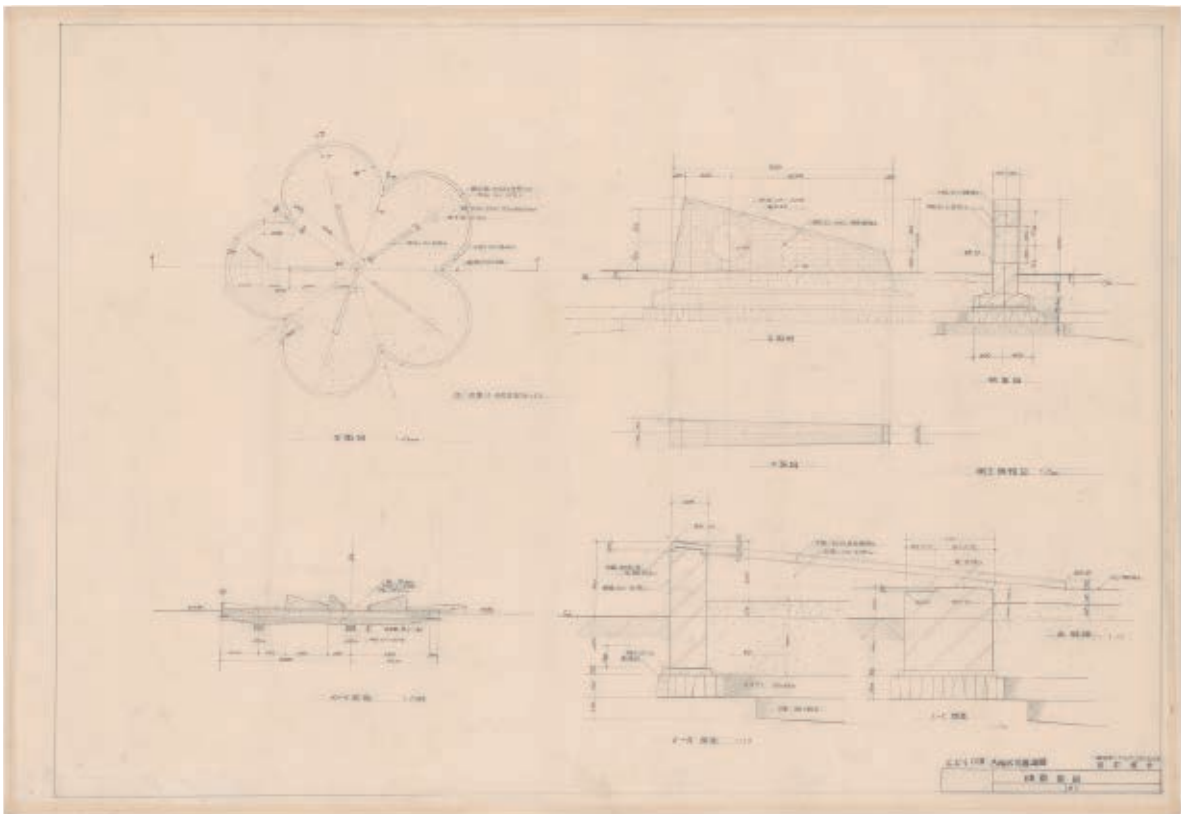
145-j06

147-j08

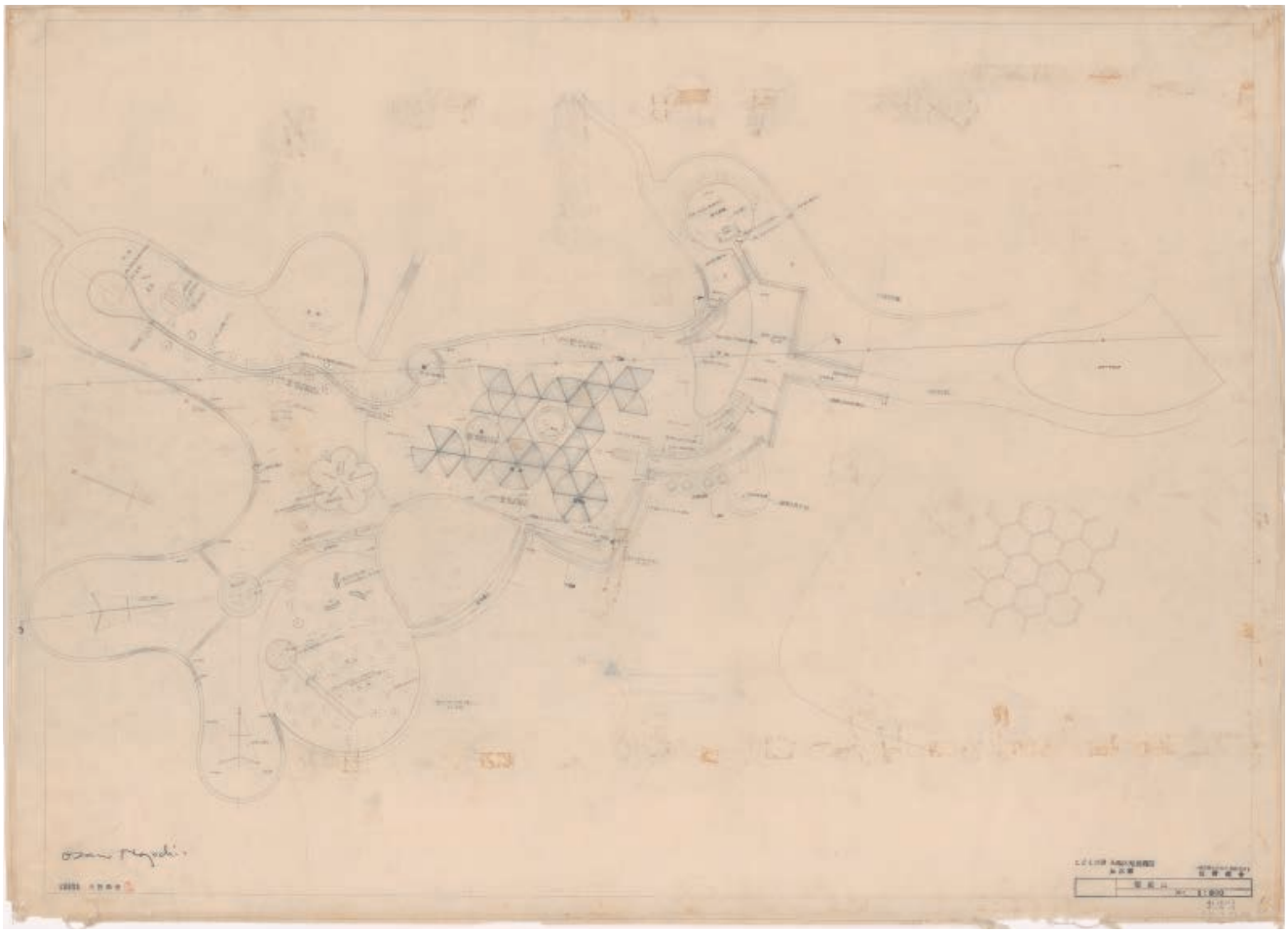


148-i09

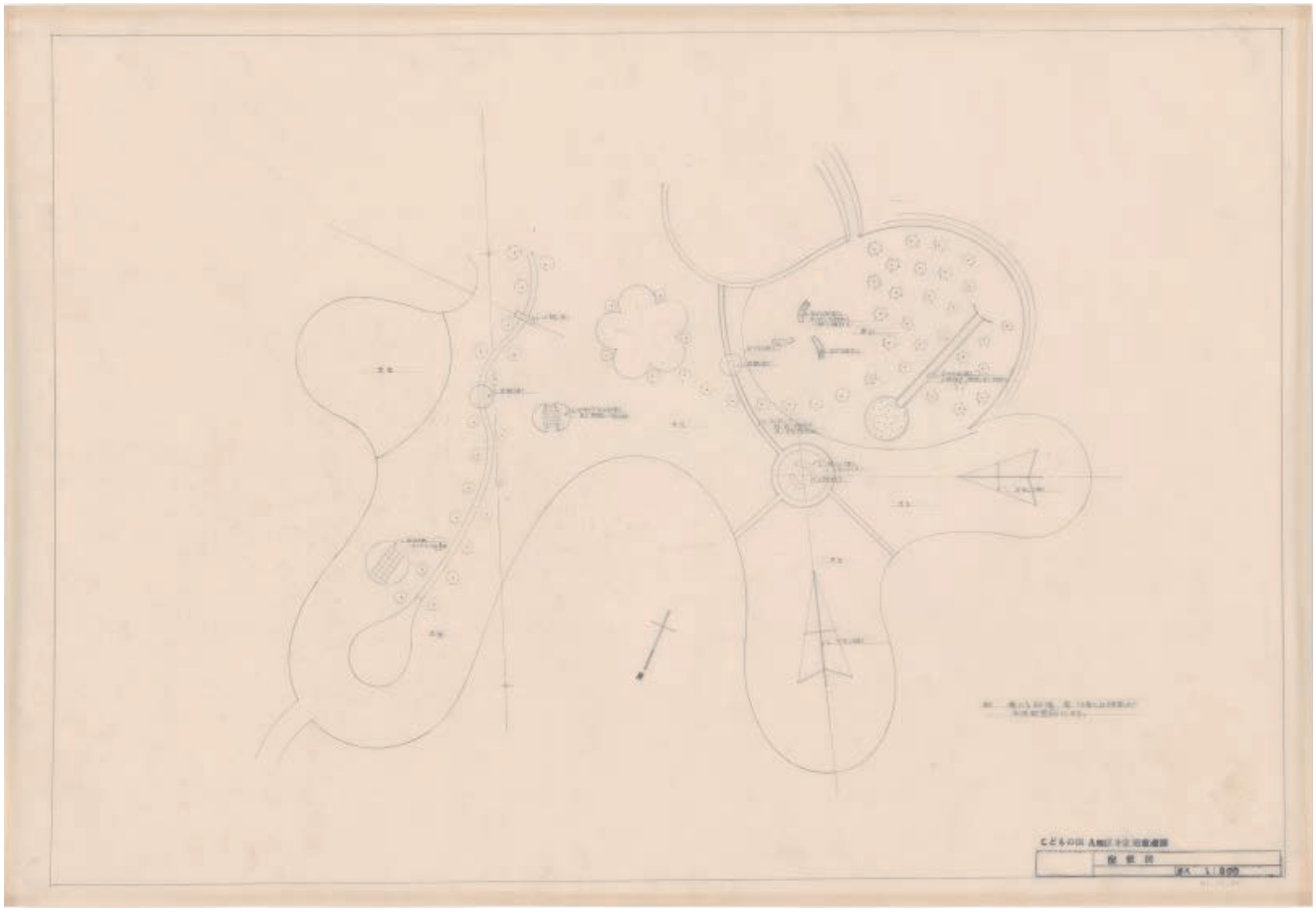
グループk：A地区児童遊園補遺・第2児童遊園関連図面（1966年9月－10月）



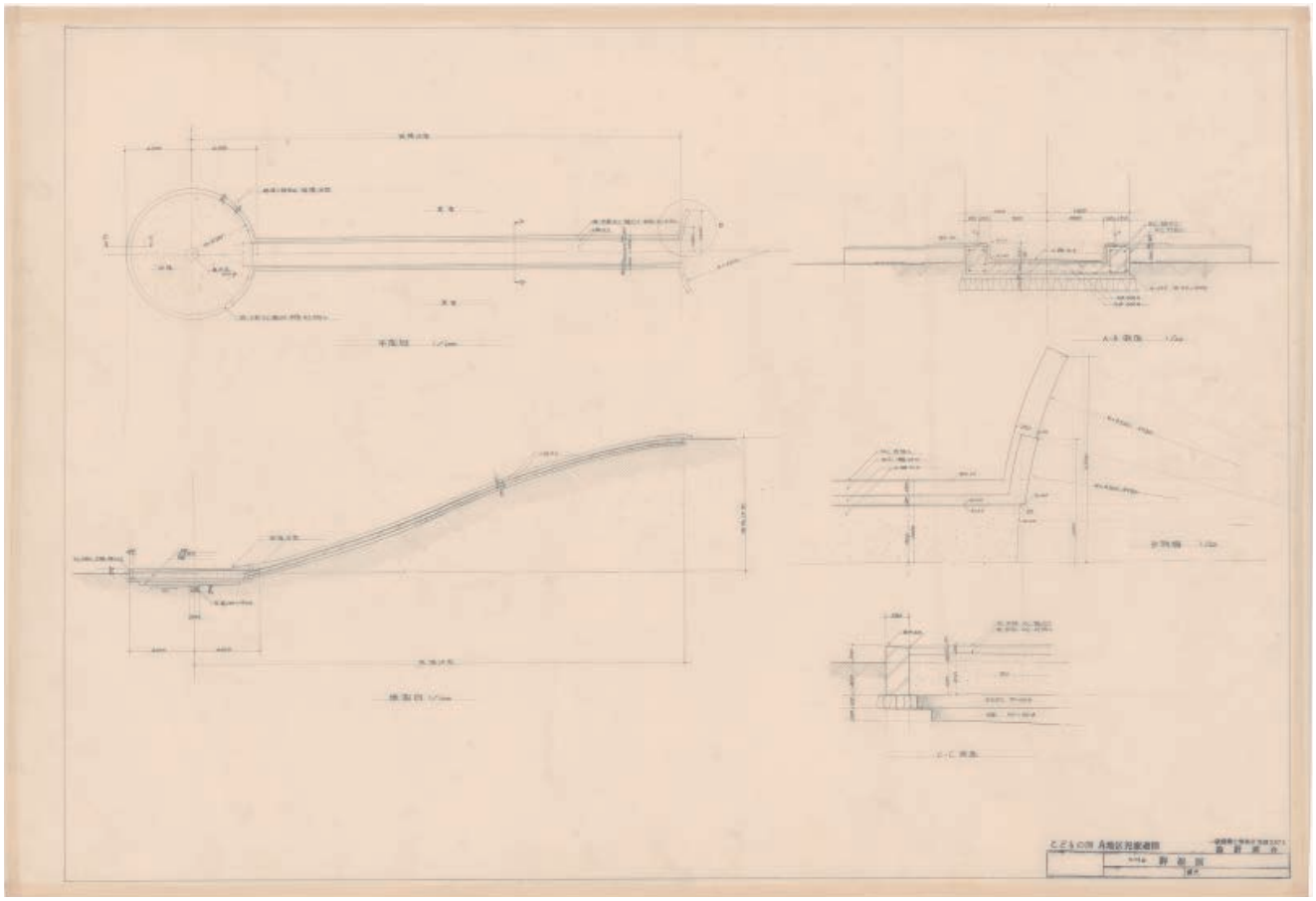
149-k01



150-k02

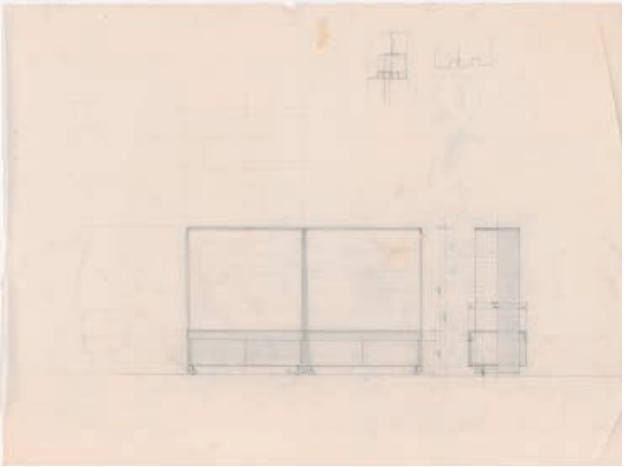


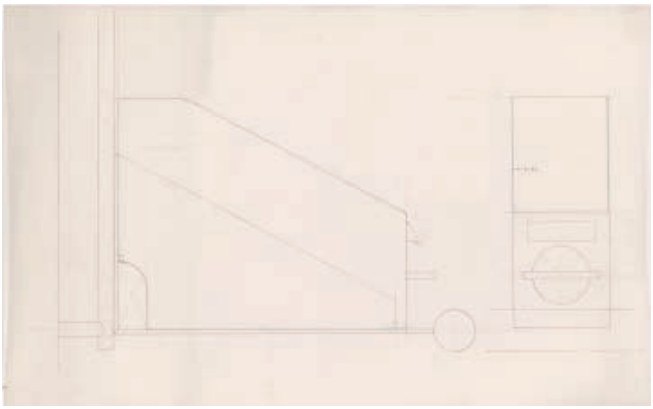
151-k03

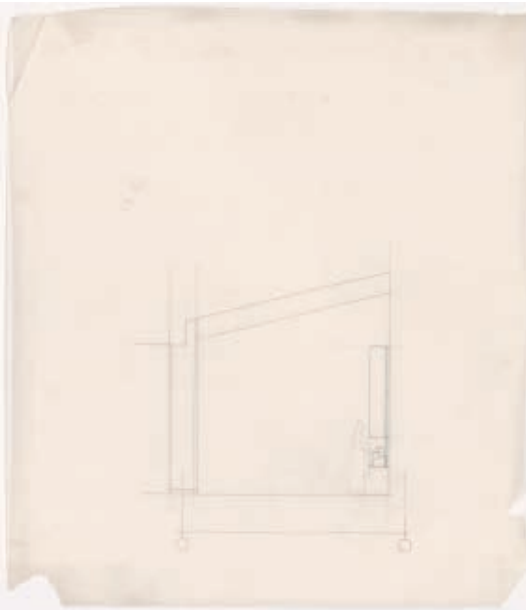


152-k04

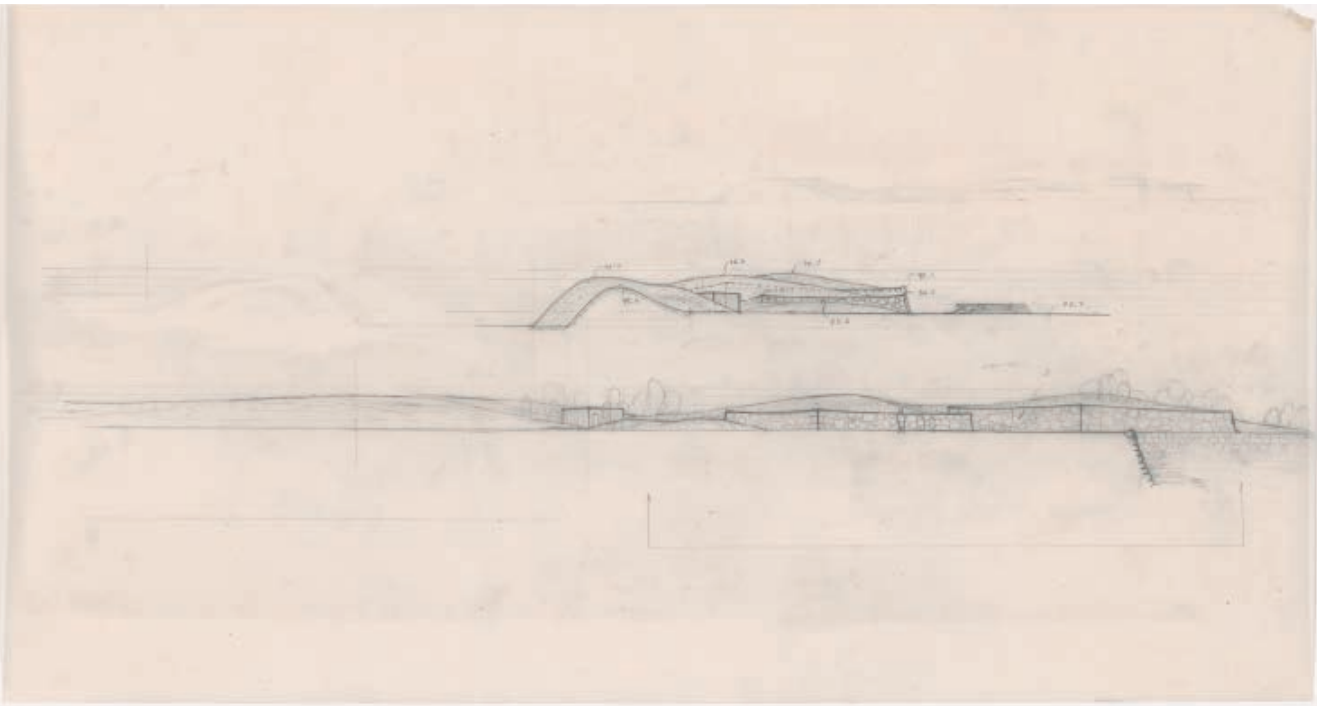
グループ1：内容未特定の図面



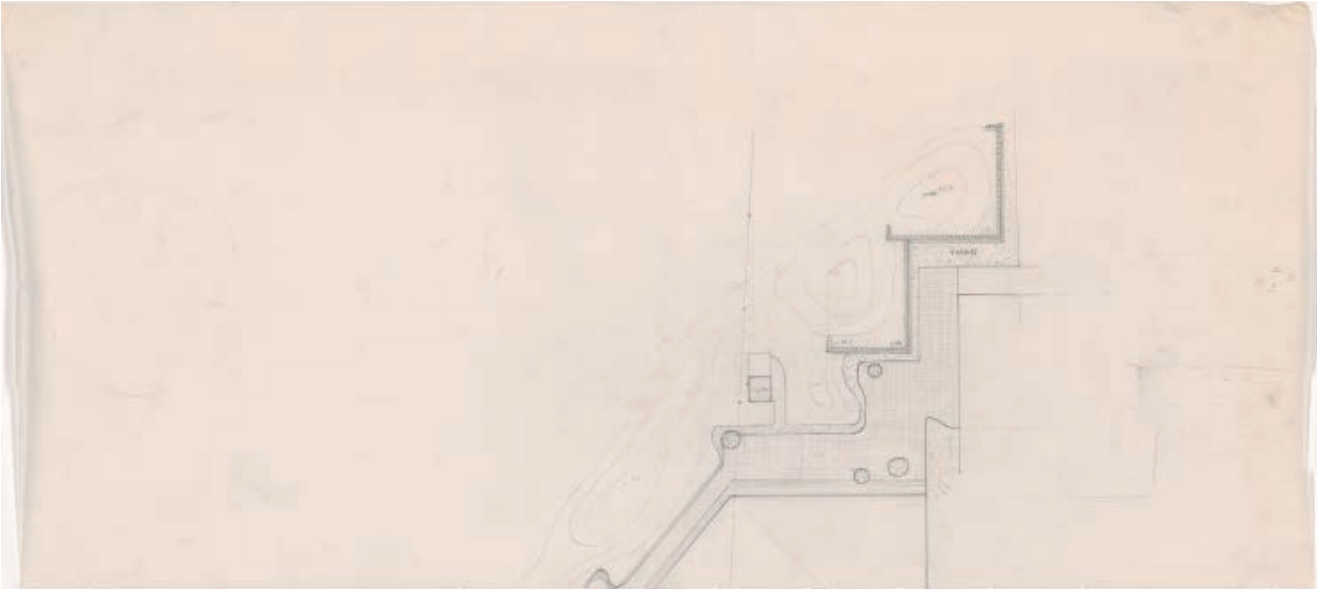




153-101	154-102
155-103	



156-1104



157-105

Isamu Noguchi and Sachio Otani's Playground and Children's House at Kodomo No Kuni: Catalogue of Materials

Nakamura Naoaki
(Senior Curator, Yokohama Museum of Art)

This article presents an illustrated catalogue of materials related to the *Children's House and Children's Playground (Zone A), Kodomo no Kuni*, donated by the Otani Associates to the Yokohama Museum of Art in 2023 and 2024. The collection comprises one plaster model and 157 drawings and sketches produced between 1962 and 1966 in connection with a collaborative landscape design project by Isamu Noguchi and Sachio Otani, undertaken during a matured stage of Noguchi's long-standing engagement with environmental design. Prior to this project, Noguchi had already explored playground and environmental designs internationally, including unrealized proposals for a Riverside Playground (1961-1966) in collaboration with Louis Kahn and a United Nations Playground (1952).

Building on the findings of two preceding essays by the author in the last two issues of this Bulletin that examined key drawings and the plaster model to clarify the conceptual development of the project and its realization as a construction undertaking, the present study focuses on the systematic classification and cataloguing of the complete corpus. The materials are organized into twelve groups (a-l) corresponding to successive phases of design, from the *Kodomo no Kuni Master Plan* of 1962 to the as-built and supplementary drawings completed in 1966, allowing the evolution of construction projects as well as Noguchi's landscape concepts to be traced in close dialogue with architectural and technical constraints.

The catalogue is accompanied by illustrations reproduced from high-resolution digital scans of the drawings produced at the Yokohama Museum of Art in 2025 and photographic images of the model in 2024. By making this material accessible in a critically structured form, the catalogue provides a valuable primary resource for further research on Noguchi's collaborative practice, his approach to landscape as an integrated artistic and social environment, and the dynamics of architect–artist collaboration in postwar Japan.

The conceptual framework of the groups and their respective periods of production are as follows:

a: *Kodomo no Kuni Master Plan* prepared by the Research Center for Environmental Development and Design (1962–1964)
b: Drawings and sketches related to the first proposal for the Children's House by Sachio Otani (planned for Zone C of Kodomo no Kuni) (1964)
c: Drawings related to the second proposal for the Children's House by Sachio Otani (planned for Zone A of Kodomo no Kuni) (August 1965)
d: Drawings related to Isamu Noguchi's initial landscape design proposal for the Children's Playground in Zone A (including facilities for the Children's House and the skating rink) (September–November 1965)
e: Drawings related to the third proposal for the Children's House by Sachio Otani (November–December 1965)
f: Working drawings for the Children's House and the Zone A Playground (November 1965–January 1966).
g: Design revision process for the Children's House (January 1966)
h: Early-phase auxiliary drawings for the Children's House (R-numbered drawings) (January–March 1966)

i : Late-phase auxiliary drawings for the Children's House and auxiliary drawings for the Zone A Playground (April–June 1966)

j : As-built drawings for the Children's House and the Zone A Playground (August 1966)

k: Supplementary drawings for the Zone A Playground and drawings related to the Second Playground (September–October 1966)

l: Drawings of unidentified content (drawings that were stored in the Otani Associates in the same container as the Kodomo no Kuni–related materials; their content has not been identified through the research conducted to date)